



SUNSTAR
SUNSTAR
SUPER BIKE SERIES

'94全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦

SUNSTAR SUPER BIKE 200km

6/11 ± 12日
(公式予選) (決勝レース)

RACE START	
GP125	10:30
GP250	11:50
SUPER BIKE (200km)	14:00
NB-SP250/400	16:15

'94 OFFICIAL PROGRAMME
FIM・MFJ公認/主催:株式会社 鈴鹿サーキットランド
協賛:サンスター 株式会社



 **SUZUKA CIRCUIT**

 **DUNLOP**
DRIVING TO THE FUTURE



**GRAND PRIX
ENERGY**

Rideen

GPR-50

プロダクションレースで頂点をめざす
鮮烈のグリップ・パワー

GPR-60

先進のJLB構造を搭載
ストリートで気をはくワイド・パフォーマンス



AN AMERICAN ORIGINAL.

タール11mg/ニコチン0.9mg

タール11mg/ニコチン0.9mg

LUCKY STRIKE

未成年者の喫煙は禁じられています/あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう



涼

超高速域ほど安定する、
新設計のディフューザー。

頭頂部から入り後頭部で排出されるエアの力で
帽体内部の熱気を強力に吸い出すディフューザーと、
スライドによって空気量が
調節できるクラウンパッドで、
帽体内部は蒸れ知らず。



強

実戦で磨かれた、
強靱なスーパーcLc帽体。

最も優れた素材を高度な成型方法で
仕上げたスーパーcLc帽体を採用。
多くのGPライダー、F-1ドライバーたちの
厚い信頼に育てられ、幾多の実戦で
証明されてきた強度を誇る。



軽

スーパーcLcだから違う、
かぶると実感する驚きの軽さ。

軽量化の追求から誕生した
軽くて強いスーパーcLc帽体。
コンパクトに改良されたディフューザー。
さらに首に負担をかけない低重心設計。
スーパーeの真価は、かぶった時にわかる。



好評の1Eダクト
を改良し、より低
く、開口部を拡張
してエアの流
入量・排出量を向
上させた1Eダク
ト2。



素早くシールドチ
ェンジをしたり水
洗いをするための、
瞬時に取り外せる
スーパーアドシス
シールド。



ブローベント・マ
ウススリットから
エアを吸入、頭
部の熱気を逃がす
新設計。従来には
ないボリューム感
は剛性をも確保。



マウススリット部
に段差をほどこし
た新形状採用。
これにより、チン
バー部分の剛性
は一層の強度ア
ップを実現。



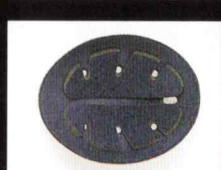
シールド内部に微
量のエアを流入
して曇りを防ぐ。
走行中にシールド
が不用意に開か
ないためのロック
付き。



シールドの曇りを
防ぐ着脱可能な
ノーズディフレク
ター。晴れた日は
取り外して軽快に。



内装は着脱自在。
ヘルメットが丸洗
いでき、汗で汚れ
た内装も爽やか、
かつ新品同様の
フィット感によみ
がえる。



オールシーズン
対応可能なディフ
ューザーで、夏は
強力にクールダ
ウン。冬の冷たい外
気は、クラウンパ
ッドでシャットア
ウトできる。



究極の
(ハイパフォーマンスモデル)
Super e

●機種名: super e ●帽体: ScLc (スーパー・コンプレックス・ラミネート・
コンストラクション) ●規格: スネル1990、JIS C種 ●内装: フルシステム内
装、クレードル・パッド (頬パッド調節可能・特許出願中) ●シールド: ス
ーパーアドシス標準装備 (特許出願中) ●色: 白、グレイメタリック、黒、キ
ャンドイレッド ●サイズ: (53-54) (55-56) (57-58) (59-60) (61-62)

¥44,000

※価格に消費税は含まれていません。
●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。
直通TEL (048) 645-3661
株式会社 アライ(ヘルメット) 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
Racing Specialities TEL(048)641-3925~7

他誌を寄せつけない機動力

RIDERS' SPIRIT FROM
MOTORCYCLE SCENES

SINCE 1982

RIDING SPORT

速報第6戦ドイツGP (6/12 ホッケンハイム)

日本人ライダーのチャンピオン獲得の可能性をさぐる

二輪レース専門誌ライディングスポーツ

速報 サンスター^{スーパー}_{バイク} 鈴鹿200km

鈴鹿8耐完全予想/観戦ガイド
上田 昇のイタリアへようこそ
原田哲也、宗和孝宏のレース転戦日記
北川圭一、WSBドイツで5位入賞

前評判の高い
'95RS125Rの実像に迫る
ビート製ゼファー&ZRX、
NKレーサー試乗他 (企画は一部変更になる場合があります)

8月号は 6月24日(金)発売です

毎月24日発売・定価580円(税込み) お求めは全国書店でどうぞ

NEW PUBLISHING CO., INC.

株式会社 ニュース出版

〒154 東京都世田谷区三宿2-4-7 TEL.販売03-5430-4440 広告03-5430-4441 編集03-5430-4461



W E L C O M E



大会名誉会長
金田博夫
Honorary President
Hiroo Kaneda

本日は「94全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦サンスタースーパーバイク200km」に、ようこそお越しくございました。

さて、今大会は鈴鹿8耐の前哨戦とも呼べる特別なレースです。距離は200kmと長く、スプリントと耐久のふたつの要素が要求される、他とは一線を画した大会と言えましょう。同時に、スーパーバイク鈴鹿ラウンドでは初の200kmとなるだけに、どのようなドラマが待ち受けているのか興味がつきません。

また、国際A級GP250、GP125クラスにおいても、世界グランプリを彷彿させる激しいレースが繰り広げられることと思います。

私どもサンスターは、昨年に引き続き、全日本選手権鈴鹿ラウンド全3戦に協賛させていただいておりますが、世界選手権ロードレースやF1グランプリなどが開催される、鈴鹿サーキットでの大会に協賛できますことは、荣誉のあることと考えております。

サンスターグループは「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」の企業理念のもとに、様々な活動を続けております。

その一環として、今後も若者に絶大な支持を得ているモータースポーツ文化の発展に貢献させていただきたいと願っております。

最後に、大会を支えてくださっているファンの皆様をはじめ、関係各位のご尽力に深く感謝いたしますと共に、選手、チームの皆様のご健闘と本大会のご成功をお祈り申し上げます。

サンスター株式会社 代表取締役社長 金田博夫

公示 OFFICIAL NOTICE

本競技会は財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)公認のもとに国際スポーツ憲章・競技規則に基づいた財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会の国内競技規則ならびに本競技会大会特別規則に基づいて開催される。

This event, authorized by M.F.J., Motorcycle Federation of Japan, will be held in accordance with M.F.J. national race regulations based on the International Sporting Code.

開催競技会 EVENT

名称 94全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦
 サンスタースーパーバイクシリーズ
 サンスタースーパーバイク200km
 ●同時開催 94鈴鹿選手権シリーズ
 鈴鹿サンデーロードレース 第6戦

日程 1994年6月11日(土)・12日(日)

主催 株式会社 鈴鹿サーキットランド

協賛 サンスター 株式会社

会場 鈴鹿サーキット フルコース(5.86403km)

Event: 94 All Japan Road Race Championship Series Round 6

SUNSTAR SUPER BIKE SERIES

SUNSTAR SUPER BIKE 200km

● Supporting Race; 94 Suzuka Championship Series

Suzuka Sunday Road Race Round 6

Date: June 11, 12, 1994

Organizer: Suzuka Circuitland Co., Ltd.

Approval: SUNSTAR INC.

Place: Suzuka Circuit 5.86403km

ご協賛各社 SPONSORS

株式会社アライヘルメット

株式会社三栄書房

株式会社山海堂

株式会社三推社

サンスター 株式会社

住友ゴム工業 株式会社

日本特殊陶業 株式会社

株式会社ニュース出版

株式会社ブリヂストン

モーターマガジン社

横浜ゴム 株式会社

ラッキーストライク

(五十音順)

C O N T E N T S

公示	7
----	---

OFFICIAL NOTICE

大会組織・タイムテーブル	8
--------------	---

OFFICIALS/TIME TABLE

レース・プレビュー

RACE PREVIEW

スーパーバイク	10
---------	----

GP250	38
-------	----

GP125	42
-------	----

NB-SP250/400	43
--------------	----

有カライダー紹介

TOP CONTENDERS

スーパーバイク	14
---------	----

GP250	40
-------	----

GP125	44
-------	----

エントリーリスト

ENTRY LISTS

スーパーバイク	22
---------	----

GP250	26
-------	----

GP125	28
-------	----

NB-SP250/400	30
--------------	----

世界への激走	17
--------	----

WILD CARD RIDERS in MARLBORO GP OF JAPAN

待ちどおしいぞ鈴鹿8耐	46
-------------	----

SUZUKA 8HOURS INFORMATION

鈴鹿サーキット観戦ポイントガイド	50
------------------	----

SUZUKA CIRCUIT COURSE GUIDE

タイムテーブル TIME TABLE

		8	9	10	11	12	13	14		
6/10 (金)	●スポーツ走行 Free Practice		GP125 (A) 40	GP125 (B) 35	GP250 30	スーパーバイク 25	SP400 (1) 40	SP400 (2) 30	GP125 (A) 20	GP125 (B) 50
6/11 (土) 公式予選	●ゲートオープン Gates Open ●公式予選 Qualifying Practice	7:50	GP125 (A) 20 GP125 (B) 50	GP250 (A) 05 GP250 (B) 35	スーパーバイク (A) 10 スーパーバイク (B) 40	SP400 (A) 15 SP400 (B) 40	SP400 (C) 05	GP125 (A) 25 GP125 (B) 30	GP125 (A) 30 GP125 (B) 50	
6/12 (日) 決勝レース	●ゲートオープン Gates Open ●ウォームアップ走行 Warm Up ●コースイン・スタート進行 Starting Procedure ●決勝レース Race ●仮表彰式 Temporary Podium Ceremony ●ピットウォーク Pit Walk	8:00	GP125 40 55	GP250 10 25	スーパーバイク 40 55	GP125 (15周) 30	GP250 (17周) 50	40	45	35

大会組織 OFFICIALS

大会名誉会長 Honorary President	金田 博夫 サンスター株式会社 代表取締役社長 Hiroo Kaneda
大会名誉副会長 Honorary Vice-President	金田 安義 サンスター株式会社 代表取締役副社長 Yasuyoshi Kaneda
大会名誉副会長 Honorary Vice-President	金田 忠行 サンスター株式会社 代表取締役副社長 Tadayuki Kaneda
大会会長 President	星島 浩 Hiroshi Hoshijima

大会顧問 Adviser	工藤 治夫 サンスター株式会社 常務取締役 Haruo Kudoh
大会顧問 Adviser	佐竹 貞夫 サンスター技研株式会社 取締役 Sadao Satake
大会顧問 Adviser	中川 宗和 サンスター株式会社 広告部 部長 Munekazu Nakagawa
大会顧問 Adviser	藤井 璋美 Teruyoshi Fujii
大会参与 Councilor	志村 行勇 Yukio Shimura

計時委員長 Chief Time Keeper	早川 勉 Tsumotomu Hayakawa
副計時委員長 Assistant Chief Time Keeper	津村 義則 Yoshinori Tsumura
進行委員長 Paddock Director	鈴木 証二 Shohji Suzuki
副進行委員長 Assistant Paddock Director	加藤 龍志 Tatsushi Katoh
ピットパドック管理委員長 Pit-Paddock Controller	内田 修一 Shuichi Uchida
副ピットパドック管理委員長 Assistant Pit-Paddock Controller	飯田 省三 Shohzoh Iida

大会組織委員会 Organizing Committee

組織委員長 President	前山 和彦 Kazuhiko Maeyama
組織委員 Member	三原 哲夫 Tetsuo Mihara
組織委員 Member	樽井 良司 Ryohji Tarui

大会競技役員 Officials of the Base

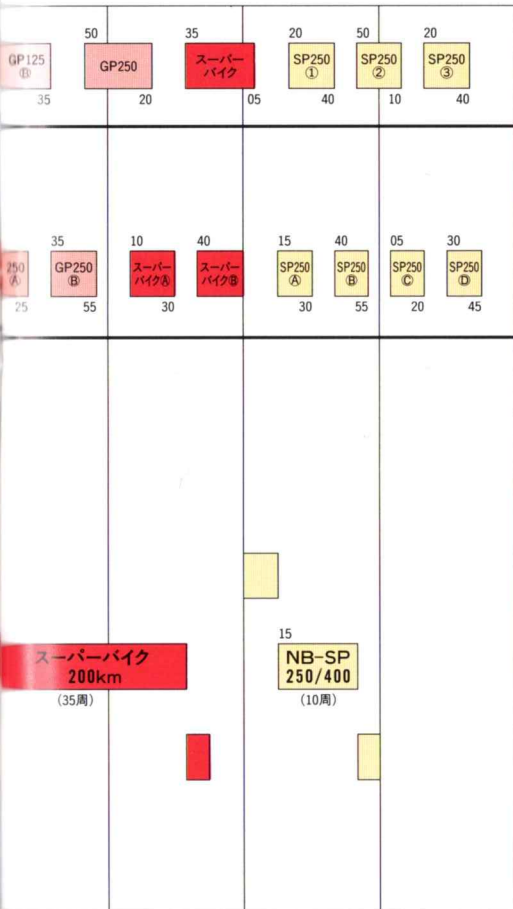
競技監督 Clerk of the Course	和田 将宏 Masahiro Wada
副競技監督 Assistant Clerk of the Course	小林 修治 Shuuji Kobayashi
副競技監督 Assistant Clerk of the Course	市瀬 重敏 Shigetoshi Ichise
コース委員長 Chief Course Marshal	橋口 賢 Ken Hashiguchi
副コース委員長 Assistant Chief Course Marshal	坪井 清貴 Kiyotaka Tsuboi
車検委員長 Chief Technical Steward	館 正信 Masanobu Tachi
副車検委員長 Assistant Chief Technical Steward	上原 隆春 Takaharu Uehara

大会審査委員会 Jury of the Meeting

審査委員長 Chief Steward	福永 頌 Hiroshi Fukunaga
審査委員 Steward	近藤 幾夫 Ikuro Kondoh
審査委員 Steward	井上 勇 Isamu Inoue

保安委員長 Chief of Emergency	室賀 良久 Yoshihisa Muroga
副保安委員長 Assistant Chief of Emergency	梶田 勝久 Katsuhisa Masuda
救急委員長 Medical Director	石原 公郎 Kimio Ishihara
広報委員長 Public Relation Director	内田 亨 Tohru Uchida
事務局長 Secretary General	中野 能成 Yoshishige Nakano

15 16 17 18



レギュレーション抜粋 SUPPLEMENTARY REGULATIONS

第14条 公式予選

- ~4) 公式予選の義務周回数は定めない。
ただし、少なくとも1周はラップタイムが計測されなければならない。
- ~5) 決勝出場台数は44台とする。

第16条 スタート

- ~1) スタートグリッドは4-4-4...と配列され、ポールポジションは最前列右側とする。
- ~2) スタート方法はクラッチスタートとする。
- ~3) グリッド上でのタイヤウォーマーの使用は禁止される。(余熱による保温は許される)

第17条 レース中における燃料補給

- ~1) 200kmのスーパーバイククラスは、決勝レース中の燃料補給を行うことができる。
- ~2) 燃料補給とは補給装置を燃料タンクに接続した状態を指す。
- ~3) 燃料タンクは24ℓ以下とする。
- ~7) 燃料補給中はエンジンを停止しなければならない。

第18条 コース外走行

- ~1) 安全上の理由によりやむを得ない場合を除き、ショートコース、短絡路など規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は、罰則を課す。
- ~2) ビットインする場合は西コースショートカット先のビットイン専用路を徐行すること。安全上の理由によりやむを得ない場合を除

き、正規のビットイン専用路を使用せずエラーラインカットしてビットインした場合、下記罰則が課せられる。

- ①公式予選中の場合はカットした時点以後の予選タイムは無効とする。
- ②決勝レース中の場合はペナルティーを課す。

第20条 レース終了

- ~1) ゴールはトップが各クラス定められた周回を終了した時点でトップにチェッカーフラッグが振られる。
- ~2) 正式レース終了は、チェッカーフラッグが振られてから4分後である。

第27条 賞典

	スーパーバイク	GP250	GP125	全クラス
優勝	200万円	100万円	50万円	トロフィー
2位	100 //	50 //	35 //	トロフィー
3位	70 //	35 //	25 //	トロフィー
4位	60 //	30 //	20 //	トロフィー
5位	50 //	25 //	16 //	トロフィー
6位	40 //	20 //	12 //	トロフィー
7位	30 //	15 //	9 //	
8位	20 //	10 //	8 //	
9位	15 //	7 //	6 //	
10位	10 //	5 //	5 //	
11~15位	8 //	4 //	4 //	
16~20位	6 //	3 //	2 //	
グリッド賞(決勝グリッドに並んだもの全員) 3万円				
総額	797万円	464万円	348万円	

- レースアナウンサー **みし 奈昌俊**
Official Announcer Masatoshi Mishina
- レースアナウンサー **ヘンリー 祝春樹**
Official Announcer Henry-Haruki Iwai
- 鈴鹿サーキットクイーン **佐伯 愛**
Suzuka Circuit Queen Ai Saeki
- 鈴鹿サーキットクイーン **日置 佐保美**
Suzuka Circuit Queen Saami Hioki
- 鈴鹿サーキットクイーン **藤井 靖代**
Suzuka Circuit Queen Yasuyo Fujii
- 鈴鹿サーキットクイーン **李 絵津子**
Suzuka Circuit Queen Etsuko Lee

- コース 高橋 英樹 野間 洋 山本 紳二 石井 洋 川端 智親 ●レスキュー 辻 克也 加藤 慶一
窪田 光男 横手 幸夫 赤井 潤 中山 彰裕 宮澤 謙作 西村 幸恵 上杉 耕二 田中 喜理 中村 澄久
土田 雅美 松本 義幸 斉藤 薫 田中 成吾 中村 良美 植田 浩平 内田 勉 山本 祥久 中村 龍剛
土岐 康夫 山元 章弘 嘉村 博仁 小林 昭文 渡辺 保典 奥野 義広 梶野 博文 泉阪 順
児玉 康裕 辻井 敏行 森 勉 馬越 大作 飯田 勝三 原田 浩介 木場 久雄 石田 秀治
立松 誠一 高島 学 赤井田夏彦 小松 晃 増石 利明 大江 孝次 木村 久雄 旭野 達也 鈴木 貴一
川邊 雅永 廣瀬 聡毅 峰山 誉 駒居 憲幸 森栗 雅之 三村 朝実 乾 正巳 石村 弘之
石田 吉孝 山元 達央 入山 晃 松本 泰彦 前田 由佳 黒下 憲浩 石山 満葉 石山 満葉 松本 修
内田 鉄弥也 堀内 章治 別所 弘次 柴崎 哲也 繁森 卓也 松本 芳樹 野村まゆみ 室賀恵都子 上嶋 惠
柴田 欣也 小川 恭寛 山田 正仁 小林 清成 新 圭祐 高木 吾吾 水野 泰成 中村美枝子 伊藤真寿美
山下 洋 平阪 匡志 土田 博之 依田 清豪 播 圭祐 高木 吾吾 水野 泰成 中村美枝子 伊藤真寿美
上條 泰 新聞 宏司 杉本 健治 保地 源 片受 朋史 原口 西山 達也 小西 邦仁 市野 尚美 白石 国元
土井 康正 広瀬 登 杉山 功 小笠原克紀 長村 英明 原山 達也 大江 伸行 野村まゆみ 西川 隆文
小川 賢二 谷口 保之 水野 英治 山内 悦夫 主税 功 木下 富夫 中村 善則 刀根かおる 水口 誠
田中 悟 若竹 伸行 加藤 英典 川村 橋本 孝生 西村 直 藤元 勝永 渡辺 和司 津村 義則 金子 隆美
木村 実 山口 浩一 中村 哲也 橋本 辰男 川村 勇人 梶原 喜雄 佐藤 力哉 渡辺 力哉 後藤 康次 渡辺 直美
田中 昭和 稲山 毅 武藤 慎一 松田 聡 水谷 寿紀 森 賢一 武内 計憲 栗山 隆史 渡辺由美子
諸岡 桂 水野 昌民 福王寺一郎 福岡 龍史 丸山 徳彦 丸山 徳彦 丸山 徳彦 丸山 徳彦 丸山 徳彦 丸山 徳彦
石津 裕史 稲見 聖司 福見 聖司 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤
近藤 由樹 牧野 真也 細谷 淳 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤 伊藤 篤
中垣 敬明 高木 克司 白石 誠路 水谷 信也 尾上 直士 淳一 平田 隆二 奥井英太郎 瓜田 聡 奥井英太郎 瓜田 聡
中殿 英敏 岡野 太郎 西口 博三 橋本 光司 橋本 光司 橋本 光司 橋本 光司 橋本 光司 橋本 光司 橋本 光司 橋本 光司
伊藤 昭雄 浜本 茂 佐藤 真一 大野 博昭 杉谷 栄昭 三谷 剛志 三谷 剛志 三谷 剛志 三谷 剛志 三谷 剛志 三谷 剛志
西村 末吉 竹内 秀夫 吉井 久智 石田 広之 菅原 能孝 中北 秀史 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀
山内 敬 田中 創 笹岡 英史 辻 文孝 菅原 能孝 中北 秀史 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀 藤岡 秀紀
福谷 信行 笑福亭福輔 瀬古 充宏 伊藤 剛史 原田 敬 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭
紅谷 光一 美濃島隆行 大谷 一生 松本 哲弥 小林健太郎 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭 石黒 光昭
泉 直樹 加藤 恭三 高 哲弘 富松 寛之 東野 貴士 前川 敏彦 小川 桂一 三岡 祥哲 安井 欣也 北村 辰二 阪田 敏治
坪井 清賢 高 永島 重明 村上 恭一 菅野 将行 宮内 正裕 佐々木仁嗣 中尾 和仁 佐々木仁嗣 中尾 和仁 佐々木仁嗣
橋口 賢 村上 洋三 尾田 全史 山本 武志 河津 孝典 小池 充 小野 実 伊藤 徳廣 岡 篤志 辻 義久 中村 弘和 中村 貴史 田邊 良幸 山田 裕一 谷村 隆俊 宮崎 常利
堤 誠治 永田 久 松宮 則人 奥田 裕章 上谷 喜弘 徳本谷祐理子 松尾 繁利 中川 功治 大藤 伸治 中村理恵美 高野 正規 的場 秀光 広瀬 江里
小田 拓美 原田 勇一 伊藤 大輔

サンスタースーパーバイク200km

START 14:00 35LAPS

●レース進行スケジュール▶ 8ページ
●エントリーリスト▶ 22~24ページ

SUPER BIKE



スーパーバイク元年の今季、ホンダが放つRVF/RC45の強さは、シーズン前からささやかれていた。その速さは昨年までのTT F1マシンに匹敵するか、あるいはそれ以上のものであり、レギュレーション変更の影響もなくホンダがスーパーバイクをリードしていくのではないかと、いうものだった。さらに、長い間RVFを走らせていた武石伸也と、NSR500を駆っていた辻本 聡をワークスに迎え入れたことから、ホンダの本気が十分にうかがえた。

だが、シーズンが幕を開けると、際だったのはカワサキの強さだった。TT F1時代からスーパーバイクの開発を積み上げてきたことで、ZXRIはエンジン、車体のバランスが良く、高いポテンシャルをアピールしたのだ。

昨年まで鈴鹿で圧倒的な速さを見せてい

た武石が勝てない。開幕戦でカワサキ2台の先行を許した武石は「マシンの熟成、煮詰めが必要」と語り、ホンダ陣営も「新しく作ったマシンでの戦いだけに、簡単に勝てるとは思っていなかったが…」と言葉を濁す。

さらに、カワサキの開幕3連勝にストップをかけたのは武石でもホンダでもなかった。2レース制の第3戦SUGOで完全勝利を飾ったのはヤマハの永井康友だった。

このままでは武石も納得できるはずはなく、ホンダにしてもこのまま黙っているわけにはいかない。「カワサキに追いつき、鈴鹿200kmで抜く、そしてトップに立つ」と、

ホンダは急ピッチで進むマシン開発の目標を今大会に据え、戦闘力アップを具体的かつ現実的なものとしてきた。武石も「鈴鹿では絶対に勝つ。負けられないレースだと思っている。僕は計算して最後に勝負を賭けるタイプではないから、行けると思ったら、全開でぶっちぎりに行きます。そうできるように自分のコンディションもベストな状態を保っている」と堂々の勝利宣言。また、武石と共にマシンテストに明け暮れて

このままじゃ 終わらない

カワサキの勢いと、巻き返し著しいヤマハ勢
さらに4メーカーを敵にまわし、好調なドゥカティ
その中で、にわかにも注目を集めるのは
ホンダのエース、武石伸也の起死回生の一撃だ
さて、8耐前哨戦・サンスタースーパーバイク200km
いよいよここで、反撃の狼煙が上がるか

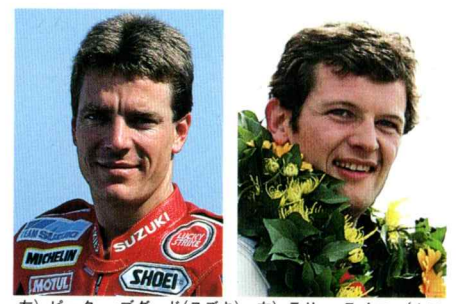
いた辻本が、ここで10か月ぶりにカムバック。辻本は「マシンの完成度は高いのだが、テストの時間が足りなく、これまで細かい部分の煮詰めができていなかっただけ。でも、鈴鹿200kmまでにはいい仕上がりになっているはず。後は、けがの回復具合がどうなのか、自分でも走り出さなければ分からないという不安はあるが、目標はあくまでも武石と俺で1-2フィニッシュ。どっちが1番になるかが見物だね」と不敵な笑

みを浮かべる。ホンダワークスのこのふたりが、どんな戦いぶりを見せるのか、ここが正念場だけに興味は膨らむ。

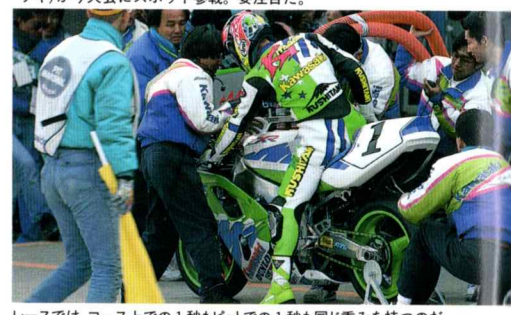
8耐の前哨戦となる今大会は、全日本スーパーバイクを戦うすべての者にとって是非でも落とせない1戦となる。誰もが、必勝態勢でこの鈴鹿200kmに臨んでくる。その中で、王者の復活を賭け、武石、そしてホンダの逆襲が、本格的に始まろうとしているのだ。



レース観戦ポイント



左) ビーター・ゴダード(スズキ)、右) テリー・ライマー(カワサキ)が今大会にスポット参戦。要注目だ。



レースでは、コース上での1秒もピットでの1秒も同じ重みを持つのだ。

キミはどう読む? 200km先の 勝敗の行方

200kmという長丁場の戦いだけにその勝敗を決めるのは、マシンやライダーのポテンシャルだけではない。各チームがどんな作戦に出るかピット作業に必要な時間は…? 要目の観戦ポイントを紹介しよう

タイヤ交換の有無 ピットの動きに注目だ!

8時間耐久の前哨戦と言われる鈴鹿200km。ライダーやマシン、それを支えるスタッフを含め、この時期には8時間耐久を戦うシステムが構築されていない。それらの実戦テストが、今回の200kmレースで行われる。

200kmという距離を走り切るには、当然のように給油が必要となる。その際のピットインではタイヤ交換も可能になり、チームはスプリントにはない戦術の重要性に触れることになる。

タイヤ交換を行わなければ、レース終盤、タイヤの消耗からラップタイムの低下は避けられないが、タイヤ交換を行うかどうか、チームにとっては重要な課題となってくるわけだ。スタートからゴールまで、レースタイムを計算した作戦がそれぞれのチームで考えられているのだ。

レースの流れを左右する 各チームの戦略

この作戦を完璧に実行することが、勝敗に大きく影響することは言うまでもない。ライダーはタイヤの消耗等を計算に入れ、ラップタイムをコントロールし、チームスタッフはピットストップを可能な限り短縮する。マシンにも、ジャッキアップやタイヤ交換をできる限りスピーディに行えるように、あらゆる工夫が施されている。ピットストップも、今回のレースでは見逃せない重要なポイントなのだ。ぜひ、各チームのピットストップの所要タイムを計測

REVIEW '94全日本ロードレース選手権シリーズ(第5戦富士まで)

Rd.1 3/13 鈴鹿 サンスタースーパーバイク100mile カワサキの1-2フィニッシュ。北川、開幕戦を制す

ポールポジションを獲得したのは塚本。予選開始早々に降り始めた雨のため、アタックのタイミングを逃した北川は7列め、阿部は9列めと大きく出遅れた。決勝は武石の好スタートで始まった。しかし



予選から決勝まで、カワサキの強さが際立った。

2周めには塚本が武石を捕えトップに。さらに驚異の追い上げで早くも4周めには3位までポジションを上げた北川が武石をパス、2位に浮上する。トップ争いはカワサキ2台に絞られるが、北川はTT F1のコースレコードを上回るペースで塚本を追撃、ついにトップの座を奪う。途中、各車それぞれ給油ストップを行うが、上位3台に順位の変動はなく、北川、塚本、武石の順でゴール。無給油作戦に出た梁は、ブライベーター最上位の4位に入った。

RESULT						
順位	ライダー	マシン	周回数	タイム	予選順位	予選タイム
1	北川 圭一	カワサキZXR750R	28	1:02'40"808	25	2'34"095
2	塚本 昭一	カワサキZXR750R	28	1:02'49"770	1	2'27"215
3	武石 伸也	ホンダRVF/RC45	28	1:03'03"300	3	2'28"393
4	梁 明	カワサキZXR750R	28	1:03'16"565	18	2'32"991
5	30 宮崎 祥司	カワサキZXR750R	28	1:03'25"963	6	2'29"682
6	24 青木 拓磨	ホンダRVF/RC45	28	1:03'30"769	22	2'33"325
7	8 吉川和多留	ヤマハYZF750SP	28	1:03'30"840	9	2'30"555
8	32 阿部 典史	ホンダRVF/RC45	28	1:03'30"959	35	2'41"090
9	12 和泉美智夫	カワサキZXR750R	28	1:03'48"457	36	2'41"601
10	13 小林 敏也	ホンダRVF/RC45	28	1:04'07"530	4	2'28"484
					●ポールポジション:4 塚本 昭一	2'27"215

Rd.2 4/10 MINE 梁 明、IA初勝利を飾る

カワサキ勢がここでも好調さをキープ。塚本がポールポジションを獲得した。決勝レース序盤は青木と塚本の2台によるトップ争いが繰り広げられる。ところが、この2台が接触し転倒。これでトップに立った武石だが、後続の永井、北川に相次いでパスされてしまう。さらに、2位まで順位を上げた北川が転倒。この後、トップ争いは永井と梁によって繰り広げられるが、終盤の永井のオーバーランで決着。梁が嬉しい国際A級初勝利を飾った。

RESULT						
順位	ライダー	マシン	周回数	タイム	予選順位	予選タイム
1	梁 明	カワサキZXR750R	22	32'56"366	3	1'28"163
2	8 吉川和多留	ヤマハYZF750SP	22	32'56"574	7	1'28"864
3	70 芳賀 紀行	ドゥカティ888	22	32'56"992	9	1'28"828
4	2 武石 伸也	ホンダRVF/RC45	22	32'57"500	6	1'28"490
5	62 藤原 慎彦	ヤマハYZF750SP	22	33'02"976	11	1'28"731
6	3 永井 康友	ヤマハYZF750SP	22	33'13"745	8	1'28"897
7	32 阿部 典史	ホンダRVF/RC45	22	33'13"962	10	1'28"954
8	60 鶴田 竜二	カワサキRVF750R	22	33'22"727	13	1'30"175
9	71 岩橋健一郎	ホンダRVF/RC45	22	33'24"621	15	1'30"709
10	11 金安 智彦	ホンダRVF/RC45	22	33'25"100	12	1'30"101
					●ポールポジション:4 塚本 昭一	1'28"029

し比較してみよう。ピットストップタイムの長短が、レースにどう影響するか、それを推し量ってみるのもおもしろい。

では、ライダーをいつピットインさせるか？ そのタイミングは作戦上の重要なファクターとなる。うまくすれば、前車との差を詰めたり、順位を上げることが可能だからだ。

8耐に照準を合わせた新仕様のマシン登場なるか？

さて、シーズンも中盤を迎え、優勢を感じさせていたカワサキに、ホンダ、ヤマハの激しい追い上げ



92年から200kmを2連覇中の永井康友。3連覇なるか？

が始まっている。ホンダもヤマハも耐久に向けた新しい仕様を、この200kmから投入してくるのは必至だ。さらに、スズキやニューエンジンを投入したドゥカティも黙ってはいない。8耐をにらんで参戦するピーター・ゴダード、テリー・ライマーを交えての熱戦。さて、キミはその勝敗の行方をどう読む？

ポイントランキングTOP10 (第5戦富士終了時点)

順位	ライダー	3/13 鈴鹿	4/10 MINE	5/1 SUGO	5/15 筑波	5/29 富士	合計
1	8 吉川和多留	9	17	7.5	8.5	11	70
2	2 武石伸也	15	13	8.5	7.5	0	55
3	24 青木拓磨	10	0	0	4.5	20	54.5
4	1 北川圭一	20	0	0	5	13	51
5	9 梁 明	13	20	1.5	2	6	49.5
6	3 永井康友	—	10	10	10	17	48
7	62 藤原儀彦	0	11	0	5.5	15	46.5
8	70 芳賀紀行	0	15	2	3.5	10	40.5
9	4 塚本昭一	17	0	4.5	6.5	—	37
10	32 阿部典史	8	9	6.5	2.5	2	34



KAWASAKI ZXR750R



HONDA RVF/RC45



YAMAHA YZF750



SUZUKI GSX-R750 SP



DUCATI 888

MACHINES

開発期間の長いカワサキが一步リード

今シーズンから全日本でスタートしたスーパーバイク。ベースマシンを市販モデルに求め、改造を徹しく制限した新しいカテゴリーだ。メインフレームやエンジンブロックなどの重要な構成部品は、市販モデルと全く同じものを使用しなければならない。ワークスとプライベートの間にあった歴然とした格差が是正され、より白熱したレースが展開されている。そもそもスーパーバイク発祥のコンセプトは、イコールコンディションとランニングコストの低減。この新しいカテゴリーが、全日本に新風を吹き込んでいることはまちがいない。スーパーバイク施行にあたり、各メーカーのアプローチは様々。だが、共通するテーマは増加した重量が及ぼす数々の影響

への対処。たとえばカーボンブレーキの採用やメインフレームの補強、それと各部の信頼性の向上などだ。パワー自体にそれほど問題はない。現在の4ストローク技術をもってすれば、昨年のTT F1並のパワーを引き出すことはさして困難なことではないからだ。

RVF/RC45を投入したHondaは、ベースマシンのポテンシャルアップという大胆な手法を採用した。なかでもフルエルインジェクションの採用は新しいアプローチとして注目を集めた。スズキは水冷を採用することで信頼性の向上を狙い、ヤマハはバランスを重視し高水準のハンドリングを維持している。その中でリードしているのは、長い開発期間を経ているカワサキと言えるだろう。

Rd.3 5/1 SUGO ヤマハの永井、両レースを制覇!

(1stレース) ここでも塚本が予選1番手。レースでもまず塚本が飛び出すのが、その周のシケインで転倒。さらに、上位陣のうち北川と藤原も同じシケインで転倒。結局、中盤にトップに立った永井が1stレースを制した。

(2ndレース) レース序盤にトップに立った永井は、そのまま独走体勢に。2位以下は武石、塚本、吉川の争いとなるが、この中から吉川が抜け出し、塚本を振り切った武石が3位に入った。

RESULT

順位	ライダー	マシン	周回数	タイム	予選順位	予選タイム
(1stレース)						
1	3 永井 康友	ヤマハYZF750SP	20	36'02"301	8	1'32"850
2	2 武石 伸也	ホンダRVF/RC45	20	36'14"020	2	1'32"125
3	8 吉川和多留	ヤマハYZF750SP	20	36'24"172	4	1'32"424
4	32 阿部 典史	ホンダRVF/RC45	20	36'24"830	16	1'34"339
5	12 和泉美智夫	カワサキZXR750R	20	36'32"993	6	1'32"730
(2ndレース)						
1	3 永井 康友	ヤマハYZF750SP	20	34'54"665	8	1'32"850
2	8 吉川和多留	ヤマハYZF750SP	20	34'58"852	4	1'32"424
3	2 武石 伸也	ホンダRVF/RC45	20	35'01"683	2	1'32"125
4	4 塚本 昭一	カワサキZXR750R	20	35'04"294	1	1'31"623
5	62 藤原 儀彦	ヤマハYZF750SP	20	35'26"397	11	1'33"269

●ボールポジション:4 塚本 昭一 1'31"623

Rd.4 5/15 筑波 青木、スーパーバイク初勝利

4戦連続のポールポジションを獲得した塚本だが、決勝日朝のフリー走行中に転倒、決勝レースをキャンセルすることとなった。決勝で好スタートを切ったのは青木。序盤から青木はハイペースで逃げ、独走体勢に。一方、2位以下は芳賀、藤原、永井、吉川が続くが、18周の第1ヘアピンで2番手に浮上した永井が、この中から抜け出し、青木を追撃。しかし青木は安定したペースで周回を重ねそのままゴール。スーパーバイク初優勝を飾った。

RESULT

順位	ライダー	マシン	周回数	タイム	予選順位	予選タイム
1	24 青木 拓磨	ホンダRVF/RC45	34	37'23"358	4	0'58"791
2	3 永井 康友	ヤマハYZF750SP	34	37'43"587	7	0'58"873
3	62 藤原 儀彦	ヤマハYZF750SP	34	37'49"051	11	0'59"260
4	1 北川 圭一	カワサキZXR750R	34	37'51"621	3	0'58"734
5	8 吉川和多留	ヤマハYZF750SP	34	37'55"633	5	0'58"864
6	70 芳賀 紀行	ドゥカティ888	34	37'55"902	8	0'58"892
7	5 柳川 明	スズキGSX-R750S	34	38'02"174	10	0'59"248
8	23 丸山 浩	ドゥカティ888	34	38'06"273	9	0'58"993
9	13 小林 敏也	ホンダRVF/RC45	34	38'07"250	13	0'59"492
10	9 梁 明	カワサキZXR750R	34	38'07"360	6	0'58"864

●ボールポジション:4 塚本 昭一 0'58"278

Rd.5 5/29 富士 混戦を制し、青木が2連勝

1分39秒372をマークし、今季初のポールポジションを獲得したのは北川。2番手にはわずかにコンマ015秒差で吉川が続く。決勝では永井、青木、藤原、吉川、北川の5台によるトップ争いが加熱。ストレートでのスリッパの使い合い、さらに1コーナーへの突っ込み合戦。目まぐるしく順位が入れ替わる展開が終盤まで続くが、結局、17周めにトップに立った青木が藤原の追撃を退け、2連勝を飾った。2位には、藤原を僅差で抑えた吉川が入った。

RESULT

順位	ライダー	マシン	周回数	タイム	予選順位	予選タイム
1	24 青木 拓磨	ホンダRVF/RC45	20	33'11"957	6	1'39"876
2	8 吉川和多留	ヤマハYZF750SP	20	33'12"704	2	1'39"387
3	62 藤原 儀彦	ヤマハYZF750SP	20	33'12"723	9	1'40"373
4	1 北川 圭一	カワサキZXR750R	20	33'13"235	1	1'39"372
5	2 武石 伸也	ホンダRVF/RC45	20	33'22"791	2	1'39"800
6	40 芳賀 紀行	ドゥカティ888	20	33'22"242	8	1'40"210
7	4 塚本 昭一	カワサキZXR750R	20	33'28"021	12	1'40"947
8	12 和泉美智夫	カワサキZXR750R	20	33'31"027	7	1'39"899
9	9 梁 明	カワサキZXR750R	20	33'31"136	10	1'40"706
10	32 阿部 典史	ホンダRVF/RC45	20	33'34"126	11	1'40"912

●ボールポジション:1 北川 圭一 1'39"372

SUPER BIKE RIDERS

② 武石 伸也 Shinya TAKEISHI

HONDA RVF/RC45

- 1967年10月5日生まれ(26歳)
- 北海道出身
- 91年国際A級昇格
- 92年鈴鹿8耐・3位入賞
- 92年全日本TT F1クラス・ランキング3位
- 93年全日本TT F1クラス・ランキング2位

ファクトリーマシンをライディングして3シーズンめ。今年HRC入りし、ニューマシンRC45の開発をしながら実戦参加している。普段は気さくで、後輩の面倒見のいいライダーだ。

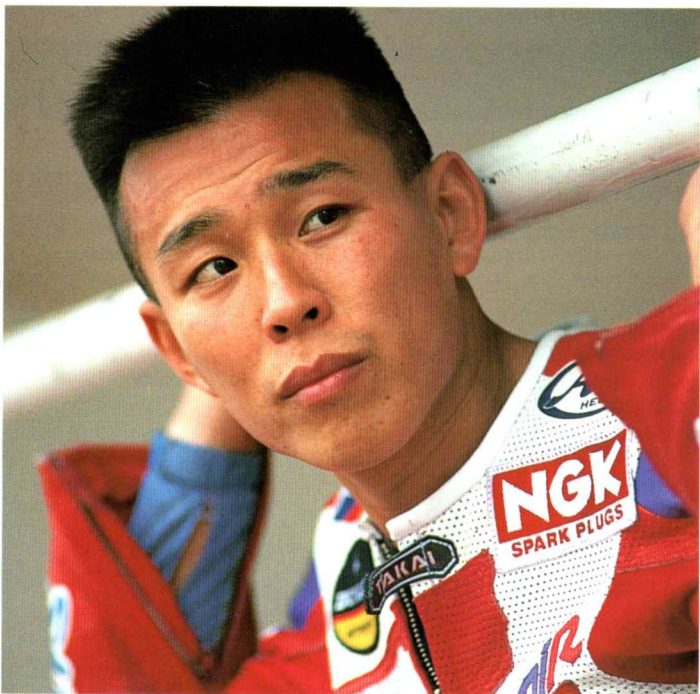


⑤ 柳川 明 Akira YANAGAWA

SUZUKI GSX-R750 SP

- 1971年7月15日生まれ(22歳)
- 鹿児島県出身
- 91年国際A級昇格
- 91年全日本TT F1クラス・ランキング28位
- 92年全日本TT F1クラス・ランキング6位
- 93年全日本TT F1クラス・ランキング5位

今シーズン、マシン開発に悩み続けている柳川。それをライディングでカバーしようと、昨年以上のアグレッシブな走りを見せている。マシンが仕上がれば、必ず前には来るはず。



③ 永井 康友 Yasutomo NAGAI

YAMAHA YZF750

- 1965年10月29日生まれ(28歳)
- 東京都出身
- 89年国際A級出身
- 91年全日本TT F1クラス・ランキング2位
- 92年全日本TT F1クラス・ランキング5位
- 93年全日本TT F1クラス・ランキング3位

今年はマシン開発をメインの目的に参戦。第3戦SUGOでは微妙なコンディションの中、2ヒートのレースを完全制覇。ライディングのうまさを変えてアピールするレースを見せた。

⑧ 吉川和多留 Wataru YOSHIKAWA

YAMAHA YZF750SP

- 1968年9月26日生まれ(25歳)
- 東京都出身
- 91年国際A級昇格
- 91年全日本TT F1クラス・ランキング9位
- 92年全日本TT F1クラス・ランキング9位
- 93年全日本TT F1クラス・ランキング8位

TT F1時代もスーパーバイク仕様のマシンに乗り続けていたため、今シーズンはマシンへの慣れという面で有利と自己分析。第2戦、第3戦と連続2位表彰台はそれを端的に物語っている。





9 梁 明
Akira RYOH

KAWASAKI ZXR750R

- 1967年10月20日生まれ(26歳)
- 東京都出身
- 90年国際A級昇格
- 90年全日本TT F1クラス・ランキング3位
- 91年全日本TT F1クラス・ランキング4位
- 92年全日本TT F1クラス・ランキング19位
- 93年全日本TT F1クラス・ランキング9位

スーパーバイクに移行し、ワークスとの差が縮まったことを象徴する、プライベート・梁の第2戦の優勝劇だった。今回、さらに活躍を見せてくれるはずだ。



4 塚本 昭一
Shohichi TSUKAMOTO

KAWASAKI ZXR750R

- 1960年8月1日生まれ(33歳)
- 石川県出身
- 89年国際A級昇格
- 89年ル・マン24時間レース3位入賞
- 92年全日本TT F1クラス・チャンピオン
- 93年全日本TT F1クラス・ランキング4位

シーズン序盤からマシンの仕上がりが良く、第1戦から4戦まで連続してポールポジションを獲得する速さを見せている。関西弁で、ユーモアたっぷりの人柄はパドックでも人気者。



62 藤原 儀彦
Norihiko FUJIWARA

YAMAHA YZF750SP

- 1966年10月8日生まれ(27歳)
- 東京都出身
- 86年国際A級昇格
- 87~89年全日本GP500クラス・チャンピオン
- 90・91年全日本GP500クラス・ランキング2位
- 92・93年全日本GP500クラス・ランキング3位

ヤマハのエース・ライダー。シーズン序盤は、マシンの重量などに慣れないためか、本意なレースが続いたが、第4戦筑波で久々の表彰台獲得。レースに賭ける意気込みは少しも失われていない。



1 北川 圭一
Keiichi KITAGAWA

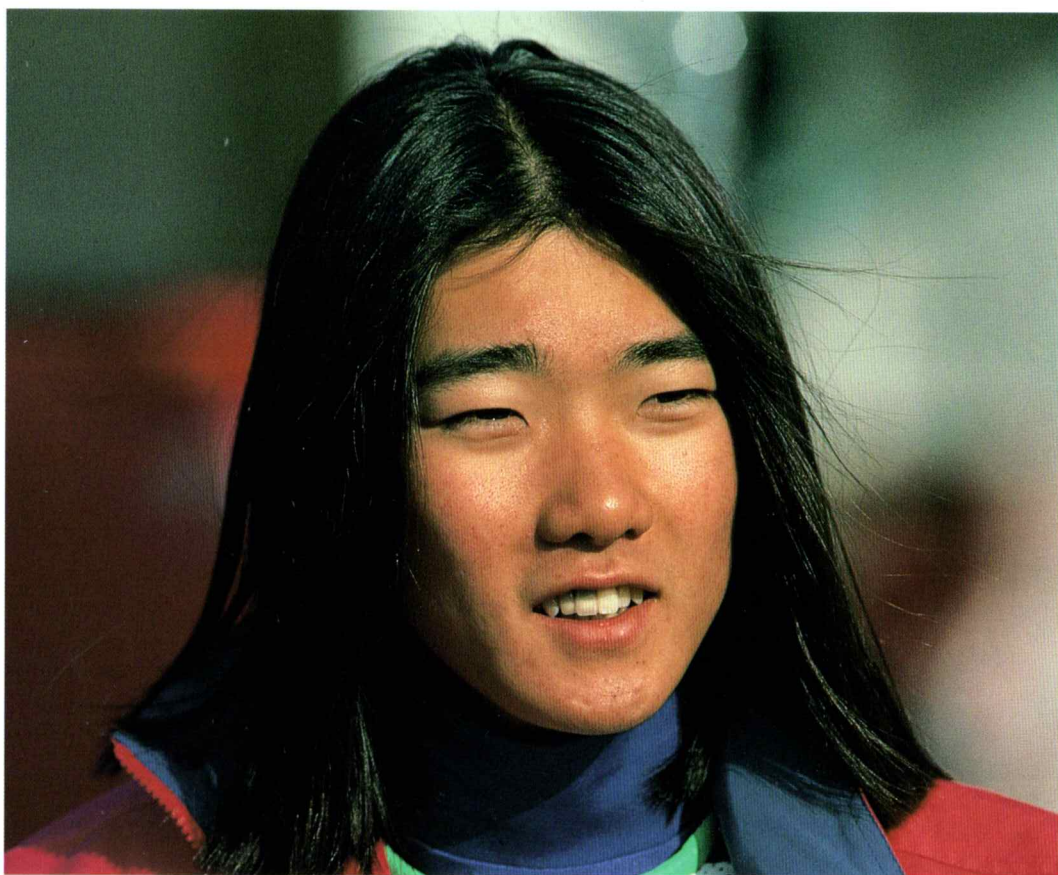
KAWASAKI ZXR750R

- 1967年3月24日生まれ(27歳)
- 京都府出身
- 90年国際A級昇格
- 91年鈴鹿8耐・4位入賞
- 92年全日本TT F1クラス・ランキング2位
- 93年全日本TT F1クラス・チャンピオン

今年はスタートミスなどから、追いつきのレースが続いている。しかしマシン、ライダーともに絶好調の93年TT F1チャンピオン。京都弁を話し、さわやかなその風貌に女性ファンも多い。



SUPER BIKE RIDERS



90 辻本 聡 Satoshi TSUJIMOTO

HONDA RVF/RC45

- 1960年2月19日生まれ(34歳)
- 大阪府出身
- 85年国際A級昇格
- 85・86年全日本TT F1クラス・チャンピオン
- 92年全日本GP500クラス・ランキング5位
- 93年鈴鹿8時間耐久・2位入賞

持ち前の明るさと強さで、けがなどの逆境も克服し、昨年の8耐ではローソンのペアライダーとして力走、2位入賞を果たした。今年はRC45の開発を担当し、武石をサポートしている。



24 青木 拓磨 Takuma AOKI

HONDA RVF/RC45

- 1974年2月24日生まれ(20歳)
- 群馬県出身
- 91年国際A級昇格
- 92年全日本GP250クラス・ランキング4位
- 93年全日本GP250クラス・ランキング2位
- 93年鈴鹿8耐・3位入賞

御存じ、青木三兄弟の次男坊。パドックではいつも明るい好青年。だが、その素顔からは想像もつかないほどアグレッシブなライディングを見せる。第4戦筑波では独走優勝を飾っている。



47 芳賀 紀行 Noriyuki HAGA

DUCATI 888

- 1975年3月2日生まれ(19歳)
- 愛知県出身
- 93年国際A級昇格
- 93年全日本GP250クラス・ランキング13位

今季、GP250クラスからスーパーバイクにスイッチ、第2戦では3位表彰台を獲得した。しかし「自分だけでなく、兄(GP250クラス参戦の健輔)と一緒に表彰台を獲得したい」と、兄想いの一面を見せる。



32 阿部 典史 Norifumi ABE

HONDA RVF/RC45

- 1975年9月7日生まれ(18歳)
- 東京都出身
- 93年国際A級昇格
- 93年全日本GP500クラス・チャンピオン

日本GPでは世界の強豪を相手に果敢な走りを見せ、多くのファンを沸かせてくれた。マシンの仕上がりの遅れが気になるが、ノリックが本領を発揮する時が非常に楽しみだ。



世界への激走！日本GPで大暴れ 全日本スポット参戦ライダー

全日本のレベルが、世界のすぐ近くにあることを、その走りで証明して見せた3人の全日本ライダー



息もつかない序盤の攻防戦。その中に青木の姿があった。

ポイントは兄に譲ろうと、弟としては思ってたんだ(笑)

青木 拓磨(GP2)

「今年からスーパーバイクで走るようになったから、日本GPの前に250に乗れたのは筑波のスポーツ走行で30分×2回だけ。しかもマシンは、去年乗っていた全日本仕様のNSRとは全然違う93世界GP仕様のNSRだったから、乗り込む時間が少ないのは痛かった。だからね、トップ争いに絡めるとは思ってなかったんだ。絶対に勝とうとか、そういう欲もなかったしね。ライダーとして日本GPに出れるというのは嬉しかったけど、そう簡単な世界じゃないでしょう。だから、精一杯に頑張ってる楽しもうって思

ってた。でも、ドライブで全然乗り込んでいないわりにはセッティングも自分の好みに近いものに仕上がった。マシンは去年のより全然速いし、いい位置でレースを終えられたらいいなと思ってた。でも、ポイントは兄に譲ろうと、弟としては思ってたんだけど、兄はトラブルを抱えて上がってこれなかったんだ。」

「決勝は路面が濡れているところがまだあって、前半はペースは上がらなかった。この辺のところが、僕が宇川君について行けた要因だと思うけど。久しぶりに大バトルを楽しんでたんだ。競ってる時に岡田さんがヘルメットを振って、危ないとサインを送ってきたりもした。凄いバトルだったから、マシンがぶつかったりしてたんだ。でも、僕はだんだんミッショントラブルが出てきてしまっ、バトルからは置いて行かれてしまった。悔しいと言えば悔しいけど、楽しめたからいいと思ってるんだ。」

「後でビデオを見たら、やっぱり、ピアッジの突っ込みが凄いいね。ピアッジと兄が仲がいいんで、レースウィークは一緒に行動することが多かったんだ。そのピアッジは『自分が一番でカビが2番で岡田が3番になる予定だったのに』って言ってた。レースが終わって、やっぱり世界GPに行きたいって気持ちが強くなった。だからその土産に、全日本スーパーバイクのタイトルを取りたい。そうだったら最高、だね。」

ライダーやってほんとに良かったって気分だった

宇川 徹(GP2)

「全日本のチャンピオンを取れた時、まず、これで日本GPに出れるんだって思ったくらい走れるのを楽しみにしてたんだ。気持ち的にも全日本を走るよりすごく楽しかった。失うものがないから、がむしゃらに頑張るだけだからね。精一杯走って、勉強しようと思ってた。岡田さんに『引っ張ってください』ってお願いしたら、『お前を引っ張ってる暇なんかはないよ』って言われたんだけど、すぐに『ついて来れるならついて来い』って言ってくれた。レース後も『やるじゃん、宇川』って。岡田さん、感謝してます。」

「決勝では、僕があそこまでついて行けるとは誰も思ってなかったでしょうね。でも、3位という成績が一番驚いているのは僕自身なんだ。だけど、一旦走り出したら、何となくでも勝ちたくなる。先輩、後輩なんてどこかに吹き飛ばしてしまっていて、最高に楽しいバトルができた。レース中にトップのポジションでコントロールラインを通過した時は、ライダーやってほんとに良かったって気分だった。ここでチェッカー振ってくれないかな～なんて思っちゃった(笑)。最後のシケインは驚きだった。黒い弾丸みたいに、凄いスピードでピアッジが突っ込んできて、パタって寝た瞬間に、あ～あ、これで4位かと思った。けど、やっぱりあれじゃ曲がれませぬよね(笑)。」

「世界GPは何もかもが違うって印象。表彰台、シャンパンの大きさがまず違う。もったいなくて、僕はあんまり振らなかった。残しておいて、メカニックやスタッフみんなと後で飲んだんだ。記者会見で、上田さんみたいに『メカニックのおかげでいい走りができた』なんて英語で答えられたらカッコイイなと思ってたけど、残念ながら僕は日本語で答えてた。」

「レース後のパーティーの壇上で尾熊さん(HRC副社長)に『これで世界GPへの切符を手に入れたな』って言われた時は、本当に嬉しかった。でも、世界GPへ行くのには切符が5枚必要だと後で言われた。僕はその内の一枚はもう手に入れたらしい。残りの4枚をどうやって手に入れるのかは教えてくれなかったけど、それを目標に頑張りたいと思っています。」



GP初参戦にして表彰台に上がった宇川。初々しい笑顔が印象的だった。

レイニーさんの言葉と大声援が、勇気づけてくれたんだ

阿部 典史(GP1)

「憧れのレイニーさんが、予選の後にダンロップの人を通して、話があると僕を呼んでくれたんだ。『決勝ではシュワツ、ドゥーハン、ルカが飛び出す、3ラップは様子を見て行って、その後で勝負を賭ける』ってアドバイスしてくれた。予選は練習で出していた自己ベストタイムも出せなくて、全然ダメだった。それでも、レイニーさんがトップを走れるって言うてくれたから、すごく自信が付き、僕にはこの日本GPのワンチャンスしかない。だから『絶対に頑張る』って誓ってたんだ。」

「決勝日の前夜はぐっすり眠れたけど、いざとなると結構緊張してた。スタートしてからはレイニーさんのアドバイス通りに走った。表彰台を狙う走りははたくなかった、絶対に勝ちたかったんだ。後半になって、シュワツさんが逃げにかかっているのが分かったから、絶対について行こうと思った。ここで離されたら挽回するのはたいへんだから。それで1コーナーでア

クスルを開けた。周回遅れに一瞬奪を取られ、アッと思った瞬間にブレーキがロックして飛ばされた。バイクがクルクル回って、僕は地面に叩きつけられた。けががなくてホッとしたら悔しさが込み上げてきて、涙があふれた。」

「レースが終わってメカニックの人が迎えに来てくれてコースに出たら、観客のみなさんがものすごい声援をくれて、すごく嬉しかった。やっぱり守りの走りをするより、攻めの走りをして良かったって思った。あの声援には本当に勇気づけられたんだ。チームテントに戻ったら、今度は外国人のプレスの人がいっぱい来てて質問攻めだった。」

「レース後のパーティーで、ドゥーハンさんに『お前の走りは危ない。俺も若いころはそうだったけど、気をつけて走れ』って言われたんだ。怒られちゃったけど、日本GPを走れたことで、絶対に世界GPに行こうって気持ちが、本当に大きくなった。」



ドゥーハン、シュワツを抑えてトップを快走するノリック。その姿に観客席も沸き立った。

お待たせしました。
BIKE BIG BIBLE!



月刊「オートバイ」
7月臨時増刊

A4判・
276ページ 定価1100円(税込)

'94世界のオートバイ

■'94年国産リーディングマシン

インラインFOUR・400人気車カンペキ・マニュアル
国産主カマシン&逆輸入車アルバム

■カスタムバイク'94YEAR

スティード&ゼファー"パーツ"大図鑑&
ショップスペシャル・セレクション

■ハーレーダビッドソン・不思議専科

＝一度乗ったら分かるオトコのVツイン。
現行車フルチェック&ロマンチックヒストリー etc.＝

■'94外車BIGアルバム

定番人気車から日本未輸入のマイナー車、
そしてサイドカーまで全200タイプ紹介

■ユーザーが採点する人気車50

乗ってる人が一番詳しい。人気モデルの長所・短所チェックリスト

オールカラー
完全保存版

国産車・輸入車
大カタログ

6/18
発売

WORLD MOTORCYCLES
SPECIAL ISSUE 1994

CYCLE SOUNDS

サイクルサウンズ
ロードスポーツマガジン
毎月1日発売!!

SINCE
1982

ロードレースを
独走中!!

走ってみたい、見てみたい
サイクルサウンズ

定価 580円
(税込)
全国書店・コンビニエンス
ストア・サーキットでお求
めください。

ミニバイクから世界GPまで
当然地方選手権は
全国をフルレポート

サイクルサウンズは
ロードレースの総合誌です

since 1896
100th
創業100周年

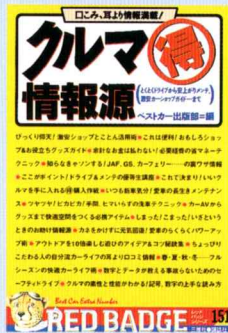
株山海堂

〒113 東京都文京区本郷5-5-18 TEL.03(3816)1617 FAX.03(3816)1619

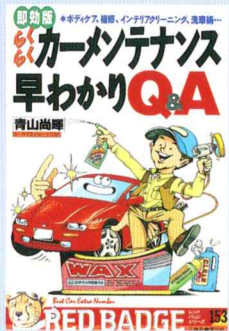


最新刊・好評発売中

- ①58 改造車検をパスする本 広田民郎
- ①59 オットマンのちょっとチューンテクニック 太田政幸



ポールポジション of Books.



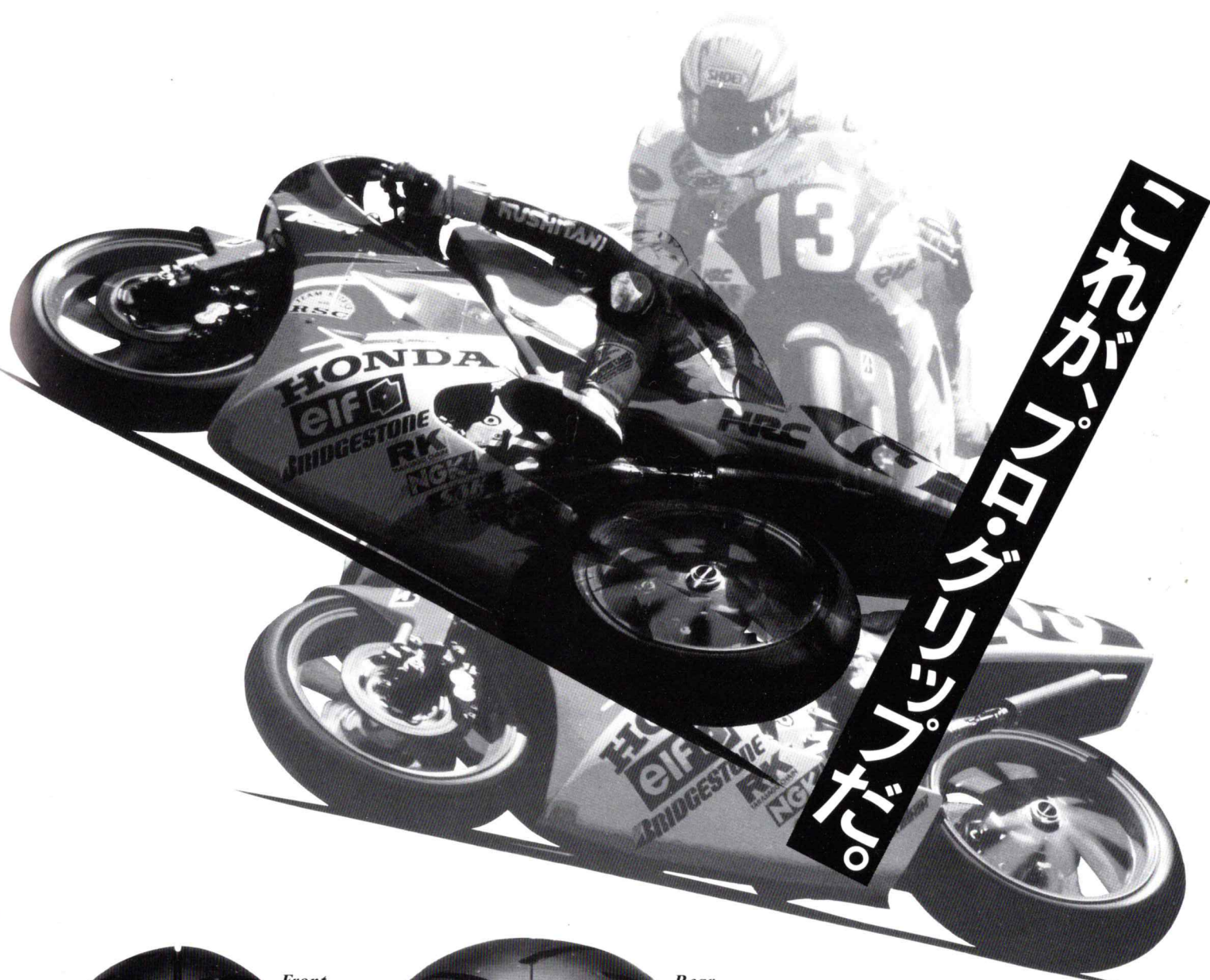
●定価(各)1000円(税込)
※151号は1300円

【ベストカー別冊】 レッドバッジシリーズ

絶賛発売中!

- ①46 クルマの応急手当100 — 長嶋達人
- ①47 RVメンテナンスお手軽ハンドブック — 増岡浩
- ①48 間違いだらけのワンボックス&1.5ボックスカー選び — 西村光生
- ①49 最速版 実戦! カートテクニック — 李好彦
- ①50 最新ケミカル用品お役立ちマニュアル — 青山元男
- ①51 クルマ情報源 — ベストカー出版部
- ①52 Uカー見栄っぴい改造講座 — 国沢光宏
- ①53 即効版 だらだらカーメンテナンス早わかりQ&A — 青山尚暉
- ①54 '94間違いだらけの中古車選び — 松下宏
- ①55 図解・めきめき運転がうまくなる本 — 津々見友彦
- ①56 あっという間の3分間クルマ整備術 — 宮田進一
- ①57 クルマの長生き秘訣集 — 米田茂





「速さ」がわかれろ。



Front



Rear

**勝つために大胆にステップアップした
NEW 80S。**

BT-80SからNEW80Sへ。目指したのは、「速さ」だけではない。ライダーの感性を刺激する「操る楽しさ」まで身につけることだった。そこで、フロントでは、シビアなレースになればなるほど心強い、大胆な旋回性能を実現。リアでは、MS・BELTのしなやかさに強靱さを加えることで、キレのいい加速感、スライドコントロール性、グリップ耐久性までが高まった。これぞ、正真正銘、プロ・グリップ。アクセルを開け、コーナーを自在に駆け抜けてほしい。

サーキット・スペック
**BT-80S
RADIAL**

BATTLAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT

ENTRY LIST

SUPER BIKE

75台 決勝出走台数44台 決勝スタート 14:00 35周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
1	A	北川 圭一 KEIICHI KITAGAWA	27	兵庫	カワサキ ZXR750R	K. R. T	DL	カワサキ		
2	B	武石 伸也 SHINYA TAKEISHI	26	三重	ホンダ RVF/RC45	am/pm HONDA RT	DL	HONDA		
3	A	永井 康友 YASUTOMO NAGAI	28	埼玉	ヤマハ YZF750	Y. R. T. R.	DL			
4	B	塚本 昭一 SHOHICHI TSUKAMOTO	33	兵庫	カワサキ ZXR750R	K. R. T	DL	カワサキ		
5	A	柳川 明 AKIRA YANAGAWA	22	静岡	スズキ GSX-R750 SP	ラッキーストライク、スズキ	DL	スズキ		
6	B	大阪 賢治 KENJI OHSAKA	27	神奈川	カワサキ ZXR750R	チーム・シンスケ・SNK	DL	ジップモータープロ		
8	A	吉川 和多留 WATARU YOSHIKAWA	25	東京	ヤマハ YZF750SP	チームヤマハZau's	DL			
9	B	梁 明 AKIRA RYOH	26	兵庫	カワサキ ZXR750R	チーム阪神ライディングスクール	DL	チーム阪神ライディングスクール		
10	A	井筒 仁康 HITOYASU IZUTSU	23	大阪	カワサキ ZXR750R	BEET IPONE OIL	BS	株式会社ビート工業		
11	B	金安 智彦 TOMOHIKO KANEYASU	32	新潟	ホンダ RVF/RC45	TEAM KANEYASU	DL	TEAM KANEYASU		
12	A	和泉 美智夫 MICHIO IZUMI	26	大阪	カワサキ ZXR750R	BEET IPONE OIL	BS	株式会社ビート工業		
13	B	小林 敏也 TOSHIYA KOBAYASHI	27	滋賀	ホンダ RVF/RC45	Team 桜井ホンダ	DL	株式会社 桜井ホンダ		
14	A	茂木 正人 MASATO MOGI	27	群馬	ヤマハ YZF750SP	KISSRT&スポーツライダー	DL	スポーツライダー		
17	B	平 義浩 YOSHIHIRO TAIRA	23	埼玉	ホンダ RVF/RC45	チームチャウチャウ&ゲッター	YH	チームチャウチャウ		
18	A	前田 淳 JUN MAEDA	26	京都	ホンダ RVF/RC45	Meiwa・桜井ホンダ	DL	株式会社 桜井ホンダ		
24	B	青木 拓磨 TAKUMA AOKI	20	群馬	ホンダ RVF/RC45	カップヌードルホンダ	MI	HONDA		
26	A	中田 雅夫 MASAO NAKATA	24	宮城	ヤマハ YZF750SP	COMレーシングチーム	BS	コムプロダクト株		
27	B	泉名 英男 HIDEO SENMYOH	28	埼玉	ホンダ RVF/RC45	向陽会ドリームレーシングチーム	YH			
31	A	国松 俊樹 TOSHIKI KUNIMATSU	28	滋賀	ホンダ RVF/RC45	チームヨシハル	DL	ヨシハルR・P		
32	B	阿部 典史 NORIFUMI ABE	18	東京	ホンダ RVF/RC45	team BLUE FOX	DL	BLUE FOX		
34	A	八代 俊二 SYUNJI YATSUSHIRO	33	三重	ホンダ RVF/RC45	モリワキレーシング	DL	モリワキエンジニアリング		
39	B	川瀬 裕昌 HIROAKI KAWASE	25	大阪	スズキ GSX-R750	TEAM 丸高	BS	チェイス、モーター		
40	A	西田 浩工 HIROTADA NISHIDA	27	北海道	ホンダ RVF/RC45	くっちゃん未来21チームエラン	DL	レーシング ガレージ ニワ		
41	B	鎌田 学 MANABU KAMADA	23	三重	ホンダ RVF/RC45	くっちゃん未来21チームエラン	DL	レーシング ガレージ ニワ		
42	A	テリー・ライマー TERRY RYMER	27		カワサキ ZXR750R	TKRD	DL			

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
43	B	平澤 信市 SHINICHI HIRASAWA	28	栃 木	ホンダ VFR750R	P・S・R & BP	YH	P・S・Racing		
44	A	高橋 芳延 YOSHINOBU TAKAHASHI	26	兵 庫	カワサキ ZXR750R	D. D. BOYS Racing	BS	有限会社 レーシングデザイン		
45	B	原口 祐二 YUJI HARAGUCHI	26	三 重	ホンダ RVF/RC45	爽風会・鈴鹿レーシングチーム	DL	本田技研工業株鈴鹿製作所		
46	A	深見 貴広 TAKAHIRO FUKAMI	23	三 重	ヤマハ FZR750R	クレバーウルフ R-WORKS	DL	クレバーウルフレーシング		
47	B	芳賀 紀行 NORIYUKI HAGA	19	愛 知	ドゥカティ 888	チーム・ファンデーション	YH	チーム・ファンデーション		
48	A	原田 武 TAKESHI HARADA	27	福 島	ヤマハ YZF750 SP	TEAM T・H friends	DL	TEAM T・H friends		
49	B	大崎 隆一 RYUICHI OHSAKI	26	千 葉	ホンダ RVF/RC45	R. T 韋駄天	BS	イズミレーシング		
50	A	小出 恵三 KEIZOH KOIDE	27	奈 良	スズキ GSX-R750	シマ・エンタープライズ	BS	シマエンタープライズ		
51	B	高宮 義文 YOSHIFUMI TAKAMIYA	33	岡 山	ドゥカティ 888	福田建設マッドライダーズ	DL	カルティエ・R・ファクトリー		
52	A	赤木 哲也 TETSUYA AKAGI	22	静 岡	ホンダ RVF/RC45	浜友会浜松エスカルゴ	DL	本田技研工業株式会社浜松製作所		
53	B	吉井 恭一 KYOHICHI YOSHII	30	埼 玉	ホンダ RVF/RC45	TEAM CBX	YH			
54	A	鈴木 誠 MAKOTO SUZUKI	29	東 京	スズキ GSX-R750SP	ヨシムラ・スズキ・GP1プラス	DL	株式会社ヨシムラ・ジャパン		
55	B	生見 友希雄 YUKIO NUKUMI	28	東 京	スズキ GSX-R750SP	ヨシムラ・スズキ・GP1プラス	DL	株式会社ヨシムラ・ジャパン		
56	A	田村 圭二 KEIJI TAMURA	31	京 都	ホンダ RVF/RC45	チーム・シンスケ・SNK	DL	神戸ライダーズ、クラブ		
57	B	田中 宏 HIROSHI TANAKA	34	大 阪	ヤマハ YZF750SP	MCEバイカーズRT	DL	MCEバイカーズ		
58	A	土居 秀敏 HIDETOSHI DOI	25	奈 良	ドゥカティ 888	チームフクイデルタオイルJAP	MI	チーム フクイ		
59	B	新 辰朗 TATSUROH ARATA	32	東 京	ヤマハ YZF750SP	伊藤園レーシング	DL			
60	A	鶴田 竜二 RYUJI TSURUTA	28	愛 知	カワサキ ZXR750R	Team MUZZYJAPAN	DL	OMEGA POINT		
61	B	藤枝 浩樹 HIROKI FUJIEDA	27	埼 玉	ホンダ VFR750R	チーム チャウチャウ	YH	M.C.S チャウチャウ		
62	A	藤原 儀彦 NORHIKO FUJIWARA	27	静 岡	ヤマハ YZF750SP	チームヤマハZau's	DL			
63	B	田中 陽 AKIRA TANAKA	28	静 岡	ヤマハ YZF750SP	IRF. Team FZR		磐田レーシングファミリー		
64	A	斉藤 光雄 MITSUO SAITOH	36	兵 庫	ヤマハ YZF750SP	クレバーウルフレーシング	DL	クレバーウルフレーシング		
65	B	ピーター・ゴダード PETER GODDARD	29		スズキ GSX-R750 SP	ラッキーストライク、スズキ	MI	スズキ		
66	A	川中 憲和 NORIKAZU KAWANAKA	28	大 阪	ホンダ RVF/RC45	チーム ASA	DL	TNK エンジニアリング		
67	B	三輪 成正 SHIGEMASA MIWA	32	埼 玉	ホンダ RVF/RC45	ブルー、ヘルメット、M.S.C	DL	HONDA		

ENTRY LIST

SUPER BIKE

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
68	A	山田 達也 TATSUYA YAMADA	28	埼玉	ドゥカティ 888	チームヤマダ T・R・P	YH			
69	B	小西 良輝 YOSHITERU KONISHI	24	京都	ホンダ RVF/RC45	RT・ベンギン&イチネン	DL	テラオカ・メンテナンス		
70	A	富田 正俊 MASATOSHI TOMITA	27	東京	ホンダ RVF/RC45	エムワンレーシング		グランプリヒーローレーシング		
71	B	岩橋 健一郎 KENICHIROH IWAHASHI	29	大阪	ホンダ RVF/RC45	Team 桜井ホンダ	DL	株桜井ホンダ		
72	A	白井 幸夫 YUKIO SHIRAI	33	東京	ヤマハ FZR750R	Team FZR with μ	DL	浜 R&D		
73	B	成松 征雄 YUKIO NARIMATSU	27	愛媛	カワサキ ZXR750R	Team BB	DL			
74	A	北尾 公二 KOHJI KITAO	28	兵庫	ホンダ RVF/RC45	ライダーズクラブ キタノ RT	DL			
75	B	三苫 昭夫 AKIO MITOMA	31	埼玉	ホンダ RVF/RC45	狭山レーシングチームむさしの会	DL			
76	A	長谷川 克憲 KATSUNORI HASEGAWA	25	千葉	ヤマハ YZF750SP	ナカノR with FORZA	DL			
77	B	高橋 勝義 KATSUYOSHI TAKAHASHI	27	福島	ヤマハ YZF750SP	TEAM Hi-BRIDGE	DL	TEAM Hi-BRIDGE		
78	A	小林 裕樹 HIROKI KOBAYASHI	25	大阪	スズキ GSX-R750W	タキオンレーシングファクトリー	DL	POWERレーシングプロジェクト		
79	B	大浦 審一郎 SHINICHIROH OHJURA	27	大阪	ヤマハ YZF750SP	BabyFace-APEX				
80	A	佐藤 幹 MOTOKI SATOH	20	大阪	カワサキ ZXR750R	月木レーシング	DL	南月木レーシング		
81	B	橋本 宗博 MUNEHIRO HASHIMOTO	24	大阪	スズキ GSX-R750W	ギャツビー Team SHIMA	BS	SHIMA ENTERPRISE		
82	A	芹川 智明 SATOAKI SERIKAWA	31	熊本	ホンダ RVF/RC45	熊本レーシングチーム	DL	本田技研株熊本製作所		
83	B	林 祐孝 MASATAKA HAYASHI	24	愛知	ヤマハ YZF750SP	R.T. 二輪倶楽部	DL			
84	A	松本 靖茂 YASUSHIGE MATSUKI	25	大阪	カワサキ ZXR750R	BEET IPONE OIL	BS	株日本ビート工業		
85	B	山口 直範 TADANORI YAMAGUCHI	29	大阪	スズキ GSX-R750 SP	ギャツビー Team SHIMA	BS	SHIMA ENTERPRISE		
86	A	柳本 祥児 SHOHJI YANAGIMOTO	27	京都	ヤマハ YZF750SP	SSかあきちMY-Racing				
87	B	鈴木 義典 YOSHINORI SUZUKI	31	愛知	ヤマハ YZF750SP	R・T ☆二輪倶楽部☆	DL	R.T. 二輪倶楽部		
88	A	宮崎 達也 TATSUYA MIYAZAKI	22	奈良	カワサキ ZXR750R	月木レーシング	DL	南月木レーシング		
89	B	山中 正之 MASAYUKI YAMANAKA	26	神奈川	ホンダ VFR750R	レーシングチーム ハニービー	MI	久保モーターサイクル		
90	A	辻本 聡 SATOSHI TSUJIMOTO	34	埼玉	ホンダ RVF/RC45	am/pm HONDA RT	DL	HONDA		
91	B	椎名 明 AKIRA SHIINA	29	栃木	カワサキ ZXR750R	TクラフトKTS湘南モンスター		T-CRAFT COMPETITION		
92	A	上猶 孝二 KOHJI KAMINAO	32	鹿児島	ホンダ RVF/RC45	トレンド・レーシング・パーティ	YH	株桜井ホンダ		



レースがあれば。

HIGH PERFORMANCE MC "RADIALS" FROM MOTORSPORT

GETTAR

SPシーンをリードする 高性能スーパースポーツラジアル

new GETTAR 007A 



HIGH PERFORMANCE MC "RADIAL"

- SIZE ● FRONT ● 110/70R17 54H
120/60R17 55H
● REAR ● 150/60R17 66H
160/60R17 69H
140/60R17 63H
150/60R18 67H

すべては、高度化するSPレースを制するために。路面とタイヤサイドの剛性バランスを向上するとともに、コーナリング時の振動を抑制。スムーズかつ安定した回頭・施回性能が、着実なタイムアップを実現する。ニューコンパウンドの採用によって、初期グリップの確保およびグリップ持続性の向上までも果たした、007Aイボリューション。

スーパースポーツ・ツアラー

GETTAR 008



ENTRY LIST

GP250

64台 決勝出走台数44台 決勝スタート 11:50 17周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
1	A	宇川 徹 TOHRU UKAWA	21	埼玉	ホンダ NSR250	TEAM HRC	BS	HONDA		
3	B	難波 恭司 KYOHJI NANBA	31	静岡	ヤマハ TZ250	チーム ヤマハ テクノ	DL	テクノ・モーターエンジニアリング		
4	A	匹田 禎智 SADANORI HIKITA	31	埼玉	ホンダ NSR250	ホンダ モトバムHIRYU・R	DL	モトバム HIRYU RACING		
5	B	沼田 憲保 NORIYASU NUMATA	28	静岡	スズキ RGV-I ² 250	ラッキーストライク スズキ	DL	スズキ		
8	A	宮崎 敦 OSAMU MIYAZAKI	28	静岡	アプリリア RSV250R	TEAM DAYTONA	DL	株式会社デイトナ		
10	B	森兼 正明 MASAOKI MORIKANE	26	埼玉	ホンダ RS250R	ENDURANCE	BS	エンデュランス		
14	A	丸山 浩 HIROSHI MARUYAMA	30	東京	ホンダ WM-01	ユニシアジェックス モトバム	BS	With me プロフェッショナルレーシング		
16	B	須貝 義行 YOSHIYUKI SUGAI	28	宮城	ヤマハ TZ250	トレンド&スクーデリアジャパン	DL	スクーデリア・ジャパン		
17	A	松戸 直樹 NAOKI MATSUDO	20	千葉	ヤマハ TZ250	ヨコハマゲッターチームSP忠男	YH	SP忠男		
18	B	藤原 克昭 KATSUAKI FUJIWARA	19	山口	ホンダ RS250R	テクニカルスポーツ関東	BS	テクニカルスポーツ関東		
19	A	近藤 靖典 YASUNORI KONDOH	31	愛知	ヤマハ TZ250	Support シルクロードRT	DL	R・G Support Toshiエンジン		
22	B	椿 洋 HIROSHI TSUBAKI	23	東京	ヤマハ TZ250	エキスパート レーシング	BS	株式会社エキスパートレーシング		
23	A	芳賀 健輔 KENSUKE HAGA	21	静岡	ヤマハ TZ250	チーム ヤマハ テクノ	DL	テクノ・モーターエンジニアリング		
24	B	野田 弘樹 HIROKI NODA	24	奈良	ホンダ RS250R	HIRYU RACING	DL	ヒリユー レーシング		
26	A	戸田 隆 TAKASHI TODA	31	東京	ホンダ RS250R		BS	スーパービルドマキシマム		
29	B	佐藤 雅彦 MASAHIKO SATOH	24	静岡	ヤマハ TZ250	TEAM TAIRA	DL	タイラレーシング(株)		
30	A	梨本 圭 KEI NASHIMOTO	23	三重	ヤマハ TZ250	YET RACINGZEALS	DL	Yet ² Racing Zeals		
32	B	喜久川 光 HIKARU KIKUGAWA	26	広島	ヤマハ TZ250	チームYSP浜松北 K&T	DL	YSP浜松北ハセガワカンパニー		
37	A	富岡 裕昭 HIROAKI TOMIOKA	25	群馬	ヤマハ TZ250	チーム ALLMAN				
38	B	畠山 泰昌 YASUMASA HATAKEYAMA	19	兵庫	ホンダ RS250R	RT・ペンギン&イチネン	DL	テラオカ・メンテナンス		
39	A	谷内 勝 MASARU TANIUCHI	23	宮城	ヤマハ TZ250	COMレーシングチーム	BS	コムプロダクト(株)		
40	B	浜口 俊之 TOSHIYUKI HAMAGUCHI	24	愛知	ホンダ RS250R	HIRYU RACING	DL	HIRYU RACING		
41	A	佐々木 清士 KIYOSHI SASAKI	23	三重	ヤマハ TZ250	BLACK-K RACING				
42	B	西村 勝宏 KATSUHIRO NISHIMURA	26	愛知	ホンダ RS250R	FCCテクニカル スポーツ	BS	テクニカルスポーツ		
43	A	土居 秀敏 HIDETOSHI DOI	25	奈良	ホンダ RS250R		MI			
44	B	前田 剛 TSUYOSHI MAEDA	33	京都	ヤマハ TZ250	COUPE・R・PROJECT				
45	A	武山 祐介 YUSUKE TAKEYAMA	22	宮城	ヤマハ TZ250	NISSEKI&森のくまさん	BS	YOKE RACING STAFF森のくまさん		
46	B	小見山 昌之 MASAYUKI KOMIYAMA	26	岡山	ホンダ RS250R	TEAM COMI ²	DL	ナグSED		
47	A	服部 孝昭 TAKAOKI HATTORI	24	三重	ヤマハ TZ250	MOTO STEP RT BP	DL	MOTO・STEP・RT		
48	B	田村 典一 NORIKAZU TAMURA	27	静岡	ヤマハ TZ250	ブラックバンサー&PENEX	YH			
49	A	川上 誠 MAKOTO KAWAKAMI	25	大阪	ヤマハ TZ250	RACING WORLD伊丹組	DL	レーシングワールド伊丹店		
50	B	中島 将登 MASATO NAKASHIMA	27	大阪	ヤマハ TZ250	TEAMモトスポーツ&鈴覚	YH	モトスポーツ		

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
51	A	金田 操 MISAO KANEDA	25	兵庫	ヤマハ TZ250	B.B.Tom's&茜興業	DL			
52	B	田村 浩司 KOHJI TAMURA	23	京都	ホンダ RS250R	テクニカルスポーツ	BS	テクニカルスポーツ		
53	A	薄井 まこと MAKOTO USUI	27	東京	ホンダ RS250R	レーシングチーム タクミ	DL	井上 正夫		
54	B	細口 政詞 MASATSUGU HOSOGUCHI	30	大阪	ホンダ RS250R					
55	A	高橋 孝浩 TAKAHIRO TAKAHASHI	22	東京	ヤマハ TZ250	エキスパート レーシング	BS	エキスパートレーシング		
56	B	内川 正三 SYOHOZOH UCHIKAWA	26	愛知	ヤマハ TZ250	コトブキ&タカラバービカン	BS	コトブキ&RAT'S		
57	A	佐藤 清和 KIYOKAZU SATOH	27	栃木	ホンダ RS250R	オートテクニックスポーツ	DL	オートテクニックスポーツ		
58	B	関 孝之 TAKAYUKI SEKI	26	埼玉	ホンダ RS250R		YH	M・C・S チャウチャウ		
60	A	和田 信治 SHINJI WADA	25	東京	ホンダ WM-04	With me PRT モトバム	BS	With me プロフェッショナルレーシング		
62	B	小倉 直人 NAOTO OGURA	25	愛知	ヤマハ TZ250	IKKO RACING	DL	テクノギルド		
64	A	瀬野 宏 HIROSHI SENO	27	兵庫	ホンダ RS250R	TEAM LIGHT HIP	YH	ライトヒップ		
66	B	尖戸 竹志 TAKESHI SHISHIDO	21	埼玉	ヤマハ TZ250	NWウインド, プレイメイト	DL	ヒロー レーシング		
67	A	福山 英済 HIDEAKI FUKUYAMA	25	大阪	ヤマハ TZ250	木ノ実レーシング	DL			
68	B	前田 誠司 SEIJI MAEDA	23	大阪	ヤマハ TZ250	RC甲子園 ヤマハ BP	DL	株RC甲子園		
70	A	小合 将史 MASASHI OGOH	23	大阪	ホンダ RS250R	RT・ベンギン&イチネン&TS	DL	テラオカ・メンテナンス		
71	B	森 修一 SYUICHI MORI	23	愛知	ヤマハ TZ250	TEAM YDS YAMAHA	BS			
72	A	門田 祐二 YUJI KADOTA	24	三重	ヤマハ TZ250	BENEX&ACF	DL	モトスポーツ ABE		
74	B	加藤 大治郎 DAIJIROH KATOH	17	埼玉	ホンダ RS250R	NIKKENチーム高武&RSC	BS	RSC		
75	A	伊藤 英人 HIDETO ITOH	27	新潟	ヤマハ TZ250	新潟TRC&YSP新潟中央				
77	B	川田 俊治 TOSHIHARU KAWADA	24	神奈川	ヤマハ TZ250	KISSRT&スポーツライダー	DL	YSP横浜旭&リトルガレッジ		
78	A	大橋 智広 TOMOHIRO OHASHI	28	福島	ヤマハ TZ250	MS梶ヶ谷レーシング	DL			
81	B	青木 朋直 TOMONAO AOKI	20	山口	ヤマハ TZ250	TEAM YDS YAMAHA	BS	TEAM YDS YAMAHA		
83	A	高野 博文 HIROBUMI TAKANO	28	埼玉	ヤマハ TZ250	P・P-1 with Agip	DL	ペンタグラム		
84	B	岡田 孝則 TAKANORI OKADA	25	神奈川	ヤマハ TZ250	P・P-1 with Agip	DL	ペンタグラム		
85	A	大木 正和 MASAKAZU OHKI	26	山梨	ヤマハ TZ250	P・P-1 with Agip	DL	ペンタグラム		
86	B	竹中 伸浩 NOBUHIRO TAKENAKA	29	東京	ヤマハ TZ250	P・P-1 with Agip	DL	ペンタグラム		
87	A	吉川 和宏 KAZUHIRO YOSHIKAWA	27	神奈川	ヤマハ TZ250	P・P-1 with Agip	BS	ペンタグラム		
88	B	及川 玲 AKIRA OIKAWA	26	神奈川	ヤマハ TZ250	PP-1T-MATSUMOTO	BS	ペンタグラム		
89	A	大貫 誠 MAKOTO OHNUKI	24	神奈川	ヤマハ TZ250	スピードマスター	DL	岡本 智博		
90	B	吉沢 隆 TAKASHI YOSHIKAWA	25	神奈川	ヤマハ TZ250	P・P-1 with Agip	BS	ペンタグラム		
97	A	向井 準児 JUNJI MUKAI	24	奈良	ヤマハ TZ250	TEAM YDS YAMAHA	BS			
98	B	福澤 巖 IWAO FUKUZAWA	26	東京	ヤマハ TZ250	TEAM-YSP 町田中央	DL	TEAM YSP 町田中央		

ENTRY LIST

GP125

92台 決勝出走台数44台 決勝スタート 10:30 15周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
4	A	菊池 寛幸 HIROYUKI KIKUCHI	28	京 都	ホンダ RS125R	チーム ウイリー	DL			
5	B	天野 邦博 KUNIHITO AMANO	24	東 京	ホンダ RS125R	オーエックス レーシングチーム	DL	オーエックス レーシング		
6	A	浅見 昌行 MASAYUKI AZAMI	29	群 馬	ホンダ RS125R	カンナオートR&藪塚BC	DL	KOBA ENG		
7	B	高尾 和弘 KAZUHIRO TAKAO	26	愛 知	ホンダ RS125R	チーム フジワラ	BS	テクニカルモーター フジワラ		
8	A	藤崎 直之 NAOYUKI FUJISAKI	25	神奈川	ホンダ RS125R	Dinky Racing	DL	ラ・モト・コウサカ		
9	B	宮坂 賢 KEN MIYASAKA	23	東 京	ホンダ RS125R	セルート&Jhaレーシング☆	DL	Jha レーシング		
11	A	水野 生久 IKUHISA MIZUNO	25	愛 知	ホンダ RS125R	チーム・KOHSAKA FEED	DL	高阪 一夫		
13	B	鶴飼 孝徳 TAKANORI UKAI	24	三 重	ホンダ RS125R	GREEN FARM	DL	レーシング,ガレージ-Niwa		
14	A	一宮 義文 YOSHIFUMI ICHIMIYA	26	三 重	ホンダ RS125R	カストロールTEAMハルクプロ	BS	HARC-PRO		
15	B	檜尾 幸穂 YUKIHO HINOKIO	29	三 重	ホンダ RS125R	ライダーズサロン横浜 BP	DL	ライダーズサロン横浜		
16	A	稲毛田 潤 JUN INAGEDA	27	神奈川	ホンダ RS125R	Dinky Racing	DL	ラ.モト KOHSAKA		
17	B	山本 武宏 TAKEHIRO YAMAMOTO	28	大 阪	ホンダ RS125R	カストロールTEAMハルクプロ	BS	HARC-PRO		
18	A	菅谷 慎一 SHINICHI SUGAYA	21	東 京	ホンダ RS125R	ALICE & CALBEE	BS	HARC-PRO		
19	B	坂本 博之 HIROYUKI SAKAMOTO	23	東 京	ヤマハ TZ125	T・T Factory				
20	A	佐藤 昭仁 AKIHITO SATOH	23	東 京	ホンダ RS125R	ライダーズサロン横浜 BP	DL	ライダーズサロン横浜		
21	B	上江州 克次 KATSUJI UEZU	19	愛 知	ヤマハ TZ125	Jレーシング	YH	J.レーシングプロジェクト		
22	A	小澤 敏明 TOSHIKI OZAWA	24	埼 玉	ホンダ RS125R	ENDURANCE	BS	エンデュランス		
24	B	佐藤 慎也 SHINYA SATOH	23	神奈川	ヤマハ TZ125	M-MAX&M-PROJECT	DL	M'-PROJECT, /		
25	A	和田 欣也 KINYA WADA	31	高 知	ホンダ RS125R	高知Rクラブ&オフィスボチ	DL	オフィスボチ		
26	B	清水 隆男 TAKAO SHIMIZU	26	東 京	ヤマハ TZ125	EAST CORE	DL	EAST CORE		
27	A	太田 英治 EIJI OHTA	27	三 重	ホンダ RS125R	本田 熊本レーシングチーム	DL			
28	B	秋山 恵利香 ERIKA AKIYAMA	22	静 岡	ホンダ RS125R	TEAM IVY	BS	TEAM IVY		
29	A	高橋 桃子 MOMOKO TAKAHASHI	21	神奈川	ホンダ RS125R	Jレーシング	YH	Jレーシング&ハルクプロ		
30	B	市川 文和 FUMIKAZU ICHIKAWA	28	茨 城	ホンダ RS125R	テキサス・インスツルメンツRT	DL	レーシングサブライファルコン勅斗雲		
32	A	上野 秀昭 HIDEAKI UENO	27	東 京	ヤマハ TZ125	Support Racing	DL	R.G サポート&TOSHI ENG		
34	B	金井 雅明 MASAOKI KANAI	25	茨 城	Fine F-05R	Fine&JUBET&TMS	DL	Fine Racing & Be box		
35	A	藤原 優 YU FUJIWARA	29	東 京	ホンダ RS125R	オートボーイSP		オートボーイSP		
40	B	大塚 勇二 YUJI OHTSUKA	24	神奈川	ホンダ RS125R	TEAM-TAKAGI	BS	タカギ レーシング リサーチ		
44	A	山中 信幸 NOBUYUKI YAMANAKA	26	愛 知	ヤマハ TZ125	TEAM YDS OKABE	BS	チームYDS岡部		
47	B	羽鳥 誠 MAKOTO HATORI	22	群 馬	ホンダ RS125R	RT-AKAGIプレススポーツ	YH	イケドレーシングスポーツ&KOBAプロ		
48	A	頼谷 尚之 HISAYUKI YORIYA	18	愛 媛	ホンダ RS125R	ヨリヤレーシングプロジェクト	DL			
50	B	松本 卓 MASARU MATSUMOTO	21	神奈川	ホンダ RS125R		DL	小柳 孝博&Jha		
51	A	上本 光博 MITSUHIRO KAMIMOTO	23	奈 良	ホンダ RS125R	テクニカルS&WINGROAD	BS	テクニカルスポーツ		
52	B	藤岡 祐三 YUZO FUJIOKA	21	愛 媛	ホンダ RS125R	Teamフジオカ	DL			
53	A	宮上 直之 NAOYUKI MIYAGAMI	26	大 阪	ホンダ RS125R	チーム フジワラ	BS	テクニカル モーター フジワラ		
54	B	泉 洋一 YOHICHI IZUMI	26	茨 城	ホンダ RS125R	チーム フジワラ	BS	テクニカルモーター藤原		
55	A	亀作 和哉 KAZUYA KAMESAKU	27	愛 知	ヤマハ TZ125	IKKO RACING	DL	テクノギルド		
56	B	宇井 陽一 YOHICHI UI	21	千 葉	ヤマハ TZ125	TEAM TAIRA	DL	タイラレーシング (株)		
57	A	大崎 誠之 NOBUYUKI OHSAKI	23	福 岡	ヤマハ TZ125	テクノギルドレーシングチーム	DL	テクノギルド		
58	B	片平 光浩 MITSUHIRO KATAHIRA	31	千 葉	ホンダ RS125R	RS勅斗雲と韋駄天に五十歩百歩	DL	ファルコン・サヌキット+TN		
59	A	茨木 繁 SHIGERU IBARAKI	25	兵 庫	ヤマハ TZ125	TEAM TAIRA	DL	タイラレーシング (株)		
60	B	武藤 俊二 SHUNJI MUTOH	28	愛 知	ホンダ RS125R	チーム KOHSAKA	DL	高阪 一夫		
61	A	伊藤 公一 KOHICHI ITOH	21	三 重	ホンダ RS125R	横井エンジニアリング	DL	横井エンジニアリング		
62	B	菊池 克徳 KATSUNORI KIKUCHI	26	東 京	ヤマハ TZ125	KEY COFFEE&スガノRT	DL	スガノレーシング		
63	A	佐々木 洋一 YOHICHI SASAKI	22	大 阪	ホンダ RS125R	横井エンジニアリング	DL	横井エンジニアリング		
64	B	山下 一彰 KAZUAKI YAMASHITA	30	静 岡	ホンダ RS125R		DL	TEAM YAMASHITA		

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	コンストラクター	予選 順位	決勝 順位
65	A	松岡 純 JUN MATSUOKA	26	東京	ヤマハ TZ125	EAST CORE	DL	EAST CORE		
66	B	中村 公彦 KIMIHIKO NAKAMURA	28	広島	ヤマハ TZ125	レーシングチーム広島	DL	プリミティブ		
67	A	眞子 智実 TOMOMI MANAKO	20	佐賀	ホンダ RS125R	カーハウスいせ&中原産業とTS	BS	ホンダワールド (株)		
68	B	富田 信道 NOBUMICHI TOMITA	26	栃木	ホンダ RS125R	オートテクニックスポーツ	DL			
69	A	南 昌幸 MASAYUKI MINAMI	25	神奈川	ホンダ RS125R	HARCPR&AZUMA	BS	HARCPRO		
70	B	佐々木 孝太 KOHTA SASAKI	21	三重	ホンダ RS125R	柳河精機RACING TEAM	DL			
71	A	林 達也 TATSUYA HAYASHI	22	東京	ホンダ RS125R	ALICE & CALBEE	BS	HARC-PRO		
72	B	稲葉 良 RYOHI INABA	24	東京	ヤマハ TZ125	ALICE & YSP町田中央	BS			
73	A	森 直樹 NAOKI MORI	25	東京	ヤマハ TZ125	ALICE&タカスポーツ	BS			
74	B	東 雅雄 MASAO AZUMA	23	高知	ホンダ RS125R	チーム フジワラ	BS	テクニカルモーターフジワラ		
75	A	坂之下 孝秀 TAKAHIDE SAKANOSHITA	26	三重	ヤマハ TZ125	モト・ミット YSP岡崎中央	DL	モト・ミット YSP岡崎中央		
76	B	森 親臣 CHIKAOMI MORI	26	熊本	ホンダ RS125R	Team高武with RSC	BS			
77	A	秋田 貴志 TAKASHI AKITA	20	神奈川	ホンダ RS125R	ALICE & CALBEE	BS	HARC-PRO		
78	B	柄沢 幹 MIKI KARASAWA	24	岐阜	ホンダ RS125R	CLUB・ブルーフォックス	DL	ブルーフォックス		
79	A	吉沢 隆 TAKASHI YOSHIZAWA	25	神奈川	ヤマハ TZ125	P・P-1 with Agip	BS	ペンタグラム		
80	B	東 敬太 KEITA HIGASHI	28	東京	ホンダ RS125R	Dinky Racing	DL	坂井さん		
81	A	松井 正一 SHOHICHI MATSUI	39	三重	ホンダ RS125R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム	DL	爽風会鈴鹿レーシングチーム		
82	B	早原 邦顕 KUNIAKI HAYAHARA	24	三重	ホンダ RS125R	Team BATTLE	DL			
83	A	中野 公裕 KIMIHIRO NAKANO	28	愛媛	ヤマハ TZ125	RT古川教官&チームBB	DL			
84	B	伊東 哲 SATOSHI ITOH	26	東京	ホンダ RS125R	RACING SUPPLY	DL	RACING SUPPLY		
85	A	猿楽 明太 AKIHIRO SARUGAKU	26	静岡	ホンダ RS125R	チームモトフレンド&ワコーズ	DL	コバエンジン		
86	B	丹生谷 剛 TSUYOSHI NYUNOYA	25	京都	ホンダ RS125R	チーム ウイリー	DL			
87	A	岡村 崇規 TAKANORI OKAMURA	23	三重	ホンダ RS125R	チームフジワラ	BS	テクニカル モーター フジワラ		
88	B	西山 智 SATOSHI NISHIYAMA	24	兵庫	ホンダ RS125R	Bad Boy Racing	DL	高木レーシングリサーチ		
89	A	谷 信行 NOBUYUKI TANI	24	大阪	ヤマハ TZ125	RC甲子園YAMAHA	DL	RC甲子園		
90	B	中田 健二 KENJI NAKATA	26	奈良	ホンダ RS125R	RacingTask&Jha	DL			
91	A	原田 伸也 SHINYA HARADA	22	千葉	ヤマハ TZ125	ヨコハマゲッターチームSP忠男	YH	ヨコハマゲッターチーム SP忠男		
92	B	岩田 吉正 YOSHIMASA IWATA	29	三重	ホンダ RS125R	Team BATTLE	DL	BATTLE FACTORY& Team BATTLE		
93	A	大橋 文昭 FUMIAKI OHASHI	26	新潟	ホンダ RS125R	長岡テクニカル&ベアR新潟三洋	DL	ベアレーシング新潟		
94	B	山下 祐 YU YAMASHITA	26	神奈川	サムシステム SAM-SM	サムシステム&M'-PRO/	DL	M'-PROJECT/		
95	A	渡辺 慎二 SHINJI WATANABE	24	東京	ホンダ RS125R	オートボーイSP				
96	B	大屋 徹 TOHRU OHYA	25	新潟	ホンダ RS125R	チーム カネヤス & 大屋合成	DL	TEAM KANEYASU		
97	A	松永 弘志 HIROSHI MATSUNAGA	19	千葉	ホンダ RS125R	テクニカルスポーツ 関東	BS	(有) ワールドツクバ		
98	B	若松 宏希 HIROKI WAKAMATSU	25	東京	ホンダ RS125R	RCドラスティック&ミズシマ/	DL	RCドラスティック		
99	A	中田 靖士 YASUSHI NAKATA	29	三重	ホンダ RS125R	プロショップJIN& T・S	BS	テクニカルスポーツ		
100	B	永野 勉 TSUTOMU NAGANO	25	京都	ホンダ RS125R	チームウイリー	DL			
101	A	庄司 賢治 KENJI SHOHJI	26	東京	ホンダ RS125R	プロテックレーシング&ウルトラ	DL	小柳 孝博		
102	B	小見山 昌之 MASAYUKI KOMIYAMA	26	岡山	ヤマハ TZ125	WM.PROD.TEAM	DL	ダブルエム		
103	A	水久保 健二 KENJI MIZUKUBO	29	広島	ヤマハ TZ125	リアルバランスRP	DL	リアルバランス		
104	B	坂西 博光 HIROMITSU SAKANISHI	24	三重	ホンダ RS125R	横井エンジニアリング	DL	横井エンジニアリング		
105	A	水戸 健一 KENICHI MITO	25	広島	ホンダ RS125R	モトワークス & TM藤原	DL	テクニカルモーター藤原		
106	B	鶴岡 勝宏 KATSUHIRO TSURUOKA	29	神奈川	ヤマハ TZ125	タイヤショップ・モトプロス横浜	BS	チームモトプロスファミリー☆タカノEG		
107	A	中村 耕二 KOHJI NAKAMURA	25	埼玉	ホンダ RS125R	チーム チャウチャウ	YH	M・C・S チャウチャウ		
109	B	佐藤 としゆき TOSHIYUKI SATOH	30	東京	ヤマハ TZ125	KEIYU&トレンドRP	DL	TOSI・HD&スズキエンジニアリング		
112	A	米井 茂之 SHIGEYUKI YONEI	23	東京	ホンダ RS125R	WINGオクムラ&ファニー!!		i-FACTORY		
116	B	鈴木 健 KEN SUZUKI	23	埼玉	ヤマハ TZ125	YDS関東 DRESS OUT	DL			

ENTRY LIST

NB-SP250/400

360台 決勝出走台数44台 決勝スタート 16:15 10周

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	25A	松尾 宗一 SOHICHI MATSUO	23	静岡	ホンダ NSR250R	TEAMモトフレンド&松尾商店	DL		
2	25A	藤井 雅仁 MASATOSHI FUJII	22	三重	ホンダ NSR250R		DL		
3	25A	中川 健二 KENJI NAKAGAWA	27	岐阜	スズキ RGV250I ¹	Aチーム	DL		
4	25A	川瀬 正雄 MASAO KAWASE	26	静岡	ヤマハ TZR250R	TEAMモトスポーツ	YH		
5	25A	山田 耕作 KOHSAKU YAMADA	25	愛知	ホンダ NSR250R	バイク・コソ RACING	BS		
6	25A	高崎 真司 SHINJI TAKASAKI	29	愛知	ホンダ NSR250R	MEIHORACINGTEAM	DL		
7	25A	神谷 光義 MITSUYOSHI KAMIYA	21	大阪	ホンダ NSR250R SE	辻本ビーエナジー-DOZONOL	DL		
8	25A	北村 哲也 TETSUYA KITAMURA	24	三重	ホンダ NSR250R	プロスマンレーシング	YH		
9	25A	長浜 忠彦 TADAHIKO NAGAHAMA	23	静岡	ホンダ NSR250R	浜松WING阿部モーターズ	DL		
10	25A	永山 誠 MAKOTO NAGAYAMA	20	静岡	ホンダ NSR250R	浜松エスカルゴRT	DL		
11	25A	小幡 宏之 HIROYUKI OBATA	27	大阪	ホンダ NSR250R SE		DL		
12	25A	辻井 亨 AKIRA TSUJII	23	大阪	ヤマハ TZR250R SP	RC甲子園 YAMAHA BP	DL		
13	25A	河瀬 全人 MASAHIRO KAWASE	25	静岡	ヤマハ TZR250R	カスワーズbyコマツ	BS		
14	25A	伊藤 博明 HIROAKI ITOH	25	愛知	ヤマハ TZR250R SP	MoTo KIDS	DL		
15	25A	村岡 祐次 YUJI MURAOKA	23	京都	ホンダ NSR250R	RTびいたあばん	DL		
16	25A	石川 貴一 TAKAKAZU ISHIKAWA	21	大阪	ホンダ NSR250R	TEAM RSC	BS		
17	25A	寺野 誠一 SEIICHI TERANO	24	兵庫	ホンダ NSR250R	RTべんぎんand楽々亭西宮R	DL		
18	25A	服部 浩二 KOHJI HATTORI	23	滋賀	ホンダ NSR250R SE	STYLE R・T	DL		
19	25A	小出 宏 HIROSHI KOIDE	22	愛知	ホンダ NSR250R	JPM・R.P.&高光石油	DL		
20	25A	北島 雅人 MASATO KITAJIMA	28	静岡	ヤマハ TZR250R SP	ブラックパンサー&ベネックス	BS		
21	25A	田中 勇 ISAMU TANAKA	25	三重	ホンダ NSR250R SE	SECOM NH2R	YH		
22	25A	水野 寛之 HIROYUKI MIZUNO	22	愛知	ヤマハ TZR250R SP	TEAM M.S.T	DL		
23	25A	高橋 正行 MASAYUKI TAKAHASHI	28	千葉	ホンダ NSR250R SE	チーム傾奇者&松風が行く!!	DL		
24	25A	大伴 賢 KEN OHTOMO	23	京都	ホンダ NSR250R	RT.KUBOMURA	DL		
25	25A	室橋 耕策 KOHSAKU MUROHASHI	28	千葉	ホンダ NSR250R	極楽とんぼ	DL		
26	25A	武田 研二 KENJI TAKEDA	21	京都	ホンダ NSR250R	O&K Racing Team	DL		
27	25A	今村 文佳 FUMIYOSHI IMAMURA	25	長野	ホンダ NSR250R	RtBomber & H.O	DL		
28	25A	角谷 健一郎 KENICHIROH SUMIYA	29	愛知	ホンダ NSR250R SP	トムソーヤ&碧南矢田モーターズ	DL		
29	25A	辻本 尚樹 NAOKI TSUJIMOTO	24	京都	ホンダ NSR250R SP	チームびいたあばん&マキシム	DL		
30	25A	古田 浩 HIROSHI FURUTA	23	大阪	ヤマハ TZR250R SP	colors with IOP	BS		
31	25A	竹内 稔 MINORU TAKEUCHI	23	岡山	ヤマハ TZR250R	倉敷2&4レーシング	DL		
32	25A	喜多 泰史 YASUSHI KITA	20	京都	ホンダ NSR250R	O&K Racing Team	DL		
33	25A	岡村 丞 SUSUMU OKAMURA	23	滋賀	ホンダ NSR250R		DL		
34	25A	日置 雅朗 MASAOKI HIOKI	23	大阪	ホンダ NSR250R SP	RCトクノ&大阪アスファルト	DL		
35	25A	日置 憲朗 NORIHIRO HIOKI	25	大阪	ホンダ NSR250R SP	チームトノ&大阪アスファルト	DL		
36	25A	樋上 政宏 MASAHIRO HIGAMI	26	京都	ヤマハ TZR250R SP	RC甲子園	DL		
37	25A	人見 正敏 MASATOSHI HITOMI	22	京都	ホンダ NSR250R	MOTO-CRAFT	DL		
38	25A	西本 潤 JUN NISHIMOTO	27	三重	ホンダ NSR250R SP	テクニカル スポーツ	DL		
39	25A	鈴木 洋介 YOSUKE SUZUKI	23	三重	ホンダ NSR250R	αCMAシリウスレーシング	BS		
40	25A	北口 浩二 KOHJI KITAGUCHI	20	大阪	ホンダ NSR250R SP	BADBOYRACING	DL		
41	25A	諸岡 正市 SHOHICHI MOROOKA	21	三重	ホンダ NSR250R SP	テクニカル スポーツ	BS		
42	25A	玉田 誠 MAKOTO TAMADA	17	愛媛	ホンダ NSR250R	NIKKENチーム高武&RSC	BS		
43	25A	玉田 耕司 KOHJI TAMADA	19	愛媛	ホンダ NSR250R	チーム高武withRSC	BS		
44	25A	西浦 知彦 TOMOHIKO NISHIURA	24	奈良	ホンダ NSR250R	BCCHONDAHOTSHOT	BS		
45	25A	安田 雅行 MASAYUKI YASUDA	26	京都	ホンダ NSR250R	RTびいたあばん&安田長平商店	DL		
46	25A	松本 学 MANABU MATSUMOTO	17	徳島	ヤマハ TZR250R SP	J・BOYRACINGTEAM	DL		
47	25A	住谷 優巳 MASAMI SUMITANI	24	香川	ホンダ NSR250R SE	ウキタレーシング	DL		
48	25A	中島 健 TAKESHI NAKAJIMA	30	東京	ホンダ NSR250R	チーム スポスポノ	BS		
49	25A	奥田 祐太郎 YUTARO OKUDA	22	京都	ホンダ NSR250R SP	RTびいたあばん	DL		
50	25A	藤本 悦生 ETSUO FUJIMOTO	24	岡山	ホンダ NSR250R	チームSSフクシマレーシング	BS		
51	25A	緒方 寛 HIROSHI OGATA	28	大阪	ホンダ NSR250R				
52	25A	片山 博之 HIROYUKI KATAYAMA	27	京都	ホンダ NSR250R SP	RPソーモングチ(総門口)片山	DL		
53	25A	山田 和宏 KAZUHIRO YAMADA	28	京都	ホンダ NSR250R SP	チームイェローウルフ	BS		
54	25A	松本 正尚 MASAHISA MATSUMOTO	29	京都	ホンダ NSR250R	RT.HAVATT	DL		
55	25A	中島 浩二 KOHJI NAKASHIMA	20	大阪	ホンダ NSR250R	Team TACKY's&D./	DL		
56	25A	小南 浩二 KOHJI KOMINAMI	22	兵庫	ヤマハ TZR250R	RC甲子園	DL		
57	25A	東山 在徳 ARINORI HIGASHIYAMA	24	三重	ホンダ NSR250R	Team Dunem	DL		
58	25A	豊田 毅 TSUYOSHI TOYODA	22	愛知	ホンダ NSR250R SE		DL		
59	25A	地主 亮治 RYOHIJI JINUSHI	20	東京	ホンダ NSR250R	テクニカル スポーツ	BS		

●NB-SP250/400の見どころ▷43ページ

*タイヤメーカー名略称/BS:ブリヂストン、DL:ダンロップ、YH:ヨコハマ

*ゼッケンは予選用です。決勝とは異なります。

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	25B	柴田 隆之 TAKAYUKI SHIBATA	23	兵庫	ホンダ NSR250R	RCキタノRT&SSフクシマR	DL		
2	25B	榊原 恵太 KEITA SAKAKIBARA	19	愛知	ヤマハ TZR250R SP	★Team 二輪倶楽部★	DL		
3	25B	久永 太郎 TAROH HISANAGA	22	大阪	ホンダ NSR250R SP	チーム とらいち	DL		
4	25B	山田 英稔 HIDETOSHI YAMADA	22	三重	ホンダ NSR250R	もっとも、あぶない単車(メカ)	DL		
5	25B	日沖 君人 KIMITO HIOKI	25	三重	ホンダ NSR250R SE	プライベート マック	YH		
6	25B	森本 展嘉 NOBUYOSHI MORIMOTO	21	三重	ホンダ NSR250R	DEF SPEED	BS		
7	25B	西林 優一 YUICHI NISHIBAYASHI	20	大阪	ホンダ NSR250R		BS		
8	25B	佐々木 賢吾 KENGO SASAKI	25	兵庫	スズキ RGV250I'	KTC KIDANI 37HR	DL		
9	25B	加藤 康二 KOHJI KATOH	23	静岡	ヤマハ TZR250R SP	TEAM ファイターズ	BS		
10	25B	稲吉 優 MASARU INAYOSHI	22	愛知	ホンダ NSR250R SE	THIRTY'S Racing	BS		
11	25B	山川 治大 HARUHIRO YAMAKAWA	22	愛知	ホンダ NSR250R		DL		
12	25B	江頭 篤幸 ATSUYUKI EGASHIRA	21	愛知	ヤマハ TZR250R SP	TEAM M S T	DL		
13	25B	阪井 一彦 KAZUHIKO SAKAI	25	徳島	ヤマハ TZR250R SP		DL		
14	25B	大林 由典 YOSHINORI OBAYASHI	26	愛知	ホンダ NSR250R SP	BIKE・KOZO レーシング			
15	25B	浜田 康彦 YASUHIKO HAMADA	26	静岡	ヤマハ TZR250R	チーム・モトキッズ	DL		
16	25B	森 啓介 KEISUKE MORI	27	香川	ホンダ NSR250R SP		DL		
17	25B	梶原 陽一 YOHICHI KAJIWARA	24	大阪	ホンダ NSR250R		DL		
18	25B	小口 薫 KAORU KOGUCHI	26	静岡	ホンダ NSR250R	TEAM ファイターズ	DL		
19	25B	近本 憲宜 NORIYOSHI CHIKAMOTO	26	奈良	ホンダ NSR250R SP		BS		
20	25B	左村 英祐 EISUKE SAMURA	23	愛知	ホンダ NSR250R	トライポイント&B.Hオクムラ	DL		
21	25B	伊藤 秀悟 SHUGO ITOH	20	千葉	ヤマハ TZR250R SP	SP忠男・RT	YH		
22	25B	藤井 力 TSUTOMU FUJII	21	三重	ホンダ NSR250R	Team・NORS	DL		
23	25B	倉本 正幸 MASAYUKI KURAMOTO	27	愛知	ホンダ NSR250R SE	Tエジテツファミリー-177GO	DL		
24	25B	下田 倫彰 NORIYUKI SHIMODA	21	三重	ホンダ NSR250R	TEAMオートレク	YH		
25	25B	鷺見 巖 IWAO SUMI	26	三重	ホンダ NSR250R SP	FAST&スケルトンズ増毛	DL		
26	25B	大塚 正志 MASASHI OHTSUKA	26	三重	ホンダ NSR250R	ヤマチャリ組	DL		
27	25B	熊川 陽一 YOHICHI KUMAGAWA	20	京都	ホンダ NSR250R	O&K Racing Team	DL		
28	25B	青柳 秀人 HIDETO AOYAGI	26	三重	ホンダ NSR250R SP	FAST レーシングチーム	DL		
29	25B	島田 聡 SATOSHI SHIMADA	29	三重	ホンダ NSR250R	屋台噴楽部わっしょい鈴鹿	DL		
30	25B	戸谷 彰 AKIRA TOYA	22	愛知	ホンダ NSR250R SP	TEAM RUN	DL		
31	25B	笠井 利彦 TOSHIHIKO KASAI	26	静岡	ホンダ NSR250R	浜松エスカルゴ	DL		
32	25B	廣畑 佳伸 YOSHINOBU HIROHATA	21	大阪	ホンダ NSR250R SP	BHB和歌山&オートマック大阪	DL		
33	25B	吉田 幸生 YUKIO YOSHIDA	26	兵庫	ホンダ NSR250R	RCキタノRT&コシカワ八千代	DL		
34	25B	池主 永 HISASHI CHINUSHI	22	兵庫	ホンダ NSR250R	RCキタノ&M.A デザイン	DL		
35	25B	日向野 朗 AKIRA HIGANO	21	東京	ホンダ NSR250R	RF Team Jun	BS		
36	25B	武田 雄一 YUICHI TAKEDA	16	埼玉	ホンダ NSR250R SP	Jhaレーシング	DL		
37	25B	金川 昭治 AKIHARU KANAGAWA	25	愛知	ヤマハ TZR250 SP	R-ワークス♡誰か4耐組もうよ	DL		
38	25B	広田 達也 TATSUYA HIROTA	24	三重	ホンダ NSR250R	RAPIDE・RT	DL		
39	25B	小柳 純一 JUNICHI KOYANAGI	23	三重	ホンダ NSR250R	ラバイド R&T	DL		
40	25B	三宅 泰久 YASUHISA MIYAKE	23	三重	ホンダ NSR250R	ラバイドRT&JUNCTION	DL		
41	25B	永田 聡史 SATOSHI NAGATA	22	愛知	ホンダ NSR250R	R.T ステップスルー	DL		
42	25B	玉井 秀樹 HIDEKI TAMAI	23	岐阜	ホンダ NSR250R	THIRTY'S RACING	BS		
43	25B	池田 武洋 TAKEHIRO IKEDA	24	愛知	ヤマハ TZR250R SP	Support Racing	DL		
44	25B	山元 靖幸 YASUYUKI YAMAMOTO	23	大阪	ホンダ NSR250R	B-energy	DL		
45	25B	北 義浩 YOSHIHIRO KITA	21	三重	ヤマハ TZR250R SP	チーム モトスペース	BS		
46	25B	井上 恭幸 YASUYUKI INOUE	23	三重	ホンダ NSR250R	BAGUS RACING	DL		
47	25B	安上 和彦 KAZUHIKO YASUKAMI	21	三重	ホンダ NSR250R SE	FAST&PrismHouse	DL		
48	25B	近藤 孝康 TAKAYASU KONDOH	29	京都	ホンダ NSR250R	RFC・クラッシャーボーイズ	BS		
49	25B	倉見 和宏 KAZUHIRO KURAMI	22	三重	ヤマハ TZR250R	チーム モトスペース	BS		
50	25B	石黒 昌規 AKINORI ISHIGURO	21	愛知	ホンダ NSR250R	B&W快進の一撃会/名古屋酸素	DL		
51	25B	二宮 勉 TSUTOMU NINOMIYA	22	愛知	ホンダ NSR250R	エジテツファミリー-177GO./	DL		
52	25B	岩下 清治 KIYOHARU IWASHITA	22	三重	ホンダ NSR250R SP		DL		
53	25B	平井 孝典 TAKANORI HIRAI	21	三重	ホンダ NSR250R	チーム モトスペース	BS		
54	25B	森川 和哉 KAZUYA MORIKAWA	23	三重	ホンダ NSR250R	ワンダーレーシング	DL		
55	25B	坂口 英二 EIJI SAKAGUCHI	29	栃木	ホンダ NSR250R	極楽とんぼ&MOO	DL		
56	25B	望月 浩嘉 HIROYOSHI MOCHIZUKI	29	京都	ヤマハ TZR250R SP		DL		
57	25B	小崎 勝 MASARU KOZAKI	23	大阪	ホンダ NSR250R	TEAM YATTARU 象	BS		
58	25B	久米田 研志郎 KENSHIROH KUMEDA	32	愛知	ホンダ NSR250R	チーム 花桂	BS		

ENTRY LIST

NB-SP250/400

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	25C	野原 満 MITSURU NOHARA	24	大阪	ホンダ NSR250R SP	チーム・ビスターリ・ドンガメ	BS		
2	25C	松岡 豊 YUTAKA MATSUOKA	25	三重	ホンダ NSR250R	NTK☆DWNK☆R・T	DL		
3	25C	永田 久志 HISASHI NAGATA	22	愛知	ヤマハ TZR250R SP	R-WORKS	DL		
4	25C	水嶋 英二 EIJI MIZUSHIMA	23	愛知	ホンダ NSR250R	Team RAMU	BS		
5	25C	桐山 直樹 NAOKI KIRIYAMA	24	大阪	ホンダ NSR250R	ライダーズハウス32レーシング	DL		
6	25C	黒田 亮宏 AKIHIRO KURODA	20	大阪	ホンダ NSR250R	中谷レーシングファクトリー	DL		
7	25C	丸山 克典 KATSUNORI MARUYAMA	20	大阪	ヤマハ TZR250R SP	VEGA SPORTS	BS		
8	25C	前田 雄一 YUICHI MAEDA	26	富山	ホンダ NSR250R SP	ワークスマツオカ&成光	DL		
9	25C	久成 宣彰 NOBUAKI HISANARI	25	静岡	ホンダ NSR250R SP	クラブブルーフォックス	DL		
10	25C	田畑 誠一郎 SEIICHIROH TABATA	22	兵庫	ヤマハ TZR250R SP	キノシタ R. T 神戸	DL		
11	25C	西川 健治 KENJI NISHIKAWA	24	静岡	ホンダ NSR250R	静岡ダイキン空調 ひでとうし	YH		
12	25C	星野 尚 HISASHI HOSHINO	23	京都	ホンダ NSR250R	岩城レーシング&カストロール			
13	25C	河井 洋知 HIRONORI KAWAI	23	滋賀	ホンダ NSR250R	SUMIエンジニア	DL		
14	25C	瀬藤 兼雄 KAZUO SETO	18	大阪	ホンダ NSR250R SE	レーシングランド三谷	BS		
15	25C	村上 妙子 TAEKO MURAKAMI	17	静岡	ホンダ NSR250R SE	チーム・ヨシハル	DL		
16	25C	前田 仁司 HITOSHI MAEDA	23	滋賀	ホンダ NSR250R SE	サイクルショップマエダ	DL		
17	25C	中野 真矢 SHINYA NAKANO	16	千葉	ヤマハ TZR250R SP	SP忠男レーシングチーム	YH		
18	25C	堀井 邦彦 KUNHIKO HORII	24	愛知	ホンダ NSR250R	Rワークス	DL		
19	25C	平山 貴裕 TAKAHIRO HIRAYAMA	25	愛知	ヤマハ TZR250R SP	トムソーヤ&碧南矢田モータース	DL		
20	25C	西前 充浩 MITSUHIRO NISHIMAE	26	和歌山	ホンダ NSR250R SE	チーム向井モータース・シバサキ	DL		
21	25C	花井 勝哉 KATSUYA HANAI	20	愛知	ホンダ NSR250R	B&WKATOLレーシングクラブ	DL		
22	25C	山本 昌秀 MASAHIDE YAMAMOTO	20	大阪	ホンダ NSR250R	RTモトショップドリーム	DL		
23	25C	長村 新治 SHINJI OSAMURA	26	愛知	ホンダ NSR250R	R WORKS	DL		
24	25C	小野 秀樹 HIDEKI ONO	23	京都	ホンダ NSR250R	シーサイドRT&石原自動車商会	DL		
25	25C	辻野 訓史 SATOSHI TSUJINO	22	大阪	ホンダ NSR250R	WING-U&SSフクシマ	DL		
26	25C	大木 芳晃 YOSHIAKI OHKI	20	千葉	ヤマハ TZR250R SP	SP忠男レーシングチーム	YH		
27	25C	阿部 正彦 MASAHIKO ABE	26	愛知	ホンダ NSR250R	TEAM P. BOX	DL		
28	25C	恵木 孝 TAKASHI EGI	24	大阪	ホンダ NSR250R SP	SPIRAL '89	BS		
29	25C	田中 雄一 YUICHI TANAKA	25	兵庫	ヤマハ TZR250R SP	RC甲子園 YAMAHA BP	DL		
30	25C	竹内 邦博 KUNIHITO TAKEUCHI	24	兵庫	ヤマハ TZR250R SP	TEAM YOU KOBE	BS		
31	25C	伊藤 仁 HITOSHI ITOH	25	長野	ホンダ NSR250R SE	RT. B. Bomber&H2O	DL		
32	25C	大原 淳司 ATSUSHI OHARA	24	大阪	ホンダ NSR250R	ライダーズハウス32レーシング	DL		
33	25C	水谷 吉成 YOSHINARI MIZUTANI	20	愛知	ホンダ NSR250R SP	THIRTY'S RACING	BS		
34	25C	柴口 一行 KAZUYUKI SHIBAGUCHI	24	愛媛	ヤマハ TZR250R	コスモスEURクラ・ロシェル	DL		
35	25C	織田 尚幸 NAOYUKI ORITA	25	愛媛	ヤマハ TZR250R	織田建設コスモス&ラ・ロシェル	DL		
36	25C	山口 明 AKIRA YAMAGUCHI	26	愛知	ホンダ NSR250R	ZEROレーシングチーム	DL		
37	25C	川上 永訓 HISANORI KAWAKAMI	23	愛知	ホンダ NSR250R	Team RAMU	BS		
38	25C	川口 充 MITSURU KAWAGUCHI	23	京都	ホンダ NSR250R	RT. KUBOMURA&ジミー	DL		
39	25C	小野 正樹 MASAKI ONO	21	京都	ホンダ NSR250R	シーサイドRT&石原自動車商会	BS		
40	25C	竹本 正徳 MASAORI TAKEMOTO	22	奈良	ホンダ NSR250R		BS		
41	25C	前川 泰 YASUSHI MAEKAWA	22	兵庫	ホンダ NSR250R	RCカタノ&NOBU	DL		
42	25C	山下 大志 DAISHI YAMASHITA	23	滋賀	ホンダ NSR250R SP		BS		
43	25C	梶原 祥一 SHOHICHI KAJIWARA	23	愛知	ホンダ NSR250R	JPM&CLUBKAZIコルク	DL		
44	25C	大石 尊弘 TAKEHIRO OHISHI	21	大阪	ヤマハ TZR250R		DL		
45	25C	松島 請弥 SHINYA MATSUSHIMA	23	大阪	ホンダ NSR250R SP	TEAM YATTARU 象	DL		
46	25C	岩沢 浩一 KOHICHI IWASAWA	20	埼玉	ホンダ NSR250R	チーム チャウチャウ	YH		
47	25C	野村 昌広 MASAHIRO NOMURA	19	兵庫	ホンダ NSR250R SP	αCMaシリウスレーシング	BS		
48	25C	富藤 安紀 YASUNORI TOMIFUJI	25	兵庫	ヤマハ TZR250R SP	チーム深津&カメイレーシング	YH		
49	25C	福岡 和彦 KAZUHIKO FUKUOKA	21	愛知	ホンダ NSR250R		DL		
50	25C	平井 楊一郎 YOICHIRO HIRAI	20	三重	ホンダ NSR250R SE	祝 松永監督南出さん御結婚	BS		
51	25C	有馬 圭二 KEIJI ARIMA	22	大阪	ホンダ NSR250R	YATTARU 象レーシング	DL		
52	25C	山田 鉄也 TETSUYA YAMADA	21	千葉	ホンダ NSR250R	カストロールTEAMソルクプロ	BS		
53	25C	上木 潔 KIYOSHI UEKI	23	大阪	ホンダ NSR250R	(有)三愛 MS部	BS		
54	25C	水田 勇 ISAMU MIZUTA	26	大阪	ホンダ NSR250R SE	RC-PROTO	DL		
55	25C	辻 哲彦 TETSUHIKO TSUJI	22	福岡	ホンダ NSR250R	テクニカルスポーツ	BS		
56	25C	長尾 勉 TSUTOMU NAGAO	24	大阪	ホンダ NSR250R	チョビノ	DL		
57	25C	小林 裕之 HIROYUKI KOBAYASHI	27	静岡	ホンダ NSR250R	スクーターア・コバヤシ浜松	DL		
58	25C	竹之内 淳司 JUNJI TAKENOUCI	19	大阪	ホンダ NSR250R SP	竹之内電器・テクニカルスポーツ	BS		

●NB-SP250/400の見どころ▷43ページ

※タイヤメーカー名略称/BS:ブリヂストン、DL:ダンロップ、YH:ヨコハマ

※ゼッケンは予選用です。決勝とは異なります。

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	25D	増岡 裕二 YUJI MASUOKA	22	愛知	ホンダ NSR250R	TEAM P・BOX SP部門			
2	25D	山西 裕志 HIROSHI YAMANISHI	24	大阪	ホンダ NSR250R SP	コクヨ TEAM ルート1	BS		
3	25D	星子 達志 TATSUSHI HOSHIKO	22	愛知	ホンダ NSR250R		BS		
4	25D	鈴木 一知 KAZUTOMO SUZUKI	23	静岡	ヤマハ TZR250R SP	ブラックパンサー&ベネックス☆	BS		
5	25D	片岡 達也 TATSUYA KATAOKA	22	静岡	ヤマハ TZR250R SP	ブラックパンサー&ベネックス	BS		
6	25D	井樋 正和 MASAKAZU IBI	23	大阪	ホンダ NSR250R	寺山ホンダ&ナイスガイRT	DL		
7	25D	落合 隆一郎 RYUICHIROH OCHIAI	21	三重	ヤマハ TZR250R SP	チーム モトスペース	BS		
8	25D	早川 一郎 ICHIROH HAYAKAWA	23	三重	ヤマハ TZR250R SP	チーム モトスペース	BS		
9	25D	陶山 光幸 MITSUYUKI SUYAMA	24	大阪	スズキ RGV250I'	丸高KICHO RACING	BS		
10	25D	濱田 貴弘 TAKAHIRO HAMADA	22	三重	ホンダ NSR250R SP		DL		
11	25D	団 和仁 KAZUYOSHI DAN	20	大阪	ホンダ NSR250R SP	BadBoyR・Tカストロール	DL		
12	25D	愛甲 正吾 SHOHGO AIKOH	25	兵庫	ホンダ NSR250R	P・B RT しゅばや	DL		
13	25D	北村 彰宏 AKIHIRO KITAMURA	22	京都	ヤマハ TZR250R	岩城RACING	DL		
14	25D	吉田 実 MINORU YOSHIDA	28	愛知	ホンダ NSR250R	モトライブRC	DL		
15	25D	頼綱 和樹 KAZUKI KOHKETSU	22	愛知	ホンダ NSR250R SP	JPM. RP&気合の神様!'	DL		
16	25D	千葉 吉人 YOSHITO CHIBA	22	愛知	ホンダ NSR250R		DL		
17	25D	関 信宏 NOBUHIRO SEKI	21	大阪	ホンダ NSR250R	SUIKA-CLUB	DL		
18	25D	大村 達也 TATSUYA OHMURA	23	愛知	ホンダ NSR250R	team TRIANGLE	DL		
19	25D	西澤 誠 MAKOTO NISHIZAWA	21	三重	ホンダ NSR250R		DL		
20	25D	横手 健司 KENJI YOKOTE	26	愛知	ホンダ NSR250R SP	モトライブRC&パラダイスTC	DL		
21	25D	小林 智紀 SATOKI KOBAYASHI	21	京都	ホンダ NSR250R	テクニカル・スポーツ	BS		
22	25D	鈴木 秀和 HIDEKAZU SUZUKI	23	愛知	ホンダ NSR250R	テクニカルスポーツ	BS		
23	25D	工藤 邦宏 KUNIHRO KUDOH	27	静岡	ヤマハ TZR250R SP	ブラックパンサー&ベネックス☆	BS		
24	25D	坂田 博敏 HIROTOshi SAKATA	24	愛知	ホンダ NSR250R SP	TEAM P・BOX	BS		
25	25D	伊藤 昭 AKIRA ITOH	25	三重	ホンダ NSR250R	ラバド・RアンドT	DL		
26	25D	堤 伸浩 NOBUHIRO TSUTSUMI	23	大阪	ホンダ NSR250R SP	BadBoyR・Tカストロール	DL		
27	25D	瀬古 誠二 SEIJI SEKO	21	岐阜	ホンダ NSR250R SE	THIRTY'S RACING	BS		
28	25D	橋本 久志 HISASHI HASHIMOTO	22	大阪	ホンダ NSR250R SP	RT MADDEST	DL		
29	25D	谷原 孝志 TAKASHI TANIHARA	26	愛知	ホンダ NSR250R SP	ハッピーライダー/T・C	DL		
30	25D	八百田 弘二 KOHJI YAOTA	24	大阪	ホンダ NSR250R		BS		
31	25D	檜垣 誠 MAKOTO HIGAKI	23	滋賀	ホンダ NSR250R	カミダRTロケット便GOTO	DL		
32	25D	波切 達野 TATSUYA NAMIKIRI	21	愛知	ホンダ NSR250R	エジテツファミリー-777GO-	DL		
33	25D	芝田 弘 HIROSHI SHIBATA	23	愛知	ホンダ NSR250 SE	TEAM P・BOX	BS		
34	25D	西岡 幸司 KOHJI NISHIOKA	23	三重	ヤマハ TZR250R SP	スーパーレーシングチームハヤシ	DL		
35	25D	皆吉 健太郎 KENTAROH MINAYOSHI	29	鹿児島	ホンダ NSR250R	TEAM-RSCクラブ	BS		
36	25D	岩本 寿介 TOSHIYUKI IWAMOTO	24	鹿児島	ホンダ NSR250R	RSCクラブ	BS		
37	25D	池田 克昌 KATSUMASA IKEDA	24	香川	ホンダ NSR250R	ブルーライトニングbyホリケ	DL		
38	25D	岩本 久生 HISAO IWAMOTO	26	和歌山	ヤマハ TZR250R SP	チーム向井モーターズ・味源	DL		
39	25D	西崎 サイ SAI NISHIZAKI	24	京都	ヤマハ TZR250R	カイプロジェクト	DL		
40	25D	岡田 俊 SHUN OKADA	22	愛知	ヤマハ TZR250R SP	Support Racing	DL		
41	25D	中島 誠 MAKOTO NAKAJIMA	25	愛知	ホンダ NSR250R	RT天竜&パワーライン	DL		
42	25D	山本 和彦 KAZUHIKO YAMAMOTO	21	京都	ホンダ NSR250 SE	ビーンズクラブカンパニー	DL		
43	25D	山内 俊児 SHUNJI YAMAUCHI	16	神奈川	ヤマハ TZR250R	SP忠男レーシングチーム	YH		
44	25D	藤田 準二 JUNJI FUJITA	26	静岡	ホンダ NSR250R	スクーデリアコバヤシ	DL		
45	25D	大迫 智宏 TOMOHIRO OHSAKO	23	三重	ホンダ NSR250R	チーム モトスペース	DL		
46	25D	菅原 敏伸 TOSHINOBU SUGAHARA	27	三重	ホンダ NSR250R SP		BS		
47	25D	小林 秀治 SHUJI KOBAYASHI	22	三重	ホンダ NSR250R	BAGUSレーシングチーム!'	DL		
48	25D	藤田 浩一 KOHICHI FUJITA	26	三重	ホンダ NSR250R	MSS&プリモスーパー伊勢店	DL		
49	25D	院南 桂 KATSURA INNAMI	22	三重	ホンダ NSR250R SP	TEAM EXCELLENT	DL		
50	25D	大迫 賢一 KENICHI OHSAKO	22	三重	ホンダ NSR250R	テクニカルスポーツ	BS		
51	25D	正藤 英樹 HIDEKI MASATOH	24	静岡	ホンダ NSR250R	浜松モトフレンド&タオキンRF	DL		
52	25D	菊本 正広 MASAHIRO KIKUMOTO	23	愛知	ホンダ NSR250R	TOPPER'S	DL		
53	25D	青木 透 TOHRU AOKI	23	大阪	ヤマハ TZR250R	RC KOSHIEEN	DL		
54	25D	水谷 浩 HIROSHI MIZUTANI	23	三重	ホンダ NSR250R	TEAM オート・レク	BS		
55	25D	白樫 栄一 EICHI SHIRAKASHI	25	三重	ヤマハ TZR250R SP	チーム ヤンガース★西村工業	DL		
56	25D	安部 一仁 KAZUHITO ABE	21	愛知	ホンダ NSR250R	エジテツファミリー-777			
57	25D	岸本 竜志 RYOHI KISHIMOTO	22	大阪	ホンダ NSR250R SP	TEAM YATARU象	DL		
58	25D	松本 福仙 YOSHINORI MATSUMOTO	39	奈良	ホンダ NSR250R	OKスポーツ&フクイレーシング	DL		

ENTRY LIST

NB-SP250/400

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	40A	合田 彰良 AKIRA GOHDA	24	大阪	カワサキ ZXR400R		BS		
2	40A	黒川 治 OSAMU KUROKAWA	27	兵庫	カワサキ ZXR400R	MECHBOX&MATTY'S			
3	40A	卯之田 竹彦 TAKEHIKO UNODA	28	京都	カワサキ ZXR400R	KFライムグリーンKAZE	DL		
4	40A	南部 勉 TSUTOMU NANBU	25	大阪	カワサキ ZXR400R	BEETCLUBAチーム奄美R	BS		
5	40A	川端 茂男 SHIGEO KAWABATA	20	京都	カワサキ ZXR400R	京都スーパースポツカストロール	DL		
6	40A	川戸 智之 TOMOYUKI KAWATO	27	京都	ホンダ CBR400RR	SSRT	BS		
7	40A	小西 徹男 TETSUO KONISHI	23	兵庫	カワサキ ZXR400R	?	DL		
8	40A	山口 辰記 TATSUKI YAMAGUCHI	22	京都	スズキ GSX-R400R	フルーツパーラー中沢・天神川	DL		
9	40A	久保 真司 SHINJI KUBO	27	大阪	ホンダ CBR400RR	TEAM ZEALOUS	DL		
10	40A	山口 浩志 HIROSHI YAMAGUCHI	23	三重	ホンダ CBR400RR	FEED レーシング	BS		
11	40A	橋本 隆司 TAKASHI HASHIMOTO	25	三重	ヤマハ FZR400RR	Team Dune			
12	40A	小手川 努 TSUTOMU KOTEGAWA	23	三重	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	BS		
13	40A	岡田 謙吾 KENGO OKADA	23	三重	ホンダ CBR400RR	プロスマン レーシングBY小川	YH		
14	40A	原田 博 HIROSHI HARADA	26	兵庫	カワサキ ZXR400R	MECHBOXレーシングチーム	DL		
15	40A	長谷川 靖 YASUSHI HASEGAWA	20	愛知	カワサキ ZXR400R	S.T.R RACING	DL		
16	40A	山本 明男 AKIO YAMAMOTO	35	大阪	カワサキ ZXR400R	WORKS.RT	DL		
17	40A	山戸 直樹 NAOKI YAMATO	21	兵庫	カワサキ ZXR400R	MECHBOX&MATTY'S	DL		
18	40A	安楽 重利 SHIGETOSHI ANRAKU	25	三重	ホンダ CBR400RR	R.T.BOUNDS.OVER	DL		
19	40A	早水 一茂 KAZUSHIGE HAYAMIZU	26	大阪	カワサキ ZXR400R	Team オートサービス 徳野	BS		
20	40A	磯見 謙二 KENJI ISOMI	30	大阪	カワサキ ZXR400R	チームカミムラ	DL		
21	40A	勢野 健一 KENICHI SENO	23	愛知	カワサキ ZXR400R		DL		
22	40A	吉田 治 OSAMU YOSHIDA	27	三重	カワサキ ZXR400R	TEAM・LVR./	DL		
23	40A	梅只 浩二 KOHJI UMETADA	28	京都	カワサキ ZXR400R	KFライムグリーン・KAZE	DL		
24	40A	中上 晋一 SHINICHI NAKAJE	27	滋賀	カワサキ ZXR400R	京都ライムグリーンFチャン ¹			
25	40A	浅野 彰 AKIRA ASANO	22	福岡	カワサキ ZXR400R	Team能塚	BS		
26	40A	榎木 勝 MASARU NAGI	22	大阪	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	BS		
27	40A	中原 博明 HIROAKI NAKAHARA	22	奈良	カワサキ ZXR400R	山科カワサキKENレーシング	BS		
28	40A	田尾 幸弘 YUKIHIRO TAO	23	大阪	ホンダ CBR400RR	大阪工大 T&T BOMBERS	DL		
29	40A	高木 敏一 TOSHIKAZU TAKAGI	21	静岡	ヤマハ FZR400RR	磐田レーシングファミリー	BS		
30	40A	稲垣 桂三 KEIZOH INAGAKI	30	愛知	カワサキ ZXR400R	トムソーヤ&碧南矢田モーターズ	DL		
31	40A	曾我 亘 WATARU SOGA	28	大阪	カワサキ ZXR400R	DogFight Racing	BS		
32	40A	魚返 智義 TOMOYOSHI OGAERI	30	大阪	カワサキ ZXR400R	TEAM 日本ガスケツト	DL		
33	40A	清水 秀一 SHUICHI SHIMIZU	25	大阪	カワサキ ZXR400R	TACHYON レディーノバード	BS		
34	40A	家迫 俊一 SHUNICHI IESAKO	24	大阪	ホンダ CBR400RR	RS-OKETANI	DL		
35	40A	荒木 義仁 YOSHIHIRO ARAKI	23	愛知	カワサキ ZXR400R	カツラガワ&PitInハセガワ	DL		
36	40A	小寺 正明 MASAOKI KOTERA	26	滋賀	カワサキ ZXR400R	KFライムグリーン	DL		
37	40A	米田 恵久 YOSHIHISA YONEDA	24	大阪	ホンダ CBR400RR	BadBoyR・Tカストロール	DL		
38	40A	谷知 秀人 HIDETO TANICHI	25	大阪	ホンダ CBR400RR	You西明石レーシングチーム	DL		
39	40A	橋本 充巧 ATSUYOSHI HASHIMOTO	20	奈良	ホンダ CBR400RR	FADDY DADDY	BS		
40	40A	中野 正広 MASAHIRO NAKANO	27	大阪	ホンダ CBR400RR	Team BLEAS	DL		
41	40A	旦野 真吾 SHINGO DANNO	20	岐阜	カワサキ ZXR400R	TスクランブルBOX宮地石油	DL		
42	40A	吉藤 和彦 KAZUHIKO YOSHIFUJI	26	三重	ホンダ CBR400RR	FAST.R.T	DL		
43	40A	野田 正博 MASAHIRO NODA	24	兵庫	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	BS		

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	40B	山岡 智嗣 SATOSHI YAMAOKA	27	滋 賀	ホンダ CBR400RR	You西明石レーシングチーム	DL		
2	40B	橋野 善信 YOSHINOBU HASHINO	27	兵 庫	カワサキ ZXR400R	RC.DEFEATカストロール	DL		
3	40B	濱井 好二 KOHJI HAMAI	20	大 阪	ホンダ CBR400RR	T・L・B&大和産業	DL		
4	40B	高橋 克敏 KATSUTOSHI TAKAHASHI	28	兵 庫	カワサキ ZXR400R	TeamKiyo&ビケ足場。			
5	40B	大森 裕一郎 YUICHIROH OMORI	24	大 阪	ホンダ CBR400RR	FADDY DADDY/	BS		
6	40B	吉田 哲也 TETSUYA YOSHIDA	25	愛 知	カワサキ ZXR400R	Team 薫	DL		
7	40B	前家 亮太 RYOHTA MAEYA	26	大 阪	カワサキ ZXR400R	Team オートサービス徳野	BS		
8	40B	小林 聖 SEI KOBAYASHI	19	大 阪	カワサキ ZXR400R	月木レーシング	DL		
9	40B	島田 信幸 NOBUYUKI SHIMADA	25	兵 庫	ホンダ RVF	ライダーズクラブキタノRT	DL		
10	40B	生野 敬三 KEIZOH IKUNO	22	愛 知	ヤマハ FZR400RR	トムソーヤ&碧南矢田モータース			
11	40B	永野 明 AKIRA NAGANO	25	熊 本	カワサキ ZXR400R	アチームMO ² モトスポルトヒロセ	DL		
12	40B	宮内 崇 TAKASHI MIYAUCHI	22	京 都	ホンダ CBR400RR	京都SBS北白川	DL		
13	40B	長江 隆宏 TAKAHIRO NAGAE	25	大 阪	カワサキ ZXR400R	Team オートサービス 徳野	BS		
14	40B	数見 行人 YUKIHIRO KAZUMI	27	和歌山	カワサキ ZXR400R	ドマーニ	YH		
15	40B	古川 稔 MINORU FURUKAWA	25	佐 賀	カワサキ ZXR400R	Team 能塚	BS		
16	40B	本多 克己 KATSUMI HONDA	23	兵 庫	カワサキ ZXR400R	MECHBOXレーシングチーム	DL		
17	40B	渡辺 太三 TAIZOH WATANABE	22	愛 知	カワサキ ZXR400R		DL		
18	40B	箕田 貴司 TAKASHI MINODA	23	愛 知	ホンダ RVF	FADDY DADDY	BS		
19	40B	飛田 孝美 TAKAMI HIDA	24	兵 庫	カワサキ ZXR400R	Team Kiyo	DL		
20	40B	新美 寛治 HIROYASU NIIMI	41	愛 知	ホンダ CBR400RR	チーム カツラガワ	DL		
21	40B	有田 誠 MAKOTO ARITA	19	三 重	ホンダ CBR400RR		DL		
22	40B	蓬萊 祥二 SHOHEI HOHRAI	20	兵 庫	カワサキ ZXR400R		DL		
23	40B	安達 佳央 YOSHIHISA ADACHI	25	愛 知	カワサキ ZXR400R	トムソーヤ&碧南矢田モータース	BS		
24	40B	於茂田 章広 AKIHIRO OMODA	21	愛 知	ヤマハ FZR400RR SP	モト キッズ	DL		
25	40B	後藤 博文 HIROFUMI GOTOH	21	愛 知	ホンダ CBR400RR	チーム宮崎 はっきり言ってかめ	DL		
26	40B	政田 征一 SEIICHI MASADA	20	大 阪	カワサキ ZXR400R	丸高KICHO-RACING	BS		
27	40B	服部 雄一朗 YUICHIROH HATTORI	21	京 都	カワサキ ZXR400R	WHITE SOX	BS		
28	40B	八木 純也 JUNYA YAGI	20	京 都	カワサキ ZXR400R	WHITE SOX	BS		
29	40B	石神 圭一 KEIICHI ISHIGAMI	21	三 重	ヤマハ FZR400RR SP	OVER	BS		
30	40B	川上 昇平 SHOHEI KAWAKAMI	26	大 阪	カワサキ ZXR400R	Team オートサービス徳野	BS		
31	40B	八町 直樹 NAOKI YAMACHI	25	滋 賀	カワサキ ZXR400R	KFライムグリーン	DL		
32	40B	笹部 英宏 HIDEHIRO SASABE	24	大 阪	ホンダ CBR400RR	ペンギンRC & テラオカMフタバ	DL		
33	40B	柳 武志 TAKESHI YANAGI	25	大 阪	カワサキ ZXR400R	チームミスターヒロ & ISF	BS		
34	40B	西村 宏 HIROSHI NISHIMURA	23	香 川	ホンダ CBR400RR	ブルーライトニングbyホリケ	DL		
35	40B	尾崎 雅浩 MASAHIRO OZAKI	26	大 阪	ホンダ VFR400R		DL		
36	40B	山中 良太 RYOHTA YAMANAKA	21	三 重	ホンダ CBR400RR	GARDE BY SANKEI	DL		
37	40B	山田 直樹 NAOKI YAMADA	28	愛 知	カワサキ ZXR400R	半田やまだ接骨院&T: Sオート	BS		
38	40B	黒田 幸夫 YUKIO KURODA	25	愛 知	カワサキ ZXR400R	トムソーヤ&碧南矢田モータース	BS		
39	40B	川床 哲也 TETSUYA KAWATOKO	27	兵 庫	カワサキ ZXR400R	チーム阪神ライディングスクール	DL		
40	40B	藤原 善晴 YOSHIHARU FUJIWARA	24	大 阪	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB&株オクヒラ	BS		
41	40B	稲川 亘 WATARU INAGAWA	23	栃 木	ホンダ CBR400RR	P・S・Racing+BP	YH		
42	40B	阿部 智 SATORU ABE	25	愛 知	カワサキ ZXR400R	TEAM・STR	BS		

ENTRY LIST

NB-SP250/400

No.	Gr.	ライダー	年齢	所属県	マシン	チーム	タイヤ	予選 順位	決勝 順位
1	40C	竹内 厚美 ATSUMI TAKEUCHI	23	愛知	カワサキ ZXR400R	トムソーヤ&碧南矢田モータース	DL		
2	40C	西島 亮一 RYOICHI NISHIJIMA	24	三重	ホンダ CBR400RR	BAGUSレーシングチーム!	YH		
3	40C	中嶋 邦貴 KUNITAKA NAKAJIMA	23	愛知	カワサキ ZXR400R	チームエジテツ山崎 ポーティング	DL		
4	40C	井澤 一晃 KAZUAKI IZAWA	23	大阪	ホンダ VFR400R	TEAM・ルート1&IHI	BS		
5	40C	丸谷 直樹 NAOIKI MARUTANI	24	大阪	カワサキ ZXR400R	BIKE STATION ルイ	BS		
6	40C	田村 和也 KAZUYA TAMURA	22	大阪	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	BS		
7	40C	金山 和弘 KAZUHIRO KANAYAMA	41	静岡	カワサキ ZXR400R	レーシングチーム・(株)橋本組	DL		
8	40C	田中 雅史 MASASHI TANAKA	22	滋賀	カワサキ ZXR400R	K. F. ライム グリーン	DL		
9	40C	森本 茂樹 SHIGEKI MORIMOTO	24	愛知	カワサキ ZXR400R	オクムラ・レーシング・チーム	BS		
10	40C	池本 泰教 YASUNORI IKEMOTO	25	静岡	ホンダ RVF	レーシングチームF・ロード	DL		
11	40C	片山 一洋 KAZUHIRO KATAYAMA	23	京都	ホンダ CBR400RR	岩城レーシング!	DL		
12	40C	野原 弘光 HIROMITSU NOHARA	24	三重	ヤマハ FZR400RR	クレバーウルフレージング	DL		
13	40C	宮口 朝博 TOMOHIRO MIYAGUCHI	23	大阪	カワサキ ZXR400R	SBSJUMP&チーム☆ヘンコ	DL		
14	40C	杉浦 裕也 HIROYUKI SUGIURA	23	愛知	ホンダ CBR400RR	蟹江ラ・モト・コウサカRC	DL		
15	40C	佐藤 正宏 MASAHIRO SATOH	25	大阪	ホンダ RVF	TEAM ZEALOUS	DL		
16	40C	栗田 学 MANABU KURITA	23	大阪	ホンダ CBR400RR	レーシングチームトクノ	DL		
17	40C	松井 孝介 TAKAYUKI MATSUI	33	静岡	ホンダ CBR400RR	RTブルーインパルス	BS		
18	40C	篠田 光朋 MITSUTOMO SHINODA	24	愛知	ホンダ CBR400RR		DL		
19	40C	船引 裕司 YUJI FUNABIKI	28	大阪	ヤマハ FZR400RR SP	クレバーウルフ TWO・SOX	DL		
20	40C	北西 尚登 NAOTO KITANISHI	24	大阪	ヤマハ FZR400RR	RS-OKETANI	DL		
21	40C	長谷部 忠雄 TADA0 HASEBE	25	愛知	ホンダ VFR400R	BIKE&BIKE・PRISM	DL		
22	40C	田中 潤司 JUNJI TANAKA	25	大阪	カワサキ ZXR400R	グリーンクラブwithBSルイ	BS		
23	40C	戸田 義弘 YOSHIHIRO TODA	25	大阪	カワサキ ZXR400R	グリーンクラブwithBSルイ	BS		
24	40C	西村 佳紀 YOSHINORI NISHIMURA	22	京都	カワサキ ZXR400R	山科カワサキKENレーシング	BS		
25	40C	河合 正太郎 SHOHTAROH KAWAI	23	大阪	ヤマハ FZR400RR	RT モヨケイツー	DL		
26	40C	辻下 淳雄 ATSUO TSUJISHITA	33	岐阜	ホンダ CBR400RR	緑の村レーシングファミリー	DL		
27	40C	森 俊雄 TOSHIO MORI	40	山梨	カワサキ ZXR400R	チームドクターSUDA	DL		
28	40C	花井 繁哉 SHIGECHIKA HANAI	25	奈良	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	BS		
29	40C	家入 稔 MINORU IEIRI	28	兵庫	カワサキ ZXR400R	TeamUSAMI神戸	MI		
30	40C	辻 貴幸 TAKAYUKI TSUJI	27	京都	カワサキ ZXR400R	山科カワサキKENRACING	BS		
31	40C	梅島 明 AKIRA UMEJIMA	22	岡山	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	DL		
32	40C	藤田 基成 MOTONARI FUJITA	25	岡山	カワサキ ZXR400R	BEET CLUB	BS		
33	40C	金原 誠二 SEIJI KINPARA	26	静岡	ホンダ CBR400RR	プリモいなさ&チームコークス	BS		
34	40C	南川 耕藏 KOZO MINAMIKAWA	26	大阪	ヤマハ FZR400RR SP	クレバーウルフレージング	DL		
35	40C	島木 政信 MASANOBU SHIMAKI	24	大阪	カワサキ ZXR400R	MSガオ&RUNNER'S	BS		
36	40C	原田 洋孝 HIROTAKA HARADA	23	兵庫	カワサキ ZXR400R	姫路カワサキ&ウシロイRT	DL		
37	40C	佐田 保 TAMOTSU SATA	26	愛知	ヤマハ FZR400RR SP	NAOMI & YSP刈谷	DL		
38	40C	水野 孝紀 TAKANORI MIZUNO	21	愛知	カワサキ ZXR400R	チームカツラガワ&長谷川商会	DL		
39	40C	北村 征志 SEIJI KITAMURA	24	京都	カワサキ ZXR400R	カストロール&スーパースポーツ	DL		
40	40C	粕谷 浩紀 HIROKI KASUYA	23	福島	カワサキ ZXR400R	チームドクターSUDA	DL		
41	40C	野山 博実 HIROMI NOYAMA	25	神奈川	ホンダ RVF	HORNET & 杉山ホンダ	YH		
42	40C	片山 敬道 TAKAMICHI KATAYAMA	23	大阪	ヤマハ FZR400RR	RC 甲子園	DL		

情報満載!!
ホット・バイクマガジン



楽しくなくちゃ、バイクじゃない! まるちバイクマガジン

まるちバイクマガジン

毎月6日発売
300円
(税込)

欲しいバイクが見つかるぞ!

USEDバイク情報誌

ちやんぷゆー
champion

毎月14日発売
280円
(税込)

START 11:50 17LAPS

●レース進行スケジュール▷ 8ページ
●エントリーリスト▷ 26・27ページ

GP250 孤高の ゼッケン“7”

「みんなが、僕を世界GPで走らせたいと思うような、そんな走りをしたい。トップに立っても、自分の前にまだ誰かがいると思うようにして、その誰かを追い続ける。そんなチャレンジを続けていきたい」と宇川 徹は言う。ホンダのワークスライダーとして、『勝つ』ことが当然の使命であると、どんな言い訳もしないことを自分に課す。それは、ライバルたちとバトルをすることより、厳しく辛い自分との戦いなのかも知れない。だが、宇川はその厳しさの中で見えない敵と戦い続ける。

宇川は、92年国際A級昇格と同時にホンダワークスに迎えられたシンデレラボーイだ。だが、この年は歯車が噛み合わずラン

全日本でただひとり、世界GP仕様のNSRを駆り
開幕から勝利を重ねてきた、宇川 徹
「勝つ」ことが当然の使命。そんなプレッシャーと
ライバルたちの包囲網の中で
宇川は、自分という見えない敵と戦い続ける



キング13位。93年は屈辱の13番ゼッケンをつけ、全日本仕様のNSRでチャンピオンに挑む。まだ19歳になったばかりの宇川にかかるチャンピオン獲得の重圧。しかし、その中で見事タイトルを獲得。今季は栄光のゼッケン1と世界GP仕様のNSRを引っ提げて、シーズンの扉を開けた。

オフの間に行った肩の手術の影響で、ニューマシンの走り込みがままならず、不安を抱きながらのシーズンイン。それでも、苦しい戦いながら勝利を重ねる。

その宇川が世界の強豪たちと日本GPでトップ争いを展開、3位表彰台を獲得したことをきっかけに変貌した。「世界GPは僕の憧れの舞台、そこで3位に入賞できたこ

とを大事にしたい。後から、あの程度の走りでGPの表彰台上ったのか、とは言われたくないから。GPの権威を汚さないためにも、僕には勝ち続ける義務があると思う」と吹切れたように語る。「予選開始の早い時期に自己ベストを出し、コースレコードをマークする。そして、勝つ」という宿題を毎戦自分に課し、伸び伸びとした走り

で、開幕4連勝という偉業を成し遂げた。しかし、5連勝へ大きな期待を集めた第5戦富士で藤原克昭にしてやられ、遂に宇川は苦杯をなめた。「絶対に勝つ。もう負けられない」新たな決意を胸に、宇川は今大会に臨む。そして、これまで以上に切れのある走りを見せてくれるに違いない。



ポイントランキングTOP10 (第5戦富士終了時点)

順位	ライダー	3/13 鈴鹿	4/10 MINE	5/1 SUGO	5/15 筑波	5/29 富士	合計
1	1 宇川 徹	20	20	20	20	15	95
2	8 宮崎 敦	15	13	17	11	17	73
3	5 沼田憲保	17	15	0	15	11	58
4	10 森兼正明	13	9	11	9	8	50
4	18 藤原克昭	0	17	0	13	20	50
6	3 難波恭司	11	11	13	0	7	42
7	4 匹田禎智	—	8	15	8	10	41
8	79 加藤大治郎	0	0	0	17	13	30
9	22 椿 洋	6	10	6	0	6	28
10	17 松戸直樹	7	—	9	10	0	26

MACHINES

今シーズン無敗のNSR、その勢い衰えず

今シーズン、各メーカーともそれほど大きな動きが見られないGP250クラス。しかし、ヤマハがワークスマシンを投入せず、市販レーサーの熟成に力を注いでいるのが注目される。このような活動の中で、次期モデルの先行開発と、ユーザーに対するセッティングデータのアナウンスが行われている。このためかヤマハTZユーザーの数が増加傾向にあるのが、GP250クラスの現状でもある。

一方、ワークスマシンを投入し、宇川+NSRが開幕から4連勝を決め、シリーズを大きくリードしているのがホンダだ。NSRは基本的には昨年からの発展型で、国内外で活躍が続いている。部分的には500ccマシンとの技術共用もあり、広い意味での2ストローク技術の開発ベドと考えることもできるだろう。

そのNSRを脅かす存在となるのは、市販レーサーのRSだ。RSは、ほとんどのパーツにおいてワークスマシンと互換性があるという、まさに完全なレプリカマシン。キットパーツを組み込んだマシンの持つポテンシャルは、NSRに迫るほどのもので、それは加藤大治郎+RSのこれまでの活躍を見ても明らかだ。この組み合わせが、今後ますます強力な「宇川+NSR ストッパー」となるのは確実だろう。

また、スズキとアプリリアは少数勢力ながらもめざましい活躍を展開している。スズキは昨年からの正当進化を果たしつつ、性能向上は明らか。さらにアプリリアもタイヤをダンロップにスイッチして以来、そのポテンシャルの高さを確実に発揮している。



HONDA NSR250



HONDA RS250R



YAMAHA TZ250



APRILIA RSV250R



SUZUKI RGV-T250



GP250 RIDERS

18 藤原 克昭 Katsuaki FUJIWARA

HONDA RS250R

●1975年3月27日生まれ(19歳)
●山口県出身
93年国際A級昇格
93年全日本GP250クラス・ランキング18位

第2戦では、彼がレースを始めるきっかけにもなった憧れの先輩・宇川を相手にバトルを展開。2位表彰台をゲット。とても明るい性格のライダーで、チームのムードメーカーでもある。

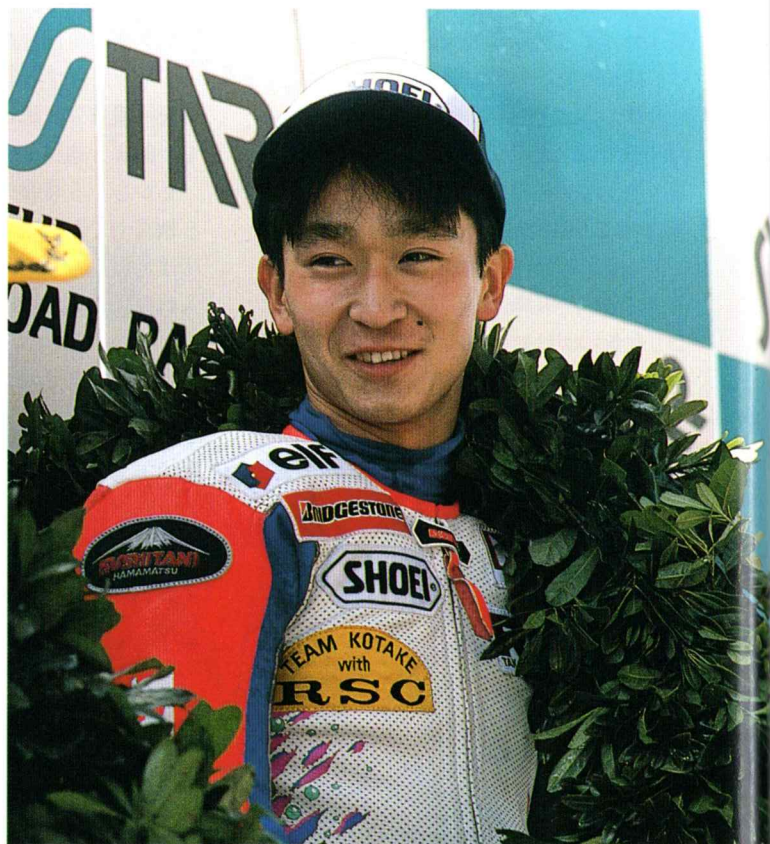


1 宇川 徹 Tohru UKAWA

HONDA NSR250

●1973年5月18日生まれ(21歳)
●千葉県出身
92年国際A級昇格
92年全日本GP250クラス・ランキング13位
93年全日本GP250クラス・チャンピオン

マシンのセッティングに悩みながらも開幕戦から4連勝の快進撃。ランキングトップを快走する宇川。プライベートでも最近愛車を買替えて、地元を元気に走り回っているとか。



68 前田 誠司 Seiji MAEDA

YAMAHA TZ250

●1970年6月22日生まれ(23歳)
●大阪府出身
93年スーパーカップ・ウエスタンシリーズ
GP125クラス・チャンピオン
94年国際A級昇格

今季国際A級昇格のルーキーながら、うまさを見せる前田は、今後が楽しみなライダーのひとりだ。また、ライバルの走りの分析なども冷静にこなすレバナーな面も。

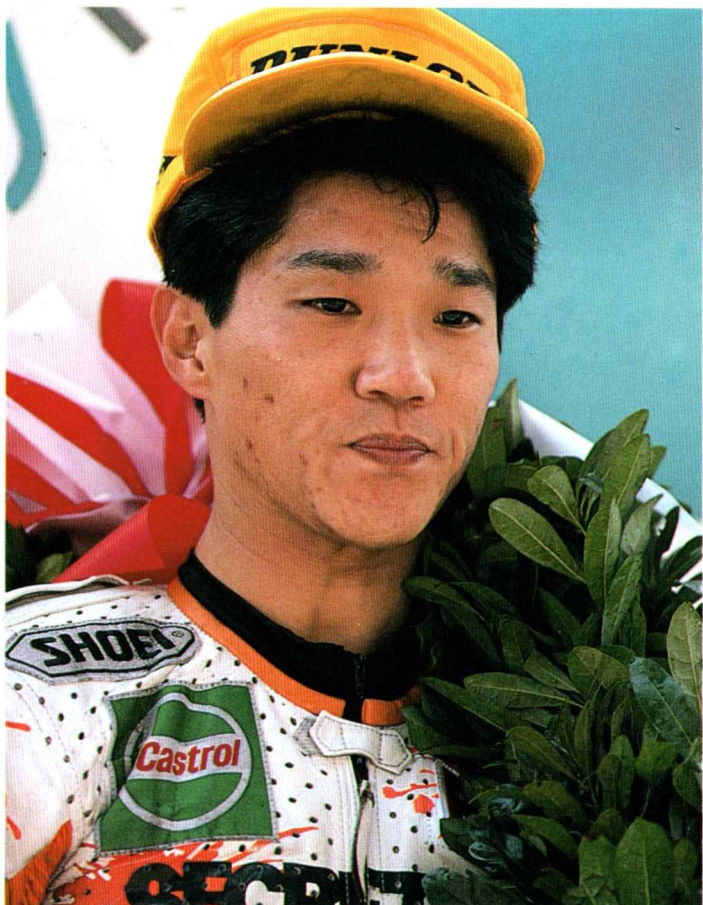


8 宮崎 敦 Osamu MIYAZAKI

APRILIA RSV250R

●1966年1月23日生まれ(28歳)
●山口県出身
89年国際A級出身
91年全日本IA-250クラス・ランキング7位
92年全日本GP250クラス・ランキング5位
93年全日本GP250クラス・ランキング8位

スタートで出遅れ、追いつけるレースが続いた宮崎だが、第3戦ではスタートダッシュを決めて2位表彰台を獲得した。全日本で唯一のアプリリアを駆り、初優勝はもう目の前だ。



4 匹田 禎智

Sadanori HIKITA

HONDA NSR250

- 1962年11月25日(31歳)
- 長野県出身
- 90年国際A級昇格
- 91年全日本IA-250クラス・ランキング10位
- 92年全日本GP250クラス・ランキング6位
- 93年全日本GP250クラス・ランキング4位

今シーズン、念願のファクトリーマシンを手に入れ、やっとチャンピオンを狙える体制が整ったのだが、開幕戦直前にけが。肩甲骨を骨折し、やや出遅れてしまった。本領発揮はこれからだ。



3 難波 恭司

Kyohji NANBA

YAMAHA TZ250

- 1963年3月8日生まれ(31歳)
- 広島県出身
- 86年国際A級昇格
- 91年全日本IA-250クラス・ランキング6位
- 92年全日本GP250クラス・ランキング7位
- 93年全日本GP250クラス・ランキング3位

ベテラン、いぶし銀の走りなど、彼を表現する言葉は多いが、なによりも似合うのは“アグレッシブ”だろう。熱い走りは、勢いのある若手ライダーたちに少しも負けてない。



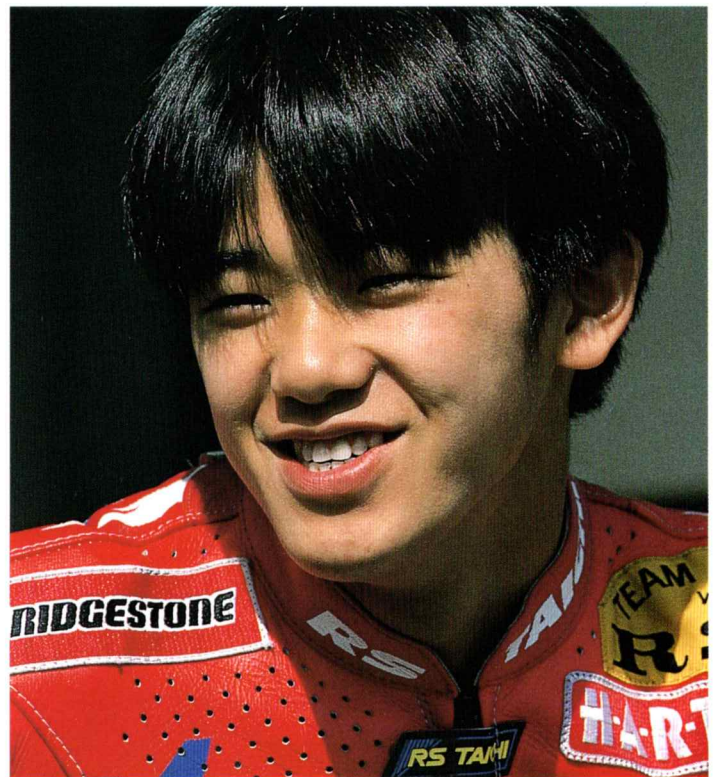
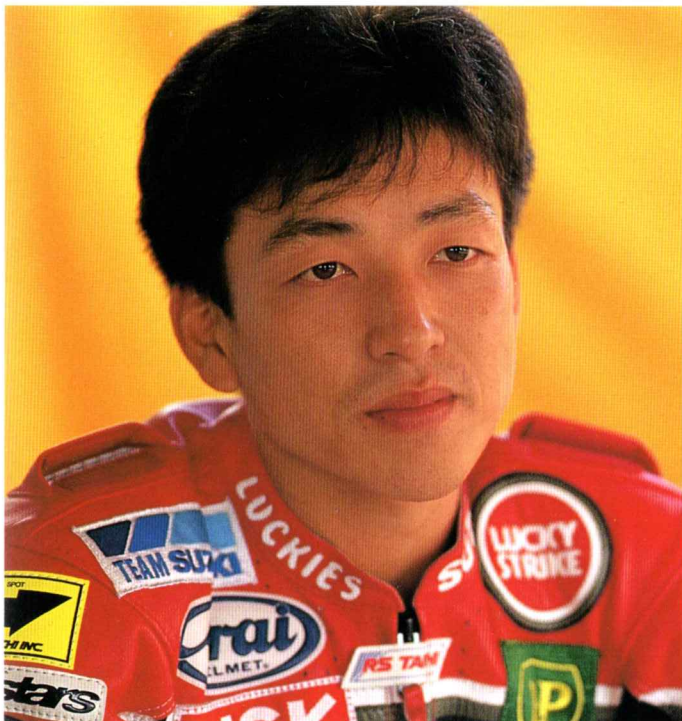
5 沼田 憲保

Noriyasu NUMATA

SUZUKI RGV-Γ250

- 1966年4月26日生まれ(28歳)
- 茨城県出身
- 91年国際A級昇格
- 91年全日本IA-250クラス・ランキング14位
- 92年全日本GP250クラス・ランキング9位
- 93年全日本GP250クラス・ランキング5位

世界でただひとり、RGV-Γ250をライディングする男、それが沼田だ。第1戦2位、第2・3戦3位と安定した速さを見せている。普段はとてもおしゃれでひょうきん。



74 加藤大治郎

Daijiroh KATOH

HONDA RS250R

- 1976年7月4日生まれ(17歳)
- 埼玉県出身
- 93年九州選手権SP250/GP250
- ／GP125クラス・チャンピオン
- 94年国際A級昇格

今年国際A級に特別昇格。開幕戦の鈴鹿では、いきなりフロントロー2番手を獲得する速さを見せた17歳のスーパールーキー。転倒も多いが、第4戦筑波では慎重な走りでも2位入賞。



GP125 世界を見据えて...

●レース進行スケジュール▷ 8ページ
●エントリーリスト▷ 28・29ページ

ポイントランキングTOP10 (第5戦富士終了時点)

順位	ライダー	3/13 鈴鹿	4/10 MINE	5/1 SUGO	5/15 筑波	5/29 富士	合計
1	52 藤岡祐三	5	15	20	0	9	49
2	9 宮坂 賢	0	20	0	3	20	43
3	16 稲毛田潤	9	9	9	1	13	41
4	8 藤崎直之	17	0	0	6	17	40
5	56 宇井陽一	0	0	6	20	8	34
6	20 佐藤昭仁	—	13	10	9	—	32
6	18 菅谷慎一	0	0	8	17	7	32
8	67 眞子智実	13	17	0	0	—	30
9	74 東 雅雄	—	10	0	—	15	25
10	77 秋田貴志	0	0	13	0	11	24

新陳代謝の激しいGP125クラス
今シーズンも新しい顔ぶれが
次々と表彰台に登場。さて
今大会では誰が頭角を現わすか
ファイナルラップまでもつれ込む
テールtoノーズの攻防
その混戦を抜け出し
世界へ第一歩を踏み出すのは？



4月に鈴鹿で開催された日本GP。そのGP3クラスで、ついに日本人ライダーが表彰台を独占。このクラスにおける日本人ライダーの強さを、改めて証明した。

近年、才能あるライダーを次々と輩出する全日本選手権GP125クラス。世界に最も近いクラスと言われるのも、十分にうなずける状況だ。しかも毎年、全くのノーマークのライダーやルーキーの活躍が目覚ましいのもこのクラスの特徴だ。今年にはさらに、ゼッケン①加藤義昌、ゼッケン②仲城英幸、ゼッケン③徳留真紀、ゼッケン⑩井形とも子らが世界GPへと闘いの場を移したため、新たな勢力図が描かれることとなった。

そんな中、シリーズランキング争いをリードしているのが藤岡祐三だ。去年はノーマルRSで戦いノーポイントに終わったが、今年はチューンドRSを駆り、安定した速さを見せている。他にも、第4戦筑波で優勝した宇井陽一、シリーズランキング3位につける眞子智実(ドイツGP参戦のため、今大会は欠場)というふたりのルーキー、また国際A級2年めの佐藤昭仁らがトップグループに加わり、レースを一層おもしろくしている。

さて、今大会の大本命として注目したいのは、第2戦、第5戦と優勝を飾った宮坂賢だ。シーズン序盤は、けがなどで今ひと

つ波に乗り切れずにいたが、第5戦富士でルーキーにはない駆け引きの巧さと、本来の速さを存分に発揮して独走優勝。後半戦に向かい、この勢いにはますます加速がつきそうだ。また、藤崎直之、稲毛田潤、天野寛幸、松尾幸穂などといったゼッケンひと桁組も安定した速さを見せているだけに、今大会でも見逃せない存在だ。

95RSも発表され、その実戦デビューがいつになるのか、どれくらいのポテンシャルを秘めているのが注目を集める中、ポテンシャルアップ著しいTZとの攻防など、マシンにも興味が尽きないGP125クラス。高速コーナーが連続するここ鈴鹿で、今回もまた、し烈なバトルが展開される。さて、その頂点に立つのは…？

MACHINES

第4戦ではTZが今季初勝利を挙げる

ヤマハの参入で活性化が果たされたGP125クラス。第4戦ではタイヤレーシングの宇井によって今季初優勝を飾るなど、TZへの関心はさらに大きなものとなっている。シーズン序盤戦に於けるTZは、セッティングデータの不足から苦戦を強いられていた。しかし、GP250クラスと同じく、ヤマハからのユーザーフォロワーが功を奏し、レースを重ねるごとにポテンシャルアップ。課題とされていたトップスピードも明らかに向上し、ホンダRSとの相対比較でも十分に肩を並べるまでに至っている。一方、迎え撃つホンダRSは、熟成の極みにあるマシン。豊富なデータとそれに基づく様々なチューンが施され、グランプリをはじめ最も安定したポテンシャルを秘めている。ひと口にRSと言っても、チューナーレベルで多種多様なチューンが施されているため、実際にはそれぞれにまったく異なったキャラクターとなっていて、もはや、ひとつのベースマシンといった感さえ漂っている。



HONDA RS125R



YAMAHA TZ125



START 16:15 10LAPS

●レース進行スケジュール▷ 8 ページ ●エントリーリスト▷ 30~36 ページ

NB-SP250/400

明日の ヒーローを 探せ!

国内B級ライダーたちが凌ぎを削るこのクラスは、今年も約360台ものエントリーを集め、予選を通過するだけでも至難の技という激戦区となっている。特に今回のレースは7月に迫る鈴鹿4時間耐久レースを前に、フルコース最後のレースとなる。そのため、4耐に照準を合わせた全国の精鋭が鈴鹿に集結、確実な手応えをつかむため、し烈な戦いを繰り広げるのだ。

4サイクル400ccのSP400マシンと2サイクル250ccのSP250マシンの混走となるこのレース。マシンはどちらも一般市販車をベースに、許される改造はキャブレターのセッティング、エキゾーストパイプ、マフラーの交換、ブレーキパッドの交換、エアクリナーの改造や取り外しなど、ごく



わずかな範囲に限られている。このためイコールコンディションが高い次元で保たれ、それだけにマシンのセットアップを含めたライダーの実力がモノを言う。

さて、今シーズンの鈴鹿選手権シリーズを振り返ってみよう。まず2月27日に行われた第2戦SP250では、ホンダNSR250SPを駆る水谷吉成がポールtoフィニッシュ。

第3戦SP400では大森裕一郎(ホンダCBR400RR)が優勝、戸田義弘(カワサキZXR400R)がポールから2位に入っている。そしてフルコースで開催された第5戦は、中野真矢(ヤマハTZR250R)が制している。今大会でもこの面々が上位に絡む可能性は高いが、実力も拮抗するクラスだけに、その行方を占うのは非常に困難だ。

GP125 RIDERS



52 藤岡 祐三 Yuzoh FUJIOKA

HONDA RS125R

- 1973年5月2日生まれ(21歳)
- 愛媛県出身
- 93年国際A級昇格
- 93年全日本GP125クラス参戦



15 檜尾 幸穂 Yukiho HINOKIO

HONDA RS125R

- 1964年11月19日生まれ(29歳)
- 岡山県出身
- 90年国際A級昇格
- 91年全日本IA-125クラス・ランキング9位
- 92年全日本GP125クラス・ランキング5位
- 93年全日本GP125クラス・ランキング15位

昨年はノーマルRSで戦い、ノーポイントに終わったが、今年はチューニングRSを得て、第3戦で国際A級初優勝を挙げた。安定した速さを見せる、要注目のライダーだ。



第1戦で優勝し、幸先のいいスタートを切った今シーズン。かつては鈴鹿スペシャリストと言われた檜尾だが、最近はそのサーキットでも安定した速さを見せている。



8 藤崎 直之 Naoyuki FUJISAKI

HONDA RS125R

- 1969年3月27日生まれ(25歳)
- 神奈川県出身
- 92年国際A級昇格
- 92年全日本GP125クラス・ランキング39位

普段はわりと物静かだが、レースでは熱い走りを見せる。昨年あたりからマシンが安定して速くなり、成績の方も安定してきた。第5戦では今季初のポールポジションを獲得した。



9 宮坂 賢 Ken MIYASAKA

HONDA RS125R

- 1970年9月20日生まれ(23歳)
- 東京都出身
- 92年国際A級昇格
- 92年全日本GP125クラス・ランキング2位
- 93年全日本GP125クラス・ランキング9位

「嬉しいニョロよ!」の表彰台パフォーマンスを始めてから国際A級で3シーズンめを迎えた宮坂。第2戦ではけがを克服して勝てた嬉しさから、思わず涙がこぼれた。熱いレースが身の上だ。





59 茨木 繁

Shigeru IBARAKI

YAMAHA TZ125

●1969年3月9日生まれ(25歳)
●兵庫県出身
91年国際A級昇格
91年全日本IA-TT F3クラス・ランキング3位
92年全日本GP250クラス・ランキング20位
93年全日本GP250クラス・ランキング20位
今季はTZ125の開発ライダーとして、全日本にスポット参戦している。精神面でも厳しいスポット参戦ながら、第4戦筑波では一時トップを快走、強さを見せた。

56 宇井 陽一

Yoichi UI

YAMAHA TZ125

●1972年11月27日生まれ(21歳)
●千葉県出身
93年関東選手権NB125クラス・チャンピオン
94年国際A級昇格
今年国内日級から特別昇格と同時に、名門チーム入りを果たした。ニューマシンへの慣れに時間がかかり、序盤は転倒が続いたが、雨の第4戦筑波で初優勝。TZに今季初の勝利をもたらした。



5 天野 邦博

Kunihiro AMANO

HONDA RS125R

●1970年2月15日生まれ(24歳)
●東京都出身
93年国際A級昇格
93年全日本GP125クラス・ランキング5位
カメラを向けると必ず1ポーズつける、サービス精神旺盛な天野。そんなひょうきんな性格とは裏腹に、安定した手堅いレースを見せる。クレバーなライディングが魅力のライダーだ。



16 稲毛田 潤

Jun INAGEDA

HONDA RS125R

●1966年7月12日生まれ(27歳)
●神奈川県出身
89年国際A級昇格
91年全日本IA-125クラス・ランキング
92年全日本GP125クラス・ランキング
93年全日本GP125クラス・ランキング16位



昨年あたりからトップグループに加わり始め、最近ではすっかり上位グループ常連となった稲毛田。今シーズンはその速さに安定性も加わった。今後どこまで成長するか楽しみなライダーだ。



20 佐藤 昭仁

Akihito SATOH

HONDA RS125R

●1970年11月18日生まれ(23歳)
●東京都出身
93年国際A級昇格
93年全日本GP125クラス・ランキング20位
国際A級2年目を迎え「去年は国際A級の怖さを見せつけられた。でも今年は、見せつけてやる立場だ」と張り切る。第4戦筑波では初のポール獲得。名門チームのマシンのバックアップも強み。

夏だ！祭りだ！ 8耐だっ！

COUNT DOWN 8hours

鈴鹿8耐まであと2カ月ちょっと
今年もいよいよ僕らの夏がやって来る
それでは、今年の8耐先取り情報と
お楽しみイベントのあれこれ
ここで一気に紹介しよう！



今年、8耐に新たな歴史が刻まれる スーパーバイク8耐、発進！

今年からスタートする新装8耐は、昨年までのTTT1クラスに代わってスーパーバイククラスでの戦いとなる。スーパーバイククラスは、TTT1クラスに比べはるかに改造範囲が狭く、レギュレーションによりイコールコンディションが高いレベルで保たれているのが特徴だ。マシン間の格差が小さくなることで、レースはこれまで以上の混戦となるだろう。8時間という長丁場の大混戦を制し、スーパーバイク8耐最初の覇者となるのは誰だろうか？ 今年もますますエキサイティングな

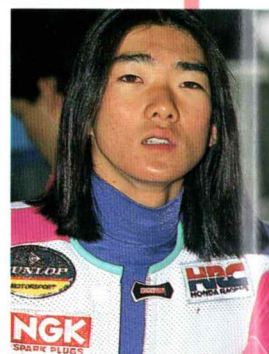
レースとなりそうだ。

また、8耐決勝の1週間前の日曜日には国内B級ライダーの夏の天王山、4時間耐久レースが開催される。さらに今年はネイキッド400の4耐もスタート。人気急上昇のNK4初の耐久レースだけに、こちらも要注目だ。

国内の有カライダーはもとより、耐久スペシャリスト、GPライダーたちが、毎年大挙参戦する8耐。今年もワクワクするような顔ぶれがエントリーリストに名を連ねている。では、ここでその一部を紹介しよう。

参戦予定ライダー

ライダー	チーム	マシン
伊藤真一/武石伸也	am/pm HONDA	ホンダ RVF/RC45
ダグ・ボレン/アーロン・スライト	TEAM HRC	ホンダ RVF/RC45
岡田忠之/宇川 徹	TEAM HRC	ホンダ RVF/RC45
辻本 聡/阿部典史	TEAM HRC	ホンダ RVF/RC45
青木宣篤/青木拓磨	カブヌードルホンダ	ホンダ RVF/RC45
国松俊樹/ダグ・トラッド	TEAM YOSHIMARU	ホンダ RVF/RC45
八代俊二/樋渡 治	NTTモリワレーシング	ホンダ RVF/RC45
アレン・バレン/ロビン・ゴダーク	ラッキーストライクズ	スズキ
堀川 明トーマス・スティーブス	ラッキーストライクズ	スズキ
エルブ・モア/ジョン・バドレイ	S.E.R.T.	スズキ
グリスチン・ラベレ	S.E.R.T.	スズキ
ニール・マクギン/ジョン・ジャイル	ヨムラスズキGP-1プラス	スズキ GSX-R750SP
鈴木 誠/生見友希雄	ヨムラスズキGP-1プラス	スズキ GSX-R750SP
スコット・ラセル/テリー・ライマー	チーム マジール カワサキ	カワサキ ZXR750R
北川圭一/塚本昭一	K. R. T	カワサキ ZXR750R
和泉美智夫/松本靖夫	B.E.E.T IPONE OIL	カワサキ ZXR750R
高橋勝義/近藤靖典	Support Racing	ヤマハ YZF750R
大塚聡紀/ニック・ホブキンス	Support Racing	ヤマハ YZF750SP
大塚茂春/日向正篤	PIAA MALTA RT	ドゥカティ 888



日本GPでの活躍も記憶に新しい、ノリック阿部典史。8耐もかき回してくれるか？

■鈴鹿4時間耐久ロードレース、ネイキッド400SUZUKA4耐

日程	スケジュール
7月21日(木)	鈴鹿4耐練習走行
22日(金)	鈴鹿4耐公式予選/ネイキッド400SUZUKA4耐練習走行
23日(土)	鈴鹿4耐公式予選/ネイキッド400SUZUKA4耐公式予選
24日(日)	鈴鹿4耐決勝(9:00スタート/13:00ゴール)/NK4耐決勝(15:00スタート/19:00ゴール)

■“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース

日程	スケジュール
7月26日(火)~28日(木)	練習走行
29日(金)	公式予選
30日(土)	公式予選(スペシャルステージ)/ファイナルチャレンジ
31日(日)	決勝(11:30スタート/19:30ゴール)

*スケジュールは変更になる場合があります。



伊藤 真一



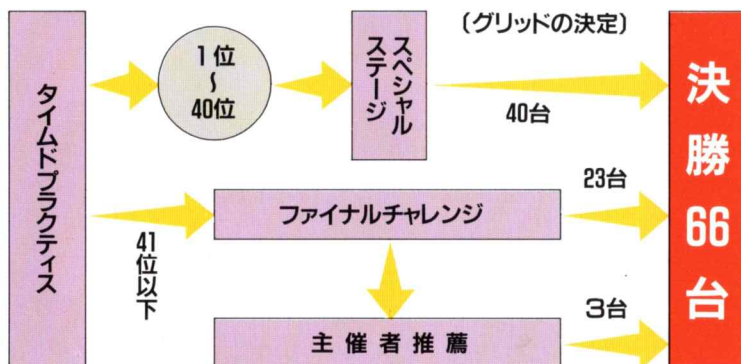
今年はノリックとのペアで8耐に挑むベテラン辻本 聡。



武石 伸也

スーパーラップを見逃すな！ スペシャルステージ導入の公式予選

今年の8耐予選はスペシャルステージという新しい方法が導入されることになった。これは、まず金曜日と土曜日の午前にタイムドブラクティスをを行い、その順位で上位40位までのチームが、土曜日の午後それぞれ1台ずつクリアラップでのタイムドトライアル(スペシャルステージ)を行い、グリッドポジションを決めるというものだ。さらに、タイムドブラクティスで41位以下のチームは、決勝へ最後の生き残りを賭けたファイナルチャレンジに進むことになる。こちらは、10周のスプリントレースとなり、ラストチャンスを取るため、激しい攻防が繰り広げられることになるだろう。



これだけは、早めに手に入れておこう 観戦チケットの入手法

これがなくちゃ始まらないってくらい大切なモノといえば、観戦券だ。この観戦券には3タイプ、指定席券は(8耐のみ)5種類ある。その中から自分の観戦スタイルに合わせて選択、早めに前売り券を入手しておくこと安心だ。特に指定席券は売り切れになる場合もあるから早めに。

■レース観戦券(税込)

券種	有効観戦日	大人(高校生以上)	子供(小・中学生)
前売券 8耐・4耐セット券	7月21日(木)~31日(日)	8,000円	4,000円
8耐通し4日券	7月28日(木)~31日(日)	7,000円	3,500円
4耐通し4日券	7月21日(木)~24日(日)	3,200円	1,600円

*7月21日(木)~22日(金)、25日(月)~28日(木)の各日は、遊園地入場券(中学生以上1,500円、3歳~小学生800円)で観戦いただけます。

■指定席券(7月30日(土)・31日(日)2日通し券・税込)

券種	大人・子供 共通料金
S1席(グランドスタンド中央)	10,000円
S2席(グランドスタンド第1コーナー寄り)	8,000円
A席(グランドスタンド最終コーナー寄り)	6,000円
B1席(最終コーナースタンド)	4,000円
B2席(最終コーナースタンドシケイン寄り)	5,000円
C席(シケインスタンド)	5,000円
D席(第1コーナースタンド)	5,000円
E席(第2コーナースタンド)	8,000円
F席(第2コーナースタンドS字コーナー寄り)	5,000円

*指定席の発売は8耐のみ。4耐の指定席券販売はありません。

*観戦料金は別途。

*指定席券・入場券とも3歳以上から必要となります。

チケットは下記まで

- 全国主要二輪販売店 ★(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- ミリオンカード会員の方はミリオンチケットセンターで
(名古屋 052-203-4317、大阪 06-231-2370、東京 03-3265-7194)
- チケットセゾン…名古屋 052-264-8210、大阪 06-308-9999、東京 03-5990-9999
- チケットぴあ…名古屋 052-320-9999、大阪 06-363-9999、東京 03-5237-9999
- 丸井チケットぴあ 03-5385-9999 ★CNプレイガイド 03-3257-9999
- 関西プレイガイド協会 06-456-2555
- ファミリーマート(指定店) ★全国主要プレイガイド
- ヤマト宅急便チケットセンター(電話 052-303-1813 またはFAX 052-303-6203でお手元にてチケットが届きます。送料別途必要)
- JR西日本、JR東日本、JR東海の主な駅の旅行センター
- ★旅行代理店(JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、東急観光、名鉄観光)
- ★近畿日本鉄道主要駅、テレメイトセンター ●鈴鹿サーキットチケットセンター
- *★印は観戦券のみの取り扱い。

チケットに関する問い合わせは **0593-78-1111**代まで
鈴鹿サーキットチケットセンター

自分のバイクでサーキットを走ろう 国際レーシングコース体験走行

今年もツーリングを兼ねて鈴鹿にはバイクで行くぞお〜、という人においしいお知らせ。全国主要二輪販売店で、国際レーシングコースを自分のバイクで走行できる「体験走行券」を発売中だ。8耐の舞台となる国際レーシングコースでトップライダーの気分を味わってみよう。ちなみに走行券は先着順発売で、走行台数には限りがあるから、こちらも早めに。

■国際レーシングコース体験走行券(税込)

7月21~30日・8月1日開催 おひとり様 1,200円(周回数2周)

体験走行券の販売は、全国主要二輪販売店のみで発売中です。



8耐ツーリングキャンペーン開催

毎年、8耐に参加するためにたくさんのライダーが鈴鹿にやってくる。そんな全国のライダーのため、今年「8耐ツーリングキャンペーン」が実施される。8耐大会期間中は、二輪車専用駐車場の設置やキャンプエリアの充実、イベント開催などなど、レース以外にも楽しめる嬉しい企画が盛りだくさんだ。

●二輪車専用駐車場を設置

正面ゲート前及びその周辺に、たっぷり広い二輪車専用駐車場完備の鈴鹿サーキット。その近くには、バイク仲間の交流の場として各種イベントが開催される特設会場もある。

●キャンプエリアが拡大、充実!

8耐大会期間中に開放される、鈴鹿サーキットのキャンプエリアが今年さらに拡大。施設もますます充実する。さあ、今年も鈴鹿で仲間とキャンプを楽しもう!

ライダーズ フェスタ Bike³

8耐は全国から集うライダーの年に一度の夏祭りだ。8耐大会期間中はレース観戦はもちろん、イベント参加や仲間とのキャンプなど、ワクワクがてんこ盛りだが、今年はさら

にライダーのためのビッグなイベントが開催される。その名も「ライダーズ フェスタ Bike³(バイク バイク バイク)」このイベントの主役は全国のライダー諸君、そう君自身なのだ。

●俺たちのバイクを見ておくれコーナー

「ライダーズ フェスタ Bike³」では、一般のライダーのバイクを特設会場に展示、人気投票によるコンテストが行われる。ビカビカに磨いた自慢の愛車、自分で見て楽しむだけじゃもったいないゾ。会場にはレーサーレプリカ、アメリカン、オフロード、旧車などなど、バラエティに富んだバイクが勢揃い。この「俺たちのバイクを見ておくれコーナー」は、みんなの大切な愛車の絵舞台なのだ。ちなみに、詳しい参加方法は下記の通り、違法改造車は参加不可なので注意。

応募方法: 参加申し込みは、「ライダーズ フェスタ Bike³実行委員会(鈴鹿サーキット事務局)」に、バイク写真、プロフィール、返信用ハガキを入れて郵送。審査の結果、当選者には参加受領書として返信用ハガキが郵送される。

*返信用ハガキの表には必ず、本人の住所・氏名を記入すること。
応募先: 「ライダーズ フェスタ Bike³実行委員会」
〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 鈴鹿サーキット内
☎0593-78-1111

締切日: 1994年7月10日(消印有効)

開催日: 7月28日(木)~7月31日(日)4日間

展示会場: 鈴鹿サーキット特設会場

コンテスト方式: 人気投票方式

賞: 各カテゴリー別に設ける、各2輪専門誌賞などが予定されている。

主催: 鈴鹿サーキット

●思わぬ掘り出しモノが見つかる!? なんでもアリのフリーマーケット開催

「俺たちのバイクを見ておくれコーナー」の展示場に隣接して、ガレージセール「フリーマーケット」コーナーが設けられる。バイク関連のさまざまな部品、用品がどっさり、ぶらぶらと見て歩くだけでも楽しいコーナーだ。探していたパーツなど、思わぬ掘り出し物が見つかることも。早速、値段交渉だ。売る方も買う方も同じバイク好き同士、そんなコミュニケーションもフリーマーケットの醍醐味なのだ。

●7月28日(木)~31日(日) 毎日開催

●僕らみんなが主役! 多目的ステージの設置

「ライダーズ フェスタ Bike³」の特設会場には、多目的ステージが設置される。期間中はここで、「俺たちのバイクを見ておくれ」コンテストの表彰式を始め、さまざまなイベントが開催される、注目のスポットだ。

大 排気量のネイキッドバイクの競演 NKデモ走行

8耐決勝のスタート前、アトラクションとしてNK1のデモ走行が行われる。NK1はネイキッドカテゴリーの最高峰で、排気量は1000ccを越える。フォルムなど外観は市販のオートバイとそれほど変わらず、親近感が持

てるNK1マシンだが、その中身はレース用にカリカリにチューニングされたモンスター。豪快なエキゾーストを響かせて国際レーシングコースを疾走する様は見ものだ。



SUZUKA CIRCUIT SPECIAL PLAN

レース観戦パック

昨年大好評の観戦パック、今年もさらに充実してご用意しています。

宿泊パックの主な内容

- ・マーシャルカー先導によるレーシングコースマイカー走行
- ・指定席券と公式プログラム、パドックバス(スーパーバイクシリーズのみ)がセットになったレース観戦券
- ・トップドライバー、ライダーと過ごすパーティーへのご招待
- ・HONDAコレクションホール入場券

日帰りパックの主な内容

- ・指定席券付き予選、決勝通し券
- ・マーシャルカー先導によるレーシングコースマイカー走行
- ・HONDAコレクションホール入場券
- ※上記の内容はレースによって異なる場合がございます。

ご利用料金(税別)

- ミリオカードカップレースラウンド3～ファイナルラウンド

- ・Aパック(日曜日宿泊プラン) 21,000円(2、4名)
20,000円(3、5名)
- ・Bパック(土曜日宿泊プラン) 27,000円(2、4名)
26,000円(3、5名)
- ・Cパック(土・日連泊プラン) 40,000円(2、4名)
38,000円(3、5名)

- ・日帰りパック 大人(高校生以上)9,000円
子供(小・中学生)5,000円

- サンスタースーパーバイクシリーズ(2ヒートレース)

- ・Aパック(日曜日宿泊プラン) 21,000円(2、4名)
20,000円(3、5名)
- ・Bパック(土曜日宿泊プラン) 22,500円(2、4名)
21,500円(3、5名)
- ・Cパック(土・日連泊プラン) 35,000円(2、4名)
33,000円(3、5名)

- ・日帰りパック 大人(高校生以上)9,000円
子供(小・中学生)4,000円

- インターナショナルポッカ1000kmレース

- ・Aパック(日曜日宿泊プラン) 21,000円(2、4名)
20,000円(3、5名)
- インターナショナル鈴鹿500km(7/2・3)
- ・Aパック(日曜日宿泊プラン) 17,000円(2、4名)
16,000円(3、5名)
- ・Bパック(土曜日宿泊プラン) 20,000円(2、4名)
19,000円(3、5名)
- ・Cパック(土・日連泊プラン) 32,000円(2、4名)
30,000円(3、5名)

- ・日帰りパック 大人(高校生以上)9,000円
子供(小・中学生)5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、

宿泊パック 鈴鹿サーキット予約センター

日帰りパック 鈴鹿サーキットチケットセンター 0593-78-1111代

スペシャルボックス観戦シート

F1日本グランプリを始めとする世界選手権レースで世界各国の放送局が衛星放送ブースとして使用しているスペシャルボックスをファンの皆様限定発売いたします。

"VIP気分"をご家族で、カップルで、お友達同士でごゆっくりとお楽しみください。

1. 場所 レーシングコース グランドスタンドA席上
衛星放送ブース(メインストレート最終コーナー寄り)
2. 定員 1ブース6名まで
3. スペシャルボックス観戦券(2日間通し)・ピットウォーク
冷暖房完備、椅子、テーブル、モニターTV付き
4. 料金(各レース1人分料金・小学生以上同料金・税込み)
ミリオカードカップレース(10/1・2、11/26・27)
インターナショナル鈴鹿500kmレース(7/2・3)
インターナショナルポッカ1000km耐久レース(8/27・28)

使用人数	2人	3人	4人	5人	6人
料金	20,000円	18,500円	17,000円	15,500円	14,000円

サンスタースーパーバイク200km(6/11・12)					
サンスタースーパーバイク2ヒートレース(9/10・11)					
使用人数	2人	3人	4人	5人	6人
料金	17,000円	15,500円	14,000円	12,500円	11,000円

サンスタースーパーバイク2ヒートレース(9/10・11)					
使用人数	2人	3人	4人	5人	6人
料金	17,000円	15,500円	14,000円	12,500円	11,000円

お問い合わせ、お申し込みは、

鈴鹿サーキットチケットセンター 0593-78-1111

鈴鹿サーキット三重営業所 0593-78-1300

鈴鹿サーキット大阪営業所 06-372-1526

鈴鹿サーキット名古屋営業所 052-571-7176

鈴鹿サーキット東京営業所 03-3582-3221



"コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレース観戦ツアー

●8耐観戦新幹線ツアー

- ・日程 7/30(出朝 東京発～8/1(月)昼 東京着(名古屋2泊)
(新幹線、貸切バス利用)

- ・募集人員 100名 最少催行人数50名
- ・旅行代金(大人お一人様、税込み)

旅行のみ参加	46,000円
レース観戦券付き	53,000円
A指定席観戦券付き	59,000円
S2指定席観戦券付き	61,000円

●8耐観戦ライナー

- ・日程 7/30(出夜 東京発～8/1(月)朝 品川着 車中2泊
(往復 夜行)

- ・募集人員 412名 最少催行人数350名
- ・旅行代金(大人お一人様、税込み)

旅行のみ参加	23,800円
レース観戦券付き	30,800円
A指定席観戦券付き	36,800円
S2指定席観戦券付き	38,800円

お問い合わせ、お申し込みは、

鈴鹿サーキット東京営業所 03-3583-6170(ダイヤルイン)

国内旅行業 第2699号



レースカメラマン体験講座

'94レースカメラマン体験講座参加者募集中!!

コースサイド特設エリアで写真が撮れるマニアでなくても一度は体験したい講座です。

内容

- ・パドック及びコースサイドでのレース撮影
- ・プロカメラマンによる撮影指導
- ・観戦券・ピットウォーク券
- ・プレス用弁当
- ・望遠レンズの貸し出し
- ・参加賞、オフィシャルプログラムプレゼント
- ・優秀作品の発表(オフィシャルプログラムにて)

宿泊コース(土曜宿泊)

- ・ライダーとの交流パーティー(サンスタースーパーバイクシリーズのみ)
- ・ツインルーム宿泊
- ・朝食バイキング、夕食(サンスターはパーティー)
- ・講師による事前レクチャー

開催日及び参加料(税込み)

サンスタースーパーバイクシリーズ

・9月10・11日 サンスタースーパーバイク2ヒートレース

★各回とも日帰り 17,924円 宿泊 32,344円

★日帰りのみ 21,824円(観戦券は参加者各自で購入)

7月30日 "コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレース公式予選

★日帰りのみ 20,424円 宿泊 39,994円

F3000ミリオカードカップレースシリーズ

・10月1・2日 ミリオカードカップレース ラウンド3鈴鹿

・11月26・27日 ミリオカードカップレース ファイナルラウンド鈴鹿

★各回とも日帰り 20,424円 宿泊 39,994円

・7月2・3日 インターナショナル鈴鹿500kmレース

★日帰り 17,924円 宿泊 33,374円

・インターナショナルポッカ1000km耐久レース

★日帰りのみ 19,524円

お問い合わせ、お申し込みは、

鈴鹿サーキット東京営業所 03-3582-3221



ポピンズルーム

小さなお子様がいらっしゃるご家族の方にも安心してモータースポーツ観戦が楽しめる託児サービス ポピンズルームを開設しました。

●設定レースとご利用料金

	[実施日]	[申込締切]
7月3日	インターナショナル鈴鹿500kmレース	6月27日
7月31日	"コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレース	7月25日
8月28日	インターナショナルポッカ1000km耐久レース	8月20日
10月2日	ミリオカードカップレース ラウンド3鈴鹿	9月26日
11月4～6日	F1日本グランプリレース(F1)	10月24日
11月27日	ミリオカードカップレース ファイナルラウンド鈴鹿	11月21日

託児料金	1時間 1人 1,000円
延長料金	30分毎 500円

※完全予約制です。 ※税別

お問い合わせ、お申し込みは、

ポピンズサービス京都 担当:八木 TEL (075)252-2100

〒604 京都市中京区寺町通御池西北角 国友御池ビル5F

シリーズセット券発売中!!

指定席もつきますお得なシリーズセット券、今シーズンから新発売ぜひご利用下さい。

- ・鈴鹿耐久シリーズ(鈴鹿500km、ポッカ1000km)
通常14,000円→12,000円(税込み)

お問い合わせ、お申し込みは、

鈴鹿サーキットチケットセンター 0593-78-1111代

いけちゃうコース

- ①ピット上ペア特別観戦券+
- ②「メヌエット」1泊2食付+
- ③スター選手と過ごす懇親会

サンスターコース



阿部選手

武石選手

その他有名選手

40組(80名様)

- 交通費は含んでおりません。
- 宿泊は10日のみです。
- お部屋及びスター選手は都合上変更する場合があります。



500組合計1,000名様に当たる!!
感動と興奮の鈴鹿へ

ペアでご招待!
サンスタースーパーバイク2ヒートレース
9月10日(水)・11日(木)
通し券

一般観戦券

トニックコース

460組(920名様)

●交通費、宿泊費は含んでおりません。

クイズ

〇〇の中に文字を入れてください。

メントールでスカットする
トニックシャンプー

ヒント：メントールでスカットするトニックシャンプー



応募方法

官製ハガキに、クイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年令、職業、性別、電話番号を明記の上、お送りください。
※ハガキ1枚を1口とさせていただきます。

■あて先 〒569 大阪府高槻市朝日町3-1

サンスター株式会社 広告部

「トニック・サンスターカップいけちゃうコース」係

■しめきり

平成6年8月10日(水)
(当日消印有効)

■当選発表

厳正なる抽選のうえ、
発送をもって発表にかえさせていただきます。

〒569-0000
大阪府高槻市朝日町3-1
サンスター株式会社 広告部
トニック・サンスターカップ
いけちゃうコース係

- 答え トニックシャンプー
- 郵便番号
- 住所
- 氏名
- 年令
- 職業
- 性別
- 電話番号



鈴鹿サーキットファンにお贈りする

トニック サンスターカップ プレゼントキャンペーン

しめきり 平成6年8月10日(水) (当日消印有効)

★いけちゃうコース、もらっちゃうコースどちらもどんどんど応募ください。

もらっちゃうコース

サンスターカップ オリジナルグッズ



A賞

限定版
カシオ
Gショック
100名様



B賞

サンスターカップ
オリジナル
ウェア
300名様



C賞

サンスターカップ
オリジナル
キャップ
600名様



D賞

サンスターカップ
オリジナル
Tシャツ
2,000名様

応募方法

トニックシャンプーのパッケージ裏についている
マークを切り取って官製ハガキに貼り、ご希望賞品名一つ
と郵便番号、住所、氏名、年令、職業、電話番号、お買い上げ
店名を明記の上、お送りください。
※ハガキ1枚を1口とさせていただきます。

■あて先 〒569 大阪府高槻市朝日町3-1

サンスター株式会社 広告部

「トニック・サンスターカップもらっちゃうコース」係

■しめきり

平成6年8月10日(水)
(当日消印有効)

■当選発表

厳正なる抽選のうえ、
発送をもって発表にかえさせていただきます。

〒569-0000
大阪府高槻市朝日町3-1
サンスター株式会社 広告部
トニック・サンスターカップ
もらっちゃうコース係

- マーク
- ご希望賞品名
- 郵便番号
- 住所
- 氏名
- 年令
- 職業
- 電話番号
- お買い上げ店名

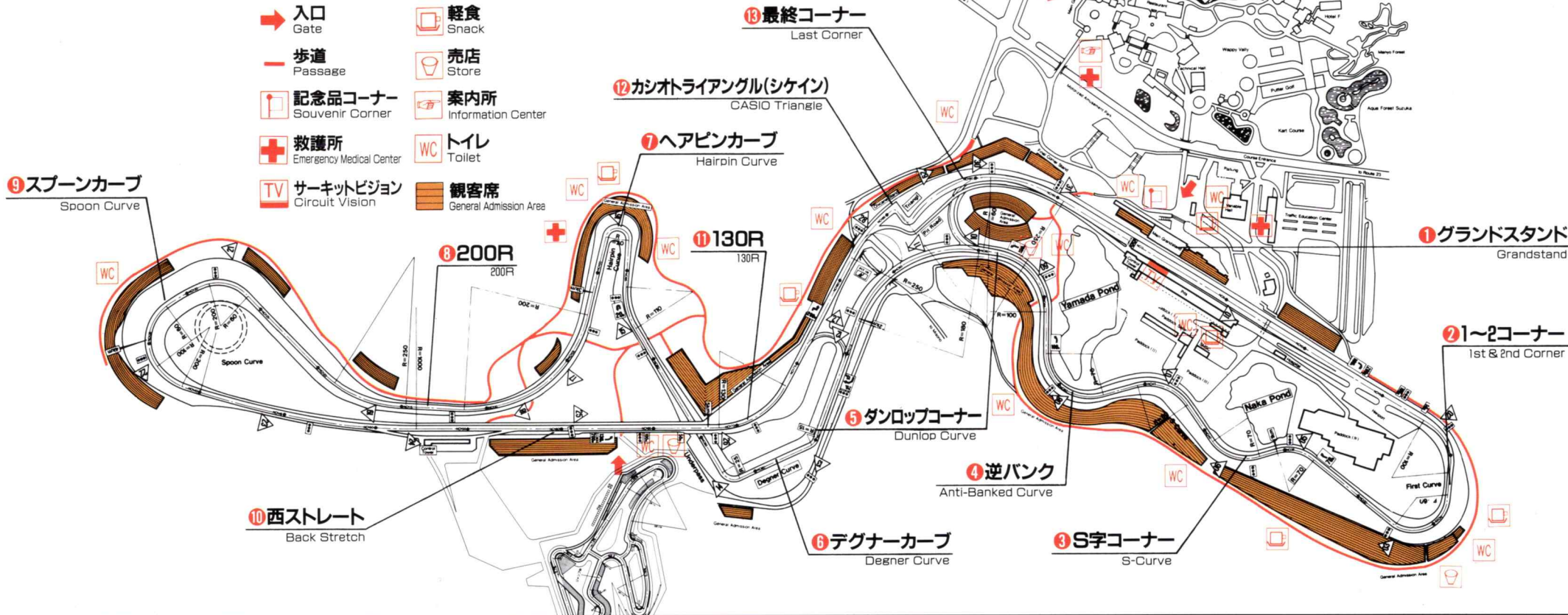
SUZUKA CIRCUIT

INTERNATIONAL RACING COURSE

COURSE GUIDE

コースレコード	CLASS	TIME	RIDER	MACHINE	DATE	RACE
	スーパーバイク	2'11"686	北川 圭一	KAWASAKI ZXR750R	94. 3.13	サンスタースーパーバイク100mile
	GP1(GP500)	2'08"336	ルカ・カダローラ	YAMAHA	94. 4.22	マールボログランプリ・ジャパン
	GP2(GP250)	2'10"876	マッシミリアーノ・ピアッジ	APRILIA	94. 4.22	マールボログランプリ・ジャパン
	GP3(GP125)	2'18"756	坂田 和人	APRILIA	94. 4.22	マールボログランプリ・ジャパン
	NB-SP400	2'22"669	西嶋 修	KAWASAKI ZXR400R	93.12. 5	鈴鹿サテーターチャンピオンロードレース
	NB-SP250	2'22"941	加藤 大治郎	HONDA NSR250R-SP	93.12. 4	鈴鹿サテーターチャンピオンロードレース

鈴鹿サーキット・国際レーシングコース/データ
 完成 : 1962年9月
 コース長 : 5.86403km
 コース幅 : 9m~12m、ランオフエリア3m~55m
 コーナー数 : 17
 メインストレート : 800m
 バックストレッチ : 1200m



鈴鹿サーキット ラップタイム&平均速度

Time	Speed(km/h)	Time	Speed(km/h)	Time	Speed(km/h)	Time	Speed(km/h)	Time	Speed(km/h)	Time	Speed(km/h)	Time	Speed(km/h)
1分30秒	234.561	1' 40"	211.105	1' 50"	191.913	2' 00"	175.920	2' 10"	162.388	2' 20"	150.789	2' 30"	140.736
1' 31"	231.983	1' 41"	209.014	1' 51"	190.184	2' 01"	174.467	2' 11"	161.148	2' 21"	149.719	2' 31"	139.804
1' 32"	229.462	1' 42"	206.965	1' 52"	188.486	2' 02"	173.036	2' 12"	159.928	2' 22"	148.665	2' 32"	138.884
1' 33"	226.994	1' 43"	204.956	1' 53"	186.818	2' 03"	171.630	2' 13"	158.725	2' 23"	147.625	2' 33"	137.977
1' 34"	224.579	1' 44"	202.985	1' 54"	185.179	2' 04"	170.246	2' 14"	157.541	2' 24"	146.600	2' 34"	137.081
1' 35"	222.215	1' 45"	201.052	1' 55"	183.569	2' 05"	168.884	2' 15"	156.374	2' 25"	145.589	2' 35"	136.196
1' 36"	219.901	1' 46"	199.155	1' 56"	181.987	2' 06"	167.543	2' 16"	155.224	2' 26"	144.592	2' 36"	135.323
1' 37"	217.634	1' 47"	197.294	1' 57"	180.431	2' 07"	166.224	2' 17"	154.091	2' 27"	143.608	2' 37"	134.461
1' 38"	215.541	1' 48"	195.467	1' 58"	178.902	2' 08"	164.925	2' 18"	152.974	2' 28"	142.638	2' 38"	133.610
1' 39"	213.237	1' 49"	193.674	1' 59"	177.399	2' 09"	163.647	2' 19"	151.874	2' 29"	141.681	2' 39"	132.774

コース距離×3600
ラップタイム(秒) = 平均時速

F-1 '94

FUJI TELEVISION
 JAPANESE GRAND PRIX
 SUZUKA '94 FIA世界選手権シリーズ
 フジテレビ日本グランプリレース

F1ファンクラブ オブ ジャパン & 鈴鹿F-1ビレッジのご案内



F1 Fan Club of Japan

音速のカーニバルへ。

最上級のモータースポーツ、F-1グランプリ。
 それは、テクノロジーの粋を極めたマシンと、
 音速の世界に魅せられ憑かれた人々の、美しいドラマです。
 ここに、ワインや料理も楽しめる、貴賓席をご用意。
 F1ならではの空気にふれながら、専用のシートで、
 グランプリのすべてに酔いしれてください。
 11月4、5、6日。鈴鹿サーキット。
 今年も「F1ファンクラブ・オブ・ジャパン」と
 「鈴鹿F-1 ビレッジ」がオープンします。

Suzuka F-1 Village



F1ファンクラブの観戦席は、迫力のスタートから第1コーナーまでの駆け引きが目前に。



“カーレースのサラブレッド”
F1やF3000マシンなども展示

コース全体のレース展開を観ることができる、F-1ビレッジ専用スタンド前のサーキットビジョン

F1ファンクラブ オブ ジャパン

- 料金 / 240,000円(税込み)
- 11月4日(金)・5日(土)・6日(日)の3日間有効
- 食事 / (金)(土)(日)の昼食をビュッフェスタイルで提供
- 飲料 / 3日間フリードリンク
- ピットウォーク / (金)、(土)、(日)
- パドック(ピット・ピット上を除く)
- 駐車券 / 4名様につき1台分
- 観戦場所 / 第1コーナー第4パドック 特別スタンド
- プログラム、記念品プレゼント



期間中に各種イベントも楽しめるF-1ビレッジ広場

鈴鹿F-1ビレッジ

- 料金 / 130,000円(税込み)
- 11月4日(金)・5日(土)・6日(日)の3日間有効
- 食事 / (金)(土)はランチボックス (日)の昼食をビュッフェスタイルで提供
- 飲料 / 3日間フリードリンク
- 駐車券 / 4名様につき1台分
- 観戦場所 / 最終コーナーシケイン寄り 外側特別スタンド
- プログラム、記念品プレゼント



F1ファンクラブ、F-1ビレッジともに、食事とフリードリンク付き



▶お問い合わせ、お求めは——
 鈴鹿サーキットチケットセンター
 TEL. 0593-78-1111(代)

鈴鹿サーキット



モトピア

- 1 総合案内所
- 2 入場券売場
- 3 正面ゲート
- 4 救護所
- 5 ワッピャバレー
- 6 ジョイフルカー
- 7 めぐりあい広場
- 8 グランプリ広場
- 9 サーキットスクエア
- 10 遊園地
- 11 トイカート
- 12 メリーゴーランド・ボロ
- 13 バラ・セイラー
- 14 エアーロコモ
- 15 外輪船
- 16 でんでんむし
- 17 ぶんぶんハチ
- 18 マッハセブン
- 19 スーパースカイライダー
- 20 フライングシップ
- 21 ジュピター
- 22 スペースカプセル
- 23 セニアドイカート
- 24 ポブウォーカー
- 25 モトピアゴーカート
- 26 ビッグホイール
- 27 スケーティングカー
- 28 ホットロッド
- 29 アクアカート
- 30 ロッキーコースター
- 31 サイドフォース カート
- 32 G400J
- 33 ミニムバー
- 34 ファンアンドゲーム

ワールド・ショッピング・ストリート

- 1 ホンダフィシャルショップ
- 2 セレクトショップ
- 3 ベネトン/クリバインキャット
- 4 フェニックス/テイルショップ
- 5 PIAA
- 6 サーキットプラザ
- 7 サーキットファミリーショップ
- 8 売店
- 9 スーベニア
- 10 シェール
- 11 アゼリア
- 12 スイートランド
- 13 サーキットストア

リゾート

- 1 リゾート施設/サーキットホテル
- 2 アクア・フォレスト
- 3 (夏期はプール、冬期はアイススケート場)
- 4 マターゴルフ
- 5 テニスコート
- 6 ぼたん苑
- 7 万葉の森
- 8 ボウリング場
- 9 ホテルフロント
- 10 コテージC
- 11 ロッジD・E
- 12 ロッジF
- 13 ホテル メヌエットG
- 14 ホテル メヌエットJ
- 15 ホテル メヌエットK
- 16 ホテル メヌエットL
- 17 ホテル メヌエットM

16 ログキャビン・KARAOKE・ハウス

- 17 キャンプ場
- 18 ゴルフ練習場
- 19 ゴルフショートコース
- 20 レストラン/スナック
- 21 イタリア料理:カンパネラ
- 22 中国四川料理:樓閣
- 23 すし:浜風
- 24 てんぷら:花霞
- 25 和風レストラン:あじさい
- 26 グランドレストラン
- 27 ラウンジメヌエット
- 28 プーランジュリード・グランプリ
- 29 ホテル メヌエットM
- 30 うどんコーナー
- 31 コスモス
- 32 メキシカンスナック
- 33 ワッピャスナック

ソシアル

- 1 ハーモニーホール
- 2 グランプリホール
- 3 グランプリホールウイング
- 4 サーキットホール
- 5 ホールメープル
- 6 水上ホール
- 7 さつきホール
- 8 オークキトルーム
- 9 テクニカルホール
- 10 汎用ホール
- 11 交通教育センター
- 12 モーターサイクルスクール
- 13 研修会場:あかしや
- 14 研修会場:あすなろ
- 15 研修会場:けやき
- 16 鈴鹿国際フォーラム・ロッジ I

10 運動会場

- 11 ホンダコレクションホール
- 12 モータースポーツ
- 13 国際レーシングコース
- 14 グランドスタンド
- 15 サーキットカートF400・R400
- 16 グランプリスナック
- 17 コントロールタワー
- 18 ビット
- 19 パドックサロン
- 20 モトクロス場
- 21 SMSC事務所
- 22 第1パドック
- 23 第2パドック
- 24 第3パドック
- 25 第4パドック
- 26 レースチケットセンター



21 ロッキーコースター



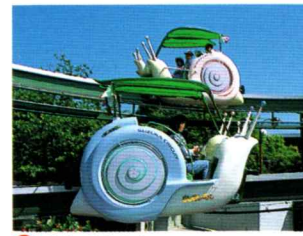
13 ホテル メヌエットM



6 サーキットプラザ



12 ジュピター



7 でんでんむし



16 モトピアゴーカート



1 イタリア料理:カンパネラ



5 和風レストラン:あじさい

ホンダコレクション ホール

第2回展

モータースポーツへの情熱

6月25日から一般公開

2輪・4輪のレーシングマシンを
中心に114台(予定)を展示

19 ホンダコレクションホール
入館料:大人300円 子供200円

©レースチケットで遊園地もご利用いただけます。

WC トイレ WC ベビーベッド設置トイレ WC ベビーベッド設置車椅子可能トイレ P 駐車場



鈴鹿サーキットが100%楽しめるぞ！ お得な特典もりだくさんの鈴鹿サーキットF1 G CLUB



締め切り迫る！

F1 G CLUBカードだけのグレートな特典の数々。

エフワン ジー クラブ

先着
1万人限定発行
募集締め切り日
平成6年
6月30日木

F1チケットが必ず買える。

鈴鹿サーキットで開催されるビッグイベント「F1日本GP」の指定席券(観戦券付)2枚の優先購入権利が(チケット代金は別途必要)あります。入手が難しいF1チケットを確実に確保することができます。



二輪世界選手権レースもオトク。

日本GPロードレース・鈴鹿8時間耐久ロードレースの一般観戦券を30%割引にて販売いたします(本人+2名様まで)。



レース観戦無料サービス。

鈴鹿サーキットで開催する全レース(F1日本GP・日本GPロードレース・鈴鹿8時間耐久ロードレースを除く)を入场無料(本人のみ)。また同伴者4名様までレース当日に前売り料金(約20%割引)にて販売いたします。

パドックパスを20%割引。

レース当日発売のパドックパスを20%割引(本人のみ)。マシンやメカニック、ライダーの雰囲気を生じて体感できるパドックでレースの臨場感もいっそう身近に。

遊園地で大いに遊ぶ。

レースの他にもお楽しみがイッパイ。鈴鹿サーキットおよび多摩テック遊園地の入場料を年間を通して無料サービスいたします。また、遊園地のりものパスポートを当カードご提示により1枚3,500円相当を2,500円にて販売いたします(本人+2名様まで)。



ホテル・レストランご利用にもメリット。

鈴鹿サーキットホテルでのご宿泊および鈴鹿サーキット内レストランでのお食事代を10%割引にてご利用いただけます(カード決済時)。



オリジナルグッズを10%割引。

Tシャツ、トレーナー、キャップなど鈴鹿サーキットオリジナルグッズを10%割引にて購入できます(カード決済時)。

会員特別プレゼント。

素敵なファンクラブオリジナルウェアのプレゼントがあります。

会員の皆様だけの各種イベントを開催。

- ◆年会費 55,000円(税込)
- ◆お申し込み資格
満20才以上の安定した収入のある方(学生を除く)

お問い合わせ

株式会社鈴鹿サーキットランド
鈴鹿サーキットF1 G CLUB事務局

三重県鈴鹿市稲生町7992 〒510-02

☎(0593)78-1111(代)

■ミリオンインフォメーションセンター

東京 …………… ☎(03)5276-7855
名古屋 …………… ☎(052)251-1220
大阪 …………… ☎(06)233-2403
受付時間 AM9:00~PM5:30

SUZUKA CIRCUIT MOTOR SPORTS

鈴鹿耐久シリーズ第2戦 & 全日本ツーリングカー選手権第7・8戦 インターナショナル鈴鹿500kmレース & ニューツーリングカーレース

●開催日：7月2日・3日
●開催クラス：IMSA,ルマン,FIA(GT,ツーリングカー,GrA,GrB),JAF(NGT,NA,N2,NI,NE,RS)-500km・ユノロードスター・スーパーカート・ニューツーリングカー
市販車ベースのマシンからレーシングスポーツまで多種多様なマシンが一堂に会する。これが鈴鹿500kmだ。また同時開催でニューツーリングカーレースも楽しめる。

■観戦券(消費税込み)

券種	大人(高校生以上)	子供(小・中学生)
前売券	5,000円	1,600円

■指定席券(消費税込み)

券種	S1席	S2席	A席	E席
指定席券	4,000円	2,000円	1,500円	2,000円



FIMモトクロス世界選手権シリーズ第14戦 日本グランプリ モトクロス

●開催日：8月20日・21日
●開催クラス：GP250・IA-125・J-80
全15国、15ヶ国で開催される世界グランプリ250ccクラス。この第14戦が日本グランプリモトクロスだ。ハードなコースでのバトルは必見!! またJ80クラスでは全国8ブロックから選ばれた16歳未満の精鋭達による日本一決定戦が開催される!!

■観戦券(消費税込み)

券種	大人(高校生以上)	子供(小・中学生)	
前売券	3日券	6,000円	3,000円
	1日券	5,000円	2,000円

■指定席券(消費税込み)

券種	S1
指定席券	3,000円



鈴鹿耐久シリーズ第2戦 インターナショナルポッカ1000km耐久レース

●開催日：8月27日・28日
●開催クラス：IMSA,ルマン,FIA(GT,ツーリングカー,GrA,GrB),JAF(NGT,NA,N2,NI,NE,RS)-1000km・スーパーシルビア・フォルクスワーゲン
耐久レースの真骨頂、ポッカ1000km。マスタング、ボルシェ等の海外勢とGTR、RX7、NSX、シビック等の日本勢、それにRSがからみ真夏の鈴鹿を舞台に1000kmにわたる大バトルが繰り広げられる。夕闇のチェッカーはだれの頭上にも!

■観戦券(消費税込み)

券種	大人(高校生以上)	子供(小・中学生)
前売券	5,000円	1,600円

■指定席券(消費税込み)

券種	S1席	S2席	A席	E席
指定席券	4,000円	2,000円	1,500円	2,000円



全日本ロードレース選手権第8戦 サンスタースーパーバイク2ヒートレース

●開催日：9月10日・11日
●開催クラス：スーパーバイク・GP250・GP125
NA-SP250、400

国際A級ライダーによる国内最高峰のレース、終盤戦を飾る、鈴鹿ラウンド最終戦。全日本タイトルを手中に収めるのはどのチームだろう。

■観戦券(消費税込み)

券種	大学生	中・高生	女性	大人	小学生
前売券	2,900円	1,600円	2,900円	3,300円	800円(遊園地入場料)

■指定券(消費税込み)

指定券	1,000円
-----	--------

グランドスタンドエリア券



FIM'94世界耐久選手権シリーズ第3戦 "コカ・コーラ"鈴鹿8時間耐久ロードレース

鈴鹿4時間耐久ロードレース・ネイキッド400SUZUKA4時間耐久ロードレース

●開催日：8耐 7月26~31日、4耐・NK4耐 7月21~24日
●開催クラス：8耐 スーパーバイク、4耐 NB-SP250/400、NK4耐 NK4SUZUKA
●全国主要2輪販売店でチケットをお求めいただいた方に限り、レーシングコース体験走行券を発売しています。
世界耐久選手権のなかでも最も速く、最も苛酷と言われる鈴鹿8耐。今年もGPライダー、耐久スペシャリスト、全日本ライダーが一堂に会して真夏の鈴鹿で熱戦が繰り広げられる。そして前夜祭をはじめとする数々のイベント、今年の夏も TENT を積んでバイクででかけよう!!

■観戦券(消費税込み)

前売券	券種	有効観戦日	大人(高校生以上)	子供(小・中学生)
	8耐・4耐セット券	7月21日(休)~31日(日)	8,000円	4,000円
	8耐通し4日券	7月28日(休)~31日(日)	7,000円	3,500円
4耐通し4日券	7月21日(休)~24日(日)	3,200円	1,600円	

*7月21日(休)~22日(金)、25日(月)~28日(休)の各日は、遊園地入園料(中学生以上1,500円、3才~小学生800円)でご観戦いただけます。

■指定席券(消費税込み)

7月30日(土)・31日(日)2日通し券 ※指定席の発売は8耐のみ、4耐の指定席発売はありません。料金は大人・子供共通。

券種	S1席	S2席	A席	B1席	B2席	C席	D席	E席	F席
指定席券	10,000円	8,000円	6,000円	4,000円	5,000円	5,000円	5,000円	8,000円	5,000円

*観戦券別途必要。*指定日以外は一般開放といたします。*3才以上の方は指定席券・入場券とも必要となります。

■体験走行券(消費税込み)

7月27~30日、8月1日開催	お1人様1,200円(周回数2周)
-----------------	-------------------

*体験走行券は全国主要2輪販売店でレースチケットとあわせてお求めください。



各レースチケットのお求めは

オンラインチケット取扱店、全国主要プレイガイド、鈴鹿サーキットチケットセンター他にてお求めください。

●レースチケットのお問い合わせは
鈴鹿サーキットチケットセンター
0593-78-1111

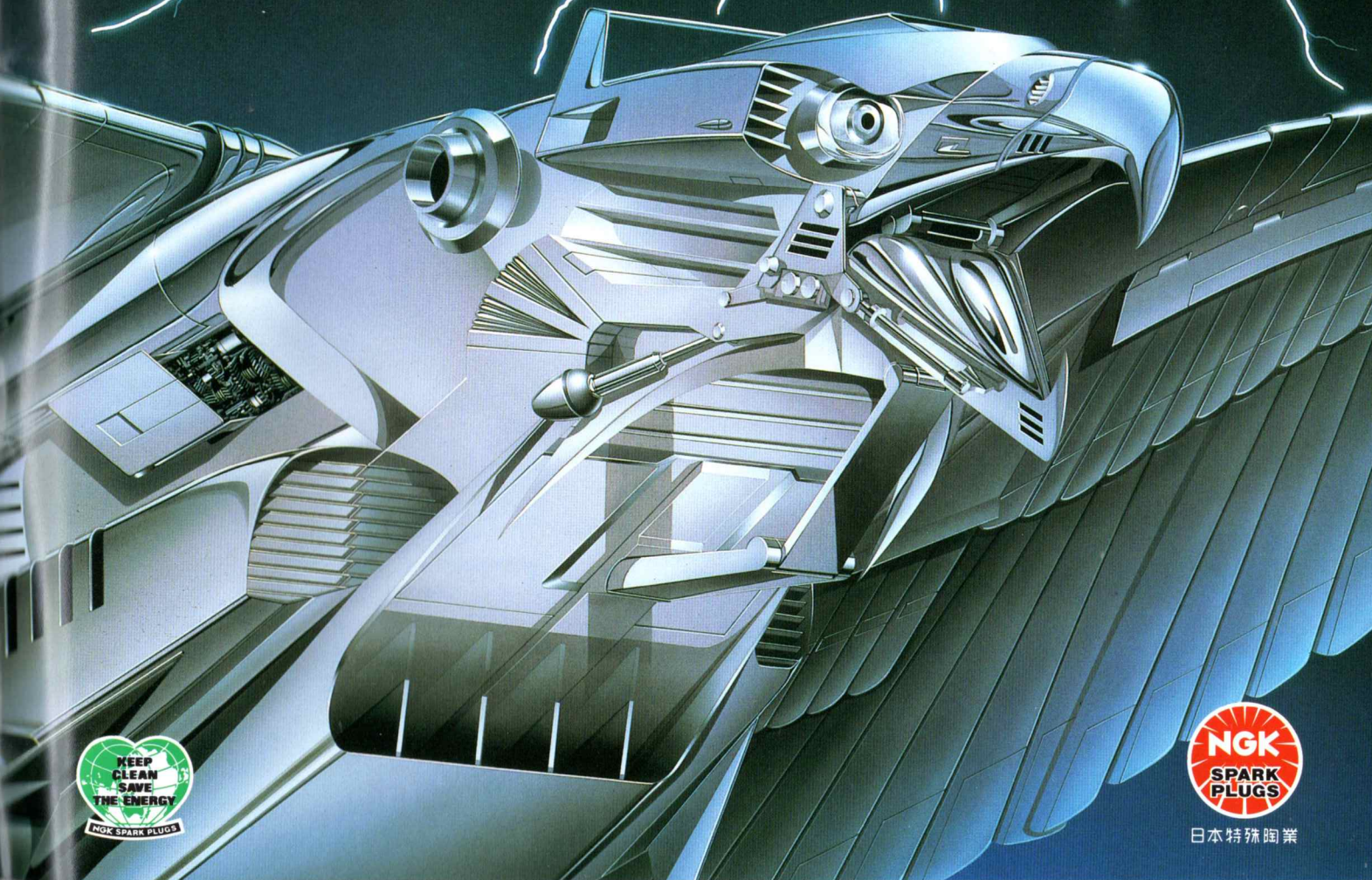
*チケットセンターには、鈴鹿サーキットで開催のレースの詳細がわかるポケットカレンダーをご用意しています。お気軽にお立ち寄りください。

The Winning Spark

火花が閃いた瞬間、眠るマシンに力がみなぎる。
レスポンスを捉え、果敢にスピードに挑戦する凄い奴。
その名はNGK Vシリーズプラグ。Vパワーが加速を制覇する。

驚異的パワー

NGK **V**シリーズプラグ



日本特殊陶業

キレで決める。

勝てる走りには、キレがある。鋭い突っ込み。計算された

アクセル&ブレーキポイント。攻めに徹したコーナリング。

ライバルの微妙な動きから、次のラインが読みとれるか。

レースの流れを読む頭のキレが、勝負を決める。

チエツカーフラッグを、ひるがえらせる。

サーキットの男が戦う、汗と、オイルと、プレッシャー。

トニックのキレが、充実感に変えていく。あらたな自信を呼び覚ます。

スツキリ爽快、サンスタートニックシャンプー。決め手は、キレだ。



天然メントール配合 サンスタートニックシャンプー
(サラサラ仕上げ)